

令和3年度  
行政評価書  
(内部評価)



令和4年7月  
飯島町

# 目 次

I	飯島町の事務事業・実施計画（施策）評価制度	.....p 1
II	内部評価（事務事業・実施計画（施策））	.....p 2
III	事務事業の達成状況	.....p 6
IV	実施計画（施策）の進捗状況	.....p11
V	事務事業・実施計画（施策）評価総括表	.....p29

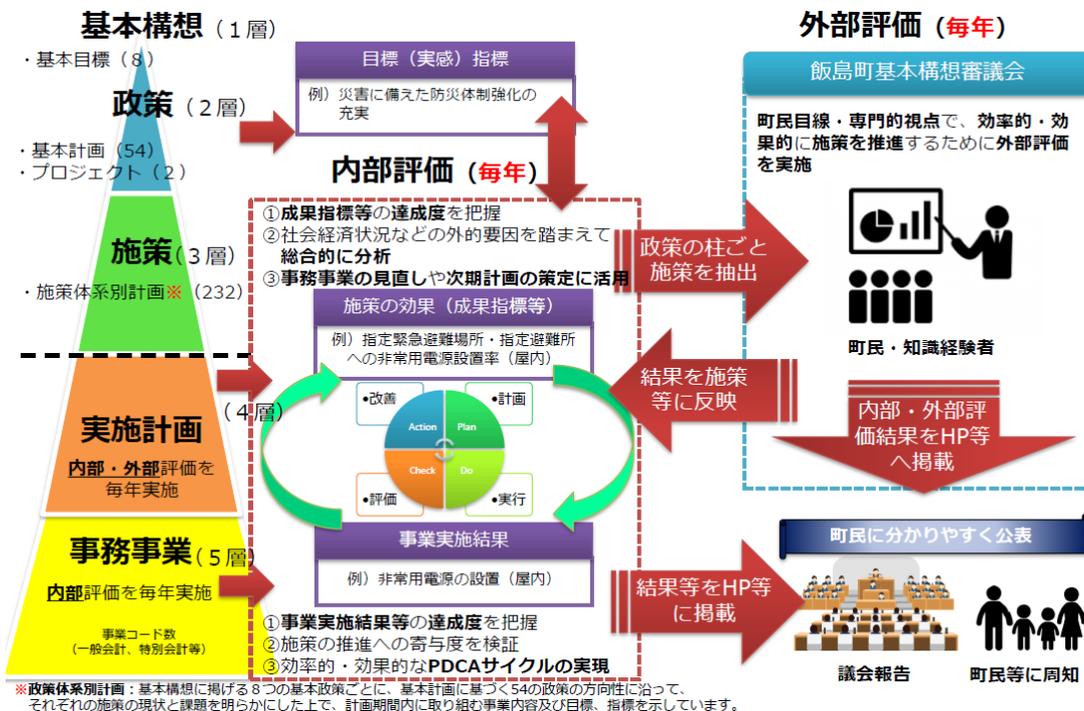
# I 飯島町の事務事業・実施計画（施策）評価制度

実施計画（施策）評価・事務事業評価とは、限られた予算や職員の事務の効率化を図るため、事業の目的や手段をはっきりさせ、事業目的が達成されているか、費用は適切かなどを点検・評価し、より効果的・効率的な町政運営につなげていくものです。

## 1.目的

行政の施策を評価しマネジメントサイクル（PDCAサイクル）を確立することで、施策の改善を導き、効率的で成果を重視した行政と開かれた行政を推進します。

## 2.体系



「実施計画（施策）評価」は、施策評価シートを活用し、成果指標等を通じて、配下の事務事業の効果を検証できるようにすることで、施策と事務事業の関係性を明確化し、事業の見直しに繋がります。

「事務事業評価」は、事務事業評価シートを活用し、効率的・効果的な進行管理となるよう、施策評価シートと連動することにより、事業の必要性や有効性、効率性などを客観的に評価できるようにし、効果的なPDCAサイクルの実現に繋がります。

## II 内部評価（事務事業・実施計画（施策））

### 1. 評価者

行政自らが行います。

### 2. 評価対象事業

■「**実施計画（施策）評価**」は、全施策を対象に、主に5年間の間に重点的に取り組む事業を対象としています。

■「**事務事業評価**」は、評価対象年度の事業を「事業コード単位」で評価します。

- ただし、特別会計のうち複数の事業コードによって一つの事業目的を構成する場合は、主たる事業コードに統括して評価します。
- また、以下の事業は評価対象から除外します。
  - ①「予備費」
  - ②前年度評価の方向性が「完了」か「廃止」で予算配当額が「0」の事業
  - ③総務課庶務係が管理する「一般管理事務費」以外の人件費
- 令和3年度の改善企画（Action Plan）から、経常的なものや政策的でないものについては評価対象から除外することができます。例）基金費、繰出費、償還費、還付費 等

### 3. 評価方法

内部評価は次の**2**段階で行います。

- 第1次評価・・・所管課等による評価  
担当職員【原案】⇒担当係等の長⇒所管課等の長【1次確定】
- 第2次評価・・・庁議（理事者、課等の長）による評価

### 4. 「事務事業（評価シート）」評価項目

- (1) 計画（Plan）  
事業の内容や当該年度の取組内容を簡潔に記載します。
- (2) 実施（Do）  
上記取組内容に対する達成度を確認します。

<b>1</b>	目標を大きく上回って達成
<b>2</b>	目標を上回って達成
<b>3</b>	ほぼ目標どおり
<b>4</b>	目標を下回った
<b>5</b>	目標を大きく下回った

#### (3) 評価（Check）

必要性	【町民ニーズ】事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a.薄れていない b.薄れている
	【町が実施する必要性】他都市等で、民間等でサービス提供している事例はないか	a.事例はない b.事例がある
有効性	【成果】取組内容の実績に対し、事業の成果（成果指標等）は順調に上がっているのか	a.上がっている b.徐々にあがっている c.上がっていない
	【民間の活用】委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか	a.余地はない b.余地はある c.既に実施済み
効率性	【事業手法等の見直し】事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a.可能性はない b.可能性はある
	【質の向上】事業を適正な（過小でも、過大でもない）規模の人員体制・費用で行いながら、町民サービスや役場内部（職員・組織）の質の向上を図ることができる余地があるか	a.余地はない b.余地はある c.既に実施済み

#### (4) 改善（Action）

<b>I</b>	現状のまま維持
<b>II</b>	改善しながら継続
<b>III</b>	事業規模拡大
<b>IV</b>	事業規模縮小
<b>V</b>	事業廃止
<b>VI</b>	事業終了

# (参考) 事務事業評価シート

## 令和0年度事務事業（評価シート）

事業の概要						
事務事業	事業コード 1881	事業名 防災対策費	担当課 総務課	担当係 総務課	危険管理係	
会計区分	ブルダワン	事業開始年度	事業終了(予定)年度	実施計画記載の有無	有	
租税法令 (決算科目等別記)	①新規事業等は記載し、それ以外は「F」ハイフン		②事業終了(予定)年度が決まっている場合は記載し、それ以外は「F」ハイフン		ブルダワン	
租税法令 (決算科目等別記)	③補助金事業などに伴う条件や要綱などを記載し、該当がなければ「H」ハイフン		④国や県などからの関係通知を記載し、該当がなければ「H」ハイフン		ブルダワン	
予算額・執行額 (単位:千円)	当初予算	1,000				
	補正予算	500				
	前年度から繰越し					
	翌年度へ繰越し					
	予備費等					
	計	1,500	0	0	0	0
	執行額	1,100				
執行率 (%)	73	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

計画 (Plan)	
事業の目的	自助、共助、公助それぞれの面で防災意識や災害時の対応力の向上を図り、本市の防災力を強化します。
事業の内容 (とらいつた内容で、どのような成果を挙げているか)	防災冊子の作成や防災に関する講座、防災訓練などを開催するとともに、自主防災組織の活動を支援します。
当該年度の取組内容 (実施計画等に記載されている具体的な取組内容)	①自主防災組織への支援の実施 ②イベントや冊子、講座等による防災啓発の実施 ③地域特性に応じた災害対応の推進 ④防災訓練等の実施と検証を通じた地域防災体制の充実
当初計画からの変更箇所 (上記計画に記載されている内容から変更となる取組)	

実施結果 (Do)	
上記「当該年度の取組内容」に対する達成度	3
取組内容の実績等 (上記に掲げた取組内容に対し「数値等」より具体的に実績を定量化した内容) または「達成感」もしくは「より達成できた理由」を記載)	<p>ほぼ目標どおり達成できました。</p> <p>①補助金を活用し、自主防災組織への支援を実施しました。</p> <p>②町内会を対象としたタブレット防災広報誌を作成し、自助の取組の必要性について啓発を実施しました。</p> <p>③防災出前講座において、各地区の地域特性やハザードの状況等に応じ、効果的な内容となるよう工夫して実施しました。</p> <p>④町の防災訓練を行うにあたり、各地区と連携を図り実施しました。</p>

『有効性』との関連

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化 (国・県・自治体の動向や改正、規制緩和など)	地震の発生や台風、土砂災害等の風水害のリスクは依然として高く、町民、地域、行政の様々な主体で防災力の向上に向けた取組が必要となっています。		
事業の見直し・改善内容 (過去に見直した内容を記載できる場合は記載)			
『必要性』との関連			
『効率性』との関連			
評価項目		評価	
必要性	【町民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか？ 【町が実施する必要性】 他都市等で、民間等でサービス提供している事例がないか？	a. 薄れていない b. 薄れている a. 事例はない b. 事例がある	a a
	【成果】 取組内容の実績に対し事業の成果（成果指標等）は順調に上がっているか？	a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない	b
有効性	【民間の活用】 委託や指定管理着制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか？	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	a
	【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか？	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
効率性	【質の向上】 事業を適正な（過小でも、過大でもない）規模の人員体制・費用で行いながら、町民サービスや後場内部（職員・組織）の質の向上を図ることができる余地があるか？	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b

改善 (Action)	
今後の事業の方向性	<p>Ⅰ.現状のまま維持</p> <p>Ⅱ.改善しながら継続</p> <p>Ⅲ.事業規模拡大</p> <p>Ⅳ.事業規模縮小</p> <p>Ⅴ.事業廃止</p> <p>Ⅵ.事業終了</p>
実施結課 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の方向性	<p>更なる町民・企業・行政の協働による地域防災体制の充実に向けて、次年度以降も継続して、実践的な防災訓練を実施するとともに、自主防災組織への支援強化や全ての町民を対象とした啓発事業の充実強化を図るなど、地域の防災力強化に向けた取組を推進していきます。</p> <p>(新型コロナウイルス感染症を踏まえ、今後は、地域の防災訓練や、町民向けの啓発について、感染リスクに十分に配慮した実施手法・時期を検討するとともに、災害時の避難に伴う感染拡大の防止徹底を図るため、避難行動のあり方について検討していきます。)</p>

阪島町第6次総合計画との関係	
1 政策体系	基本構想 (1層) 基本計画 (2層) 施策 (3層) プロジェクト
2 政策体系	基本構想 (1層) 基本計画 (2層) 施策 (3層) プロジェクト
3 政策体系	基本構想 (1層) 基本計画 (2層) 施策 (3層) プロジェクト
4 政策体系	基本構想 (1層) 基本計画 (2層) 施策 (3層) プロジェクト
5 政策体系	基本構想 (1層) 基本計画 (2層) 施策 (3層) プロジェクト
6 政策体系	基本構想 (1層) 基本計画 (2層) 施策 (3層) プロジェクト
7 政策体系	基本構想 (1層) 基本計画 (2層) 施策 (3層) プロジェクト
8 政策体系	基本構想 (1層) 基本計画 (2層) 施策 (3層) プロジェクト
9 政策体系	基本構想 (1層) 基本計画 (2層) 施策 (3層) プロジェクト
10 政策体系	基本構想 (1層) 基本計画 (2層) 施策 (3層) プロジェクト

事務事業 (事業コード) に関連する政策について選択 ※別紙「政策体系別計画目次」参照

⑤で記載した取組がどれだけの効果があったか、達成度を検証する【計画の進捗管理としての要案】

## 5. 「実施計画（施策）評価シート」評価項目

### (1) 成果指標状況と成果の分析

- ① 成果指標は、総合計画・実施計画等に位置づけした指標について、その実績を記載します。
- ② 定性的な成果は、取組を進めたことで発現した数値では測れない効果などについて記載します。

### (2) 施策の進捗状況

指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価します。

<b>A</b>	順調に推移している（目標達成している）
<b>B</b>	一定の進捗がある（目標達成に向けて進捗している）
<b>C</b>	進捗は遅れている（目標達成が遅れている可能性がある）
<b>D</b>	進捗は大幅に遅れている（目標達成が難しい可能性がある）

### (3) 今後の方向性

事業構成の手段は妥当かを判断します。

<b>I</b>	効果的な事業構成である（現状のまま継続する）
<b>II</b>	概ね効果的な構成である（一部見直し等の余地がある）
<b>III</b>	あまり効果的な事業構成でない（見直し等の余地が大きい）
<b>IV</b>	事業構成に問題がある（抜本的な見直し等が必要である）

## (参考) 外部評価 実施予定時期：令和4年8月～10月

町民目線・専門的視点で、効率的・効果的に施策を推進するために、**実施計画（施策）評価**について外部評価を実施します。

### 1. 評価者

第三者機関による評価として、基本構想審議会の委員が行います。

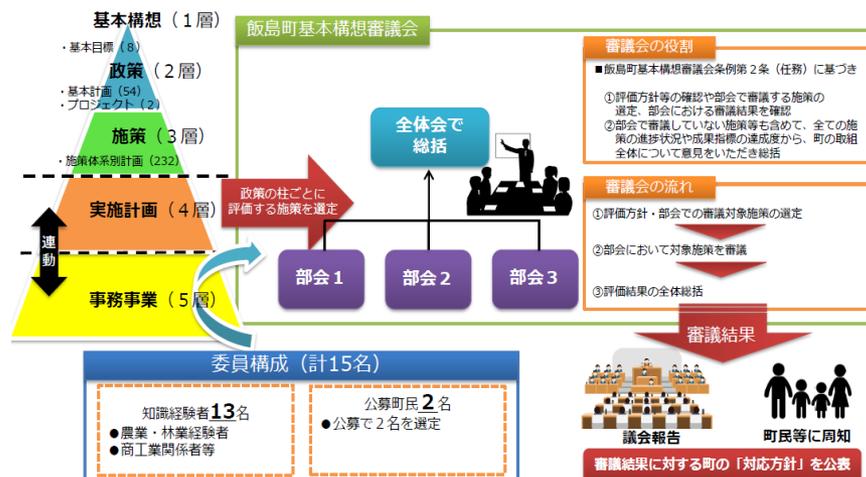
### 2. 評価対象

飯島町第6次総合計画に基づく8つの基本目標ごとに評価する施策を1施策（事業）選定し、評価を行います。

### 3. 評価方法

選定された評価対象施策について部会ごとヒアリング等を実施し、審議します。各部会の審議結果を全体会で確認し、評価を確定します。

## 4. 外部評価の全体イメージ



# (参考) 実施計画 (施策) 評価シート

(施策コード 1-(1)-①)

## 実施計画 (施策評価シート)

1 施策の概要			
政策体系上の位置づけ	基本構想 (1層) 住民と行政の総合力による安全で安心なまちづくり		
	基本計画 (2層) 災害に備えた防災体制の充実		
	施策 (3層) 避難所の感染対策と備蓄品の充実		
担当課	総務課	担当係	危機管理係
関係課			
施策の主な課題	①避難所を知っている人の割合が低く、町民の自助・共助 (互助) にかかわる防災意識が低下傾向にあることから、町民意識の高揚を図るための効果的な取組が求められています。 ②大規模災害等から、迅速な避難所開設に向けた初動対策、より円滑な避難所の運営体制や災害対策本部機能の強化等の取組の必要性が生じています。		
施策の方向性	①「国土強靱化計画」や「地域防災計画」等の各種防災計画に基づいたハード・ソフト面からの防災・減災の推進 ②町民の防災意識を高め、「備えていない人が備えていく」ための環境づくり		

ブルダウン

ブルダウン

### ①基礎情報

①実施計画に記載している  
・施策の主な課題  
・施策の方向性を記載

2 成果指標状況と成果の分析								
総合計画・実施計画等に位置づけした指標名 (指標の説明)		目標実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位等
1	避難所を知っている人の割合	目標値a	-	47.8	-	-	51.8	%
	指標の説明	達成率 (b/a)	-	108.4	-	-	-	%
2	家庭内備蓄を行っている人の割合	目標値a	-	60.5	-	-	60.5	%
	指標の説明	達成率 (b/a)	-	83.5	-	-	-	%

②目標値と実績値が「一」ハイフンとなっている指標は、その時点で数値を把握できないもの (複数年に1回行っている調査など)

※『成果指標』とは、「何をしたか (結果) ではなく、その結果どうなったか」を具体的な目標となる項目と、達成されるべき水準によりわかりやすく示し、取組みの成果を把握していくための指標です。  
※総合計画に位置づけされている指標説明の記載もしてください。

### ②業績指標

④数値では把握できない定性的な成果を記載

定性的な成果 (取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載)	■数値では把握できない定性的な成果を記載 (例) ①防災に特化したタブロイド紙の町内全戸を対象とした配布等により、各家庭で防災意識及び知識が高まりました。 ②各地区の防災訓練や備蓄物資の適正な配備、備蓄倉庫の環境整備などを通じて、町職員や地域住民と連携した取組を推進したことで、地域連携の充実につながりました。
指標等の成果分析 (指標の目標達成率を内外的要因等を記載)	■指標等の成果分析を記載 (例) ①実施した訓練や防災啓発時等の取組によって、町民の防災意識が高まり避難所を知っている人の割合が増加しました。 ②家庭内備蓄を行っている人の割合は、前回調査時 (平成29年度: 50.2%) より増加しましたが、目標値に届きませんでした。増加の要因としては、昨今の大雨や台風による大規模な被害が各地で発生していることが考えられますが、今回の調査結果では、備蓄を行っていない人が20代、30代で5割を超え、他の年代よりも多くなっていることから、今後、世代別に効果的な啓発を実施していく必要があります。なお、内閣府が平成29年11月に3,000人を対象に調査した「防災に関する世論調査」でも備蓄している人の割合が45.7%となっており、家庭内備蓄率の向上は、全国的にも課題となっています。

⑤指標等の成果分析を記載

3 施策を構成する主な事務事業の評価						
番号	事業コード	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組実績	事業費 (千円)		
	事務事業名			年度	予算額	決算額
1	1861	防災対策費	国土強靱化地域計画や地域防災計画等、各種の計画を推進し、町の災害対応の向上を図ります。	R 3	7,000	8,000
	R 4			6,500	8,000	
	R 5					
	R 6					
	R 7					
	R 8					
	R 9					
2	・事業コード ・事業名 を記載	事務事業の概要を記載	令和3年度と令和4年度の2年度分の主な取組実績を記載			
3			R 3			
			R 4			
			R 5			
			R 6			
			R 7			
			R 8			
			R 9			

事業費を記載

### ③事業所管課による点検内容

4 施策の進捗状況			
施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
	A. 進捗に推移している (目標達成している) B. 一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している) C. 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D. 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)		B
		ブルダウン	
5 今後の方向性			
今後の事業構成の妥当性 (年相応か)	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
	I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) II. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) III. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) IV. 事業構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である)		II
		ブルダウン	

「4 施策の進捗」指標等の成果を中心に、施策を構成している事務事業の評価 (達成率) 等から、総合的に判断した、施策の進捗状況を記載

「5 今後の方向性」施策の成果等を見ながら、上記事業構成を確認し、時期計画等に向けて、事業に見直し等を行う必要があるか確認し、それを踏まえた今後の方向性を記載

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、今後の方向性に影響が生じる施策についてはかっこ書きで、新型コロナウイルス感染症を踏まえた今後の方向性を記載※この部分に限っては状況を踏まえて記載

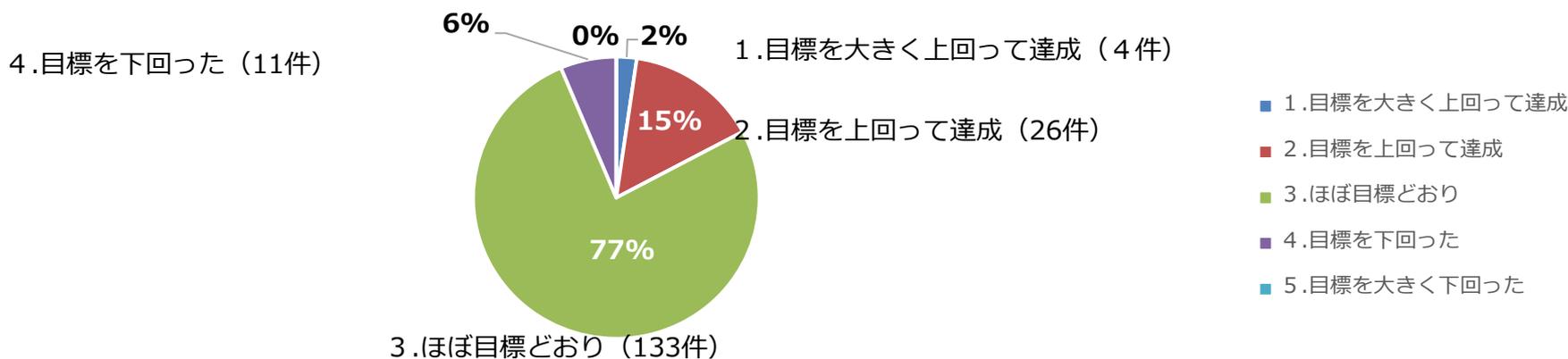
外部評価の所見	④飯島町基本構想審議会の所見
所見を踏まえた改善内容	⑤所見を踏まえた改善内容

### Ⅲ 事務事業の達成状況

- (1) 飯島町第6次総合計画における232の施策の配下に位置付けた事務事業等について、令和3年度の評価を行った結果、「1.目標を大きく上回って達成」した事務事業が4件(2.3%)、「2.目標を上回って達成」した事務事業が26件(15.0%)、「3.ほぼ目標どおり」の事務事業が133件(76.4%)、「4.目標を下回った」事務事業が11件(6.3%)、「5.目標を大きく下回った」事務事業が0件でした。
- (2) 「1.目標を大きく上回って達成」した事務事業、「2.目標を上回って達成」した事務事業、「3.ほぼ目標どおり」の事務事業を合わせた割合は93.7%で全体として順調に進捗しています。
- (3) 「4.目標を下回った」事務事業としては、新型コロナウイルス感染症の影響等もあり計画に掲げたイベントや研修会への参加者数等の数値目標を達成できなかったものや、関係者等との調整に時間を要したことから整備に遅れが生じたものなどがありました。

＜事務事業の基本目標別 達成状況区分の内訳＞		基本目標1	基本目標2	基本目標3	基本目標4	基本目標5	基本目標6	基本目標7	基本目標8	区分合計	割合
達成状況区分	該当例	総務	住民 税務	健康 福祉	産業 振興	建設 水道	地域 創造	教育	企画政策・会 計・議会 事務		
1.目標を大きく上回って達成	●目標に明記した内容よりも相当高い水準であった。●目標に明記した数値を大きく上回った。	1	0	2	1	0	0	0	0	4	2.3%
2.目標を上回って達成	●目標に明記した期日どおり達成し、明記した内容よりも高い水準であった。●目標に明記した数値を上回った。	4	0	7	3	0	3	8	1	26	15.0%
3.ほぼ目標どおり	●目標に明記した期日、内容どおりに達成した。●目標に明記した数値とほぼ同じであった。●おおむね適正に処理し業務遂行に支障がなかった。	11	9	23	28	23	9	20	10	133	76.4%
4.目標を下回った	●目標に明記した期日どおりであったが、明記した内容に満たない水準であった。●目標に明記した数値を下回った。●所定の期日に間に合わないなど、業務を適正に処理できなかった。	1	0	0	4	0	2	4	0	11	6.3%
5.目標を大きく下回った	●目標に明記した期日より遅れ、明記した内容に満たない水準であった。●目標に明記した数値を大きく下回った。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計		17	9	32	36	23	14	32	11	174	100.0%

＜事務事業の基本目標別 進捗状況区分件数・構成比＞



# Ⅲ - 1 事務事業別の達成状況

	事業コード・事業名称	実施計画と運動なし	達成状況
総務課	1110 一般管理事務費		2
	1111 一般管理費		2
	1152 役場庁舎管理費		3
	1153 車両管理費		3
	1156 西庁舎管理費		3
	1193 循環バス運行事業		3
	1194 飯島駅管理費		3
	1801 交通安全対策費	●	3
	1831 防犯対策費	●	2
	1861 防災対策費		3
	4921 非常備消防費		2
	4931 消防施設費		3
	4941 水防費		3
	4951 災害対策費	●	3
	1121 文書費		3
	1122 広報広聴費		4
1167 情報機器管理費		1	
企画政策課	1161 企画費		3
	1131 財政管理費		3
	1151 財産管理費	●	3
	1155 登記事務費	●	3
	5981 開発公社費	●	3
住民税務課	1311 戸籍住民基本台帳費		3
	2871 環境衛生費		3
	2872 新エネルギー普及対策事業		3
	2921 塵芥処理費		3
	2931 し尿処理費		3
	4132 消費者行政活性化事業		3

	事業コード・事業名称	実施計画と運動なし	達成状況
住民税務課	1211 税務総務費		3
	1212 税務基礎資料整備事業		3
	1221 賦課徴収費		3
	2101 社会福祉総務費		2
健康福祉課	2103 地域福祉総合事業		3
	2104 生活困窮者自立相談支援事業		3
	2201 地域福祉センター管理費		3
	2251 障がい者福祉総務費		3
	2252 在宅障がい者福祉事業		2
	2255 障がい者自立支援事業		3
	2308 介護予防拠点施設管理費		3
	2613 障がい児通所等支援事業		2
	2631 ひとり親等福祉費	●	3
	2701 災害救助費	●	3
	2303 在宅老人福祉事業		3
	7701 (介護保険特別会計) 一般管理費	●	3
	7711 (介護保険特別会計) 賦課徴収費	●	3
	7716 (介護保険特別会計) 認定調査費	●	3
	7763 (介護保険特別会計) 地域包括支援センター運営事業	●	3
	7764 (介護保険特別会計) 社会保障充実事業		3
	7765 (介護保険特別会計) 任意事業費		3
	7767 (介護保険特別会計) 一般介護予防事業費		3
	2401 福祉医療費給付事業		3
	2811 保健衛生総務費		2
2821 感染症予防事業		3	
2823 新型コロナウイルスワクチン接種事業	●	1	
2841 母子保健事業		2	
2852 健康づくり運動事業		2	

# Ⅲ－1 事務事業別の達成状況

	事業コード・事業名称	実施計画と 運動なし	達成 状況
健康 福祉課	2853 健康増進事業		3
	2891 診療所費		3
	6050 (国民健康保険特別会計) 保健衛生普及事業		3
	6051 (国民健康保険特別会計) 疾病予防事業		2
	6052 (国民健康保険特別会計) 特定健康診査等事業		1
	6053 (国民健康保険特別会計) 健康づくり推進事業		3
	6405 (後期高齢者医療特別会計) 保健事業費	●	3
産業 振興課	3111 農業委員会費		3
	3211 経営所得安定対策事業		3
	3212 機構集積協力金交付事業		3
	3213 新規就農・経営継承総合支援事業		3
	3221 環境保全型農業直接支援対策事業		3
	3225 集落営農支援事業		3
	3232 都市・農村交流事業	●	4
	3290 農作物災害等対策事業		3
	3300 農業振興総合対策事業		3
	3301 中山間地域等直接支払事業		3
	3741 道の駅本郷建物管理費	●	3
	3742 道の駅花の里いいじま管理費		3
	3743 道の駅田切の里管理費		3
	4111 商工総務費	●	3
	4121 商工業振興費		3
	4123 伝統技術等承継支援事業		1
	4124 暮らし復興券1億円事業		3
	4125 第三者承継マッチング事業		4
	4162 企業誘致費		3
	3404 農地整備事業		3
3413 多面的機能支払		3	

	事業コード・事業名称	実施計画と 運動なし	達成 状況
産業 振興課	3415 農村地域防災減災事業		3
	3423 農業基盤整備促進事業		3
	3424 農地耕作条件改善事業		4
	3801 林業総務費	●	2
	3851 緑化推進事業		3
	3855 林業振興事業		4
	3856 松くい虫防除事業		3
	3859 信州の森林づくり事業		3
	3863 町有林整備事業		2
	3865 森林環境譲与税活用事業		3
	3903 林道整備事業		2
	5811 農業施設災害復旧事業(補助)	●	3
	5812 農業施設災害復旧事業(単独)	●	3
5821 林業施設災害復旧事業(補助)	●	3	
5822 林業施設災害復旧事業(単独)	●	3	
建設 水道課	4201 土木総務費		3
	4221 道路維持費		3
	4231 町道整備事業		3
	4235 社会資本整備総合交付金事業		3
	4238 県営農道整備事業		3
	4252 道路メンテナンス事業		3
	4263 道の駅本郷管理費	●	3
	4311 河川総務費		3
	4322 河川整備事業		3
	5831 公共土木施設災害復旧事業(補助)	●	3
	5832 公共土木施設災害復旧事業(単独)	●	3
	4207 社会資本整備円滑化地籍調査事業		3
	4261 国県関連事業		3

# Ⅲ－1 事務事業別の達成状況

	事業コード・事業名称	実施計画と運動なし	達成状況
建設水道課	4262 国道153号伊南バイパス建設促進費	●	3
	4264 国道153号伊那バレー・リニア北バイパス改良促進費		3
	4411 都市計画総務費		3
	4511 町営住宅管理費		3
	4512 町営住宅整備事業		3
	4531 住宅耐震対策促進事業		3
	4532 空き家対策事業		3
	2861 上水道整備事業	●	3
	2941 合併処理浄化槽設置整備事業		3
	2942 合併処理浄化槽管理費		3
地域創造課	1162 国際・友好都市交流費	●	3
	1166 活性化推進事業	●	3
	1170 地域おこし協力隊起業支援事業	●	3
	1173 ふるさといいじま応援基金費	●	2
	1174 元気なまちづくり推進事業		3
	1192 協働のまちづくり推進費		3
	1165 儲かる飯島町チャレンジ事業		4
	4141 観光費		3
	4143 観光施設管理費		2
	4144 山岳観光費		3
	4441 与田切公園管理費		2
	1171 定住促進事業		3
	1172 出会い・婚活推進事業		4
	1176 環境循環ライフ構想推進費		3
	会計課	1141 会計管理費	
1154 物品集中購買費			3

	事業コード・事業名称	実施計画と運動なし	達成状況
議会事務局	1001 議会費		3
	1511 統計調査総務費	●	2
	1521 指定統計調査費	●	3
	1601 監査委員費		3
	2611 児童福祉総務費		2
	2641 認可保育園運営費		3
	2661 放課後児童健全育成事業	●	2
	2671 子育て支援センター事業		4
	2673 子ども・子育て支援事業		3
	5121 学校教育総務費		3
教育委員会	5122 奨学基金費	●	4
	5123 子ども支援費		3
	5124 子ども広場推進事業	●	3
	5126 学校支援費	●	4
	5131 教員住宅管理費		3
	5211 飯島小学校管理費		2
	5221 飯島小学校教育振興費		3
	5241 七久保小学校管理費		2
	5251 七久保小学校教育振興費		3
	5311 中学校管理費		2
	5312 英語指導助手招致費		3
	5321 中学校教育振興費	●	3
	5741 学校給食センター費		3
	5111 教育委員会費	●	2
	5611 生涯学習費		3
	5612 男女共同参画推進費		3
	5623 公民館費		3
	5631 図書館費		3

## Ⅲ－1 事務事業別の達成状況

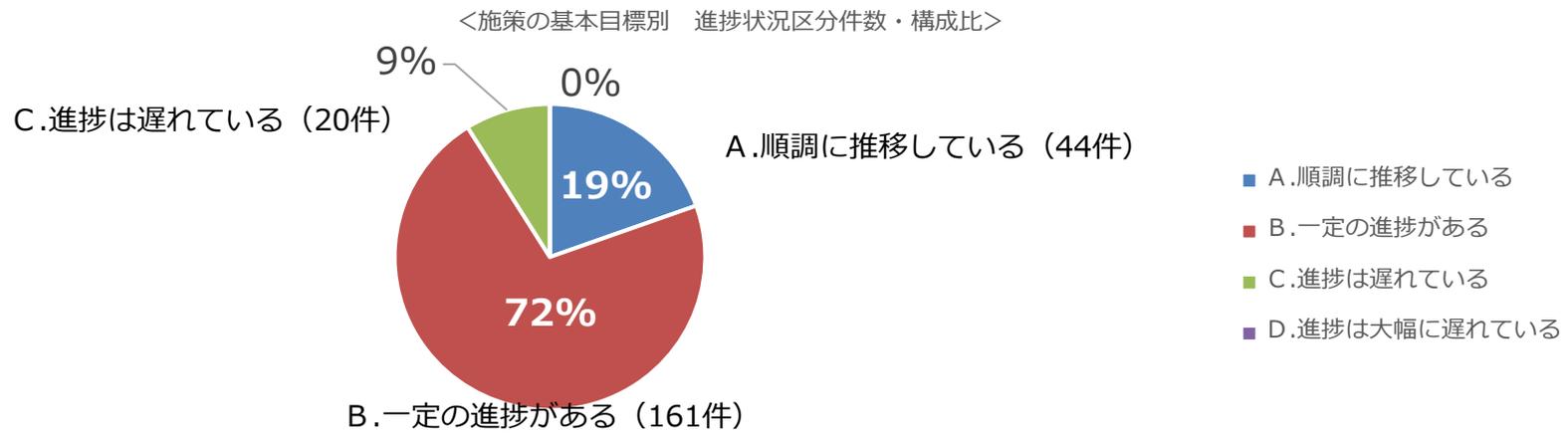
	事業コード・事業名称	実施計画と 連動なし	達成 状況
教育 委員 会	5641 文化館費		3
	5651 文化財保護費		4
	5652 埋蔵文化財調査費	●	3
	5661 歴史民俗資料館費		3
	5711 保健体育総務費		2
	5721 体育館等管理費		3
	5722 屋外運動場管理費		2
	5731 海洋センター費		3

合 計		
事務事業数	174 件	
うち実施計画と連動なし	40 件	
達成状況区分	区分合計（件）	割合
1.目標を大きく上回って達成	4	2.3%
2.目標を上回って達成	26	15.0%
3.ほぼ目標どおり	133	76.4%
4.目標を下回った	11	6.3%
5.目標を大きく下回った	0	0.0%
合計	174	100.0%

# IV 実施計画（施策）の進捗状況

- (1) 飯島町第6次総合計画における232の施策について、令和3年度の評価を行った結果、「A.順調に推移している」施策が44件（19.6%）、「B.一定の進捗がある」施策が161件（71.5%）、「C.進捗は遅れている」施策が20件（8.9%）あり、「D.進捗は大幅に遅れている」施策はありませんでした。
- (2) 成果指標の多くが目標を達成している「A.順調に推移している」施策と、目標未達成のものがあるが一定の進捗があった「B.一定の進捗がある」施策を合わせた割合が91.1%であることから、飯島町第6次総合計画の目標に向かって、概ね順調に進捗しているものと考えます。
- (3) 「C.進捗は遅れている」施策としては、新型コロナウイルス感染症の影響等もあり施設利用者数等の施策に設定した成果指標が下回ったものや、配下の事務事業のうち複数の事業に遅れが見られたものなどがありました。

＜施策の基本目標別 進捗状況区分の内訳＞		基本目標1	基本目標2	基本目標3	基本目標4	基本目標5	基本目標6	基本目標7	基本目標8	プロジェクト (分野横断的な取組)		区分合計	割合
進捗状況区分	該当例	総務	住民 税務	健康 福祉	産業 振興	建設 水道	地域 創造	教育	企画政 策・会 計・議会 事務	飯島ルネサ ンス「環境 循環ライフ 構想」	人口増		
A.順調に推移している (目標達成している)	●施策に設定した成果指標の多くが目標値に達しており、配下の事務事業が順調に進捗している施策	9	3	7	10	1	3	7	4	0	0	44	19.6%
B.一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している)	●施策に設定した成果指標の多くが策定時から目標値に向かって進捗しており、配下の事務事業が概ね順調に進捗している施策	11	10	20	40	23	19	21	15	1	1	161	71.5%
C.進捗は遅れている (目標達成が遅れている可能性がある)	●施策に設定した成果指標のうち、策定時を下回る指標が多い施策や、配下の事務事業のうち複数の事業が遅れている施策	7	0	0	1	1	7	3	1	0	0	20	8.9%
D.進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	●施策に設定した成果指標のうち、策定時を大幅に下回る指標が多い施策や、配下の事務事業のうち複数の事業が大幅に遅れている施策	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計		27	13	27	51	25	29	31	20	1	1	225	100.0%



# 基本目標 1 住民と行政の創合力による 安全で安心なまちづくり

＜総務＞

「基本的方向」

ふたつのアルプスに守られた豊かな自然環境の中で、将来にわたって住民みんなが安全で安心して暮らしていけるまちを目指します。万一の災害に十分な備えを進めると共に、暮らしを支える公共交通機関の確保や役場機能の効率化を進めていきます。

政策 1 - (1) 災害に備えた防災体制の充実		主な成果指標等	進捗状況
	① 災害時情報発信の多元化	いいちゃんメール登録者数	B
	② 防災行政無線放送の難聴解消	CEK音声告知端末の加入件数	B
	③ 避難所の感染症対策と備蓄品の充実	災害用非常食の備蓄数	A
	④ 防災関連機器・設備の適正な管理と計画的な更新	定性的な成果	A
	⑤ 外国人、観光客など要配慮者への防災対策の対応	町ホームページにおける防災ページの閲覧件数	C
	⑥ 指定緊急避難場所・指定避難所への非常用電源設置推進	指定緊急避難場所・指定避難所への非常用電源設置率（屋内）	B
政策 1 - (2) 住民主体の防災力アップ		主な成果指標等	進捗状況
	① 自主防災会等における防災・減災活動の推進	自主防災会での防災講座の開催回数（延数）	C
	② 自主防災組織の担い手づくり・防災士資格取得の推進	長野県自主防災リーダー研修会参加者数	B
	③ 地区防災マップや地区防災計画等の整備	住民支え合いマップ等を作成した自主防災会の数（延数）	B
政策 1 - (3) 新たな時代の消防団づくり		主な成果指標等	進捗状況
	① 自主防災会との連携（顔の見える関係づくり）	消防団と自主防災会との防災訓練等の回数（年）	C
	② 自然災害への対応体制の強化	大規模林野火災防御訓練または救急救助訓練の実施回数（年）	B
	③ 消防団の機構改革に向けた研究	定性的な成果	B
	④ 消防団事業の改善に向けた研究	定性的な成果	A
	⑤ 団員確保に向けた取り組みと研究	消防団員数（定数対実人数）	B
政策 1 - (4) 先端技術を活用した未来のサービスづくり		主な成果指標等	進捗状況
	① 行政文書のペーパーレス化の推進	複合機の印刷枚数	C
	② 行政手続のデジタル化の推進	電子申請・届出システムに対応した様式数（延数）	A
	③ AI・RPA等のICT活用による事務効率化の推進	新規システム導入及び既存システム更新件数（延数）	A

政策 1 - (5) 効率的で速やかな 情報発信		主な成果指標等	進捗状況
	① 住民が必要とする情報の把握と研究	飯島町公式ホームページへのアクセス件数（年）	A
	② 様々なツールを活用した町の魅力発信	研修へ参加をした正規職員の割合	C
	③ 行政情報のデジタル化の推進	国又は県が使用・提供する情報システムの導入件数（延数）	B
政策 1 - (6) 安心して暮らせる 地域公共交通の確保		主な成果指標等	進捗状況
	① より利用しやすい地域循環バス運行形態の研究	地域循環バス年間利用者数（年）	B
	② 通勤通学等の電車利用者の利便性の確保	定性的な成果	A
政策 1 - (7) 未来を担う職員の 育成と役場機能の 効率化		主な成果指標等	進捗状況
	① 接客ホスピタリティーの醸成	長野県市町村職員研修センターの実施する接客力向上研修への参加職員（年）	C
	② 国、県、他市町村や企業との職員交流の実施	国、県への研修派遣職員数（延数）	A
	③ 各種研修や職員提案制度等の実施による、職員の企画、立案、実行力の向上	長野県市町村職員研修センターの実施する政策形成力向上研修への参加職員（年）	C
	⑥ 定員管理計画に沿った職員数管理	定性的な成果	A
	⑦ 有事の際に業務が継続できる施設整備や空間デザインの研究	定性的な成果	B

# 基本目標 2 美しく快適な暮らしの環境を 将来へつなぐ

<住民税務>

《基本的方向》

ふたつのアルプスの麓、美しい自然にはぐくまれた生活環境は住民が共有するかけがえのない財産です。この恵まれた生活環境を保全し将来の世代に引き継いでいくまちを目指します。

また、住民の生活と行政の重要な接点でもある窓口や税の業務について、接客ホスピタリティーの向上を図るとともに、公平で効率的なサービスの最適化を目指します。

政策 2 - (1) 低炭素・循環型の まちづくり		主な成果指標等	進捗状況
	① 再生可能エネルギーの普及促進	太陽光発電システム設置補助事業件数（延数）	B
	② 省エネルギーの推進	温室効果ガス排出量の削減（年）	B
	③ 地球温暖化防止に関する環境意識の醸成	地球温暖化対策に関する環境教育の実施回数（年）	A
政策 2 - (2) ごみの少ない暮らし づくり		主な成果指標等	進捗状況
	① ごみ分別の説明会の開催（地域、学校及び事業所）	ごみの分別に係る問合せ件数（年）	B
	② ごみ処理施設の見学会の開催	ごみ処理施設の見学会（年）	B
	③ 転入者へのごみ出し方法の説明	町民 1 人 1 日あたりの家庭ごみ排出量（日）	B
政策 2 - (3) 接客ホスピタリ ティー向上		主な成果指標等	進捗状況
	① ワンストップサービスによる役場組織内の連携強化	定性的な成果	A
	② 窓口や接客改善のための定期的な組織内連携会議の開催	定性的な成果	B
	④ 他市町村や民間企業との窓口接客等の実地研修	定性的な成果	B
	⑤ マイナンバーカードの申請促進・庁外に出向いての申請サポート	マイナンバーカード申請率	A
政策 2 - (4) 公平で適正な税収 の確保		主な成果指標等	進捗状況
	① 課税精度の向上と未収金の縮減	飯島・七久保小学校での租税教室の開催（年）	B
	② 固定資産税における全筆・全棟調査の実施・精度の向上	定性的な成果	B
	③ 税務申告等の手続の簡素化の研究	e-taX（電子申告）確定申告者数（年）	B

# 基本目標3 誰もが健康で居場所と出番があり 共に支え合える地域づくり

<健康福祉>

《基本的方向》

生涯を通じて、心も体も健康で安心して生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護などの関係機関が密に連携し、健康増進、疾病の予防・早期発見・早期治療、福祉の充実、介護への適切な対応ができるネットワークの構築を推進します。

政策3-(1) 切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健体制		主な成果指標等	進捗状況
	① 母子の心身の健康増進を目的とした新生児訪問、乳幼児健診等の実施	新生児訪問の実施率	A
	② 保健・医療・福祉・教育・地域の組織等との連携支援	定性的な成果	A
	③ 切れ目のない子育て支援の実現に向けた体制の充実	定性的な成果	B
政策3-(2) 「生涯健康」支援		主な成果指標等	進捗状況
	① 幼少期からの生活習慣病予防	保育園年長児の体格が肥満・やせの割合（年）	A
	② 年代に応じた疾病予防対策の充実	がん検診受診率	A
	③ 地域や健康推進員と協力した健康づくりの取り組み	地区・自治会健康教室参加数（年）	B
	④ こころの健康に関する正しい知識や対処法の普及啓発	自殺死亡率	B
	⑤ 健康のための運動習慣・食育活動の推進	健康づくり運動教室開催（年）	B
	⑥ 感染症に対応するための医療相談体制の整備と行動変容の支援	感染症予防に関する健康教育の実施（年）	B
政策3-(3) いつでも安心な地域医療体制づくり		主な成果指標等	進捗状況
	① 上伊那地域や伊南地域との包括的な医療連携支援	町内医療機関数（歯科含む）	B
	② 感染症対策の推進	定性的な成果	A
	③ 災害時の医療体制の整備	定性的な成果	B
	④ 町内3師会（医師・歯科医師・薬剤師）と連携した地域医療の確保	定性的な成果	A
	⑤ 国民健康保険事業、後期高齢者医療事業の適正な運営	定性的な成果	A
	⑥ 福祉医療費による医療支援	福祉医療費給付費の維持（年）	B

政策3-(4)	主な成果指標等		進捗状況
みんなが支え合う地域福祉の実現	① みんなが地域づくりの主体として支え合う「新しいお互いさま」社会の推進	定性的な成果	B
	② 包括的に機能する相談・支援体制の整備	定性的な成果	B
	③ 地域を支える人材や団体の育成	各種サポーター養成講座受講者数（延数）	B
	④ 地域での居場所づくりの推進	自主的な居場所づくりへの人的支援（延数）	B
	⑤ 町社会福祉協議会との連携・協働	支え合いマップの定期更新率	B
	⑥ 民生児童委員との連携	定性的な成果	B
政策3-(5)	主な成果指標等		進捗状況
障がいの有無にかかわらず幸せに暮らせるまちづくり	① 障がいのある人の権利を守る福祉サービスの充実	障害福祉施設から一般就労に移行した人数	B
	② 安全で暮らしやすい地域づくりと地域での支援体制の強化	定性的な成果	B
	③ 障がいのある人の社会参加の推進	地域活動支援センター月間利用者数	B
政策3-(6)	主な成果指標等		進捗状況
高齢者も自分らしく暮らせるまちづくり	① 高齢者の社会参加の推進と助け合い活動の創出	介護予防に資する通いの場への参加率	B
	② 高齢者の生活支援体制整備の充実	認知症カフェ利用者数（延数）	B
	③ 介護保険制度の適正な運営と保険者機能の強化	定性的な成果	B

# 基本目標 4 地域特性を生かした 産業の創造と振興のまちづくり

<産業振興>

«基本的方向»

ふたつのアルプスの恵みがもたらす農地や森林、水などの地域資源や、培ってきた伝統や文化を生かした、多様な産業による活力あるまちを目指します。

将来にわたって暮らしやすい町であるためには、そこに住みたいという想いだけではなく、暮らし続けるための「しごと」が必要です。地域の特性を生かしながら、新しい時代にも対応できる産業を創造していきます。

政策 4 - (1) 将来を見据えた農地 の有効利用		主な成果指標等	進捗状況
	① 5年～10年後の農地の利用意向調査の実施	【再掲】担い手への農地利用集積面積（増加）	B
	② 計画的な農地利用の調整	遊休農地の面積（減少）	B
	③ 担い手や新規就農希望者とのマッチング	【再掲】担い手への農地利用集積面積（増加）	B
政策 4 - (2) 地域の協力による 農作業の効率化		主な成果指標等	進捗状況
	① 地区営農組合による農地利用調整の推進	農地流動化率	B
	② 農地所有者の農地保全に対する意識の醸成	【再掲】農地流動化率	A
	③ 担い手法人等の要請により地区営農組合が草刈り隊を派遣する仕組みづくり	【再掲】畦畔管理指針の作成（延数）	B
政策 4 - (3) スマート農業の推 進		主な成果指標等	進捗状況
	① RTK基地局の活用推進によりスマート農業の普及を図る	スマート農業取り組み事例	B
	② スマート農業に対応する農業支援情報システムの構築検討	【再掲】スマート農業取り組み事例	A
	③ 経営体の機械の導入、スマート農業化への支援	【再掲】スマート農業取り組み事例	A
政策 4 - (4) 就農希望者への積 極支援		主な成果指標等	進捗状況
	① 「アグリイノベーション2030」の仕組みづくり	新規就農者数（延数）	B
	② 新規就農者の積極的な受け入れ・支援	【再掲】新規就農者数（延数）	B
	③ 国、県、JAの就農支援制度を活用した研修や初期投資の負担軽減	【再掲】新規就農者数（延数）	B
	④ 営農組合の農地利用調整による円滑な農地の貸借支援	【再掲】担い手への農地利用集積面積（増加）	B

政策4-(5) 地域資源を生かした農業の展開		主な成果指標等	進捗状況
	① 消費者ニーズを中心に捉えた新たな振興作物の研究	畦畔管理指針の作成(延数)	B
	② 6次産業化の展開による農業の高付加価値化を研究	【再掲】新規就農者数(延数)	B
	③ 日曽利圃場整備事業を生かしたブドウ等の新植を検討	【再掲】新規就農者数(延数)	B
	④ 新たな振興作物としての柿の新植を検討	【再掲】新規就農者数(延数)	B
	⑤ バイオマス発電施設の排熱を利用した付加価値の高い農産物生産を研究	【再掲】新規就農者数(延数)	B
	⑥ 耕作条件が不利な水田の畑化の検討	【再掲】遊休農地の面積(減少)	B
	⑦ ミヤマシジミとコマツナギを保全する畦畔管理の推進	【再掲】畦畔管理指針の作成(延数)	B
	⑧ ビオトープや水田の冬期湛水による生物多様性環境の保全	【再掲】畦畔管理指針の作成(延数)	B
	⑨ グローバルギャップへの取り組み	【再掲】畦畔管理指針の作成(延数)	B
	⑩ 地域で生産された農産物を地域で消費する地産地消の取り組み	道の駅年間来場者数(年)	B
政策4-(6) 農業生産基盤の整備		主な成果指標等	進捗状況
	① ほ場整備の推進	定性的な成果	B
	② 水路構造物等長寿命化修繕	水路補修箇所数(年)	B
	③ 中央道跨水路橋の統廃合検討	定性的な成果	B
政策4-(7) 地域の特徴を生かした企業誘致		主な成果指標等	進捗状況
	① 音楽村構想「アルプスの音色が響くまち」の推進	新規企業誘致数(延数)	C
	② 発酵食品関連企業と連携した発酵食文化の推進	【再掲】新規企業誘致数(延数)	B
	③ 企業のビジネスマッチングや販路開拓に繋がる支援	メディア掲載回数(年)	A
	④ 優良企業の誘致	地元滞留率	A
	⑤ わら細工などの伝統技術等の承継支援	【再掲】メディア掲載回数(年)	A
	⑥ 飯島町商工会と連携した工業の支援	工業展参加事業者数	B
政策4-(8) 賑わう商店と買い物環境づくり		主な成果指標等	進捗状況
	① 商工業者が自ら提案しチャレンジできる仕組みづくり	【再掲】地元滞留率	B
	② 買い物弱者対策を含めた買い物環境の充実	【再掲】地元滞留率	B
	③ 飯島町商工会等と連携した商業の支援	【再掲】地元滞留率	B
	④ 感染症対策を踏まえ必要に応じた商品券の発行等による消費喚起	【再掲】地元滞留率	A

政策4-(9) 新しいワークスタイルの推進と起業支援		主な成果指標等	進捗状況
	① サテライトオフィスの誘致を推進	観光客数(年)	B
	② 求人情報の提供と就労サポート体制の充実	定性的な成果	B
	③ 人材育成の推進・支援	起業数(年)	B
	④ 飯島町商工会と連携した起業支援	町内の事業所数(延数)	B
政策4-(10) スマート林業の推進		主な成果指標等	進捗状況
	① ICT技術による森林測量を基にした森林整備の推進及び生産性の向上	定性的な成果	B
	② 森林環境譲与税を活用した民有林の集約化	森林の管理に関する意向調査した面積(年)	B
	③ ゾーニングによる計画的な森林整備の推進	町有林の造林面積(年)	B
	④ 作業路網等、林業基盤整備の推進	定性的な成果	A
	⑤ 間伐材等を利用した自然エネルギー活用の推進	定性的な成果	B
政策4-(11) 治山・治水による森林の機能向上		主な成果指標等	進捗状況
	① 治山・治水事業の推進	定性的な成果	B
政策4-(12) 有害鳥獣等対策の推進		主な成果指標等	進捗状況
	① 猟友会や鳥獣被害対策実施隊との連携による有害鳥獣駆除の推進	有害鳥獣捕獲頭数(年)	B
	② 自然条件及び地域の特性等を考慮した樹種転換の推進	樹種転換実施面積(年)	B
	③ 松くい虫など森林病害虫の被害拡大防止策の充実	定性的な成果	A
	④ 枯損木処理による林業被害防止策の強化	松枯損木伐倒処理量(年)	A
	⑤ 有害鳥獣等対策の啓発活動の推進	有害鳥獣被害対策の啓発(年)	B

# 基本目標5 暮らしを支える 強靱で快適なライフラインの創造

<建設水道>

《基本的方向》

住民の安全・安心で豊かな暮らしを支える、強靱で快適なライフラインを創造します。

道路・橋りょう、上下水道を中心とした公共インフラは暮らしの重要な要素です。リニア中央新幹線の開通や時代の変革など、将来を見据えたインフラ整備や維持管理、強靱化を進めることで暮らしやすいまちを実現します。

政策5-(1) 暮らしを支える道路の整備		主な成果指標等	進捗状況
	① 国道、県道の整備促進	定性的な成果	B
	② 町道の整備	町道の改良延長（幅員5.5m～）	B
	③ 道路構造物の長寿命化修繕	町管理橋梁の点検数（延数）	B
	④ 道路橋及び水路橋の統廃合の検討	定性的な成果	B
	⑤ 地域や住民との公助による道路の維持管理	定性的な成果	B
	⑥ 国道153号伊那バレー・リニア北バイパスの計画促進	定性的な成果	B
	⑦ 交通量の少ない道路等の用途廃止や代替策の研究	定性的な成果	B
政策5-(2) 安全・安心の河川整備		主な成果指標等	進捗状況
	① 一級河川天竜川、与田切川及び中田切川の整備・砂防事業の促進	与田切川、中田切川の整備率	B
	② 県管理河川の整備・砂防事業の促進	定性的な成果	B
	③ 町管理河川の適正な維持管理	定性的な成果	B
政策5-(3) 将来を見据えた都市づくり		主な成果指標等	進捗状況
	① 住民の希望する未来や国土利用計画に基づく都市計画等の見直し	現都市計画の見直し案の作成及び計画決定	B
	② 都市計画マスタープランの更新による、総合的な都市計画の推進	【再掲】現都市計画の見直し案の作成及び計画決定	B
	③ 景観保全を目的とした、住宅・看板設置の指導	景観計画に定められた景観形成基準への適合率	B
政策5-(4) 住宅施策と空き家対策		主な成果指標等	進捗状況
	① 公営住宅の適正管理（長寿命化・計画的な維持修繕）と統廃合の促進	長寿命化計画に基づく住宅ストック数	B
	② 住宅の耐震診断・耐震改修の促進、若しくは建替えの推奨	一般住宅の耐震化率	B
	③ 特定空家等候補の抑制と空き家の適正管理及び利活用の促進	特定空家等候補数	C
	④ 公営住宅については、適正な管理により入居率の向上	町営住宅の入居率	B
	⑤ 耐震診断・耐震改修・耐震シェルター設置の推進	木造住宅等耐震診断事業の実施数	B

政策5-(5) 地籍調査事業の推進		主な成果指標等	進捗状況
	① 地籍調査事業の推進	国土調査実施済進捗率	B
政策5-(6) 安全で安心な水道の確保		主な成果指標等	進捗状況
	① 建替えも視野に入れた浄水場耐震化の実施	定性的な成果	B
	② 老朽管路の更新継続	水道管の管路耐震化率	B
	③ 隣接自治体への用水供給事業の推進	定性的な成果	B
	④ 豊かな水資源を活用した水力発電等による水道料金の値下げ	定性的な成果	B
政策5-(7) 快適で衛生的な下水道・浄化槽の推進		主な成果指標等	進捗状況
	① 下水道・合併浄化槽へのつなぎ込み推進	下水道・合併浄化槽へのつなぎ込み率	A
	② 下水道処理施設の統廃合	定性的な成果	B

# 基本目標6 魅力向上で住みたい・住み続けたい地域づくり

<地域創造>

《基本的方向》

住民が自らの地域に誇りと愛着を持ち、住みたい、住み続けたいと思える魅力あるまちを目指します。町の魅力を発掘し磨き上げる取り組みを進めることで、交流人口や関係人口、定住人口の増加を目指すとともに、将来を見据えた暮らしやすい地域づくりを住民と共に進めていきます。

政策6-(1) 町の魅力を生かした観光地域づくり		主な成果指標等	進捗状況
	① 与田切公園、千人塚公園をベースとした与田切溪谷の整備と活用	観光客数（与田切公園、千人塚公園、道の駅花の里いいじま、道の駅田切の里）（年間）	B
	② 観光事業者の育成	飯島流ワーケーション推進協議会参加事業者数（延数）	B
	③ 地域資源の掘り起こしとプログラム化	いいじま体験プログラムの作成の数（延数）	A
	④ 滞在型旅行商品の造成・販売	【再掲】いいじま体験プログラムの作成の数（延数）	A
	⑤ 周辺市町村と連携した広域観光ルートの開発	広域観光ルート数	B
	⑥ 感染症に対応するための安心安全な観光地づくりの推進	定性的な成果	C
政策6-(2) 儲かる飯島町の創出		主な成果指標等	進捗状況
	① インターネット販売事業の拡大	観光消費額	C
	② 関係団体や企業と連携した特産品流通の仕組みづくり	定性的な成果	B
	③ 都市企業の社会貢献活動や福利厚生活動の受入	受入企業数	C
	④ 住民が主体となった地域資源の掘り起こしと磨き上げ	特産品、料理メニュー等の開発件数（延数）	C
政策6-(3) 若者や子育て世代の人口を増やす		主な成果指標等	進捗状況
	① 郷土愛の醸成によるUIターンの促進	若者世帯のUIターン世帯数（年）	B
	② 若者がUIターンしたいと思える働き方や生活環境の整備	民間宅地開発支援事業補助金の利用件数（年）	B
	③ 女性の「子育て」と「就労」を支援する取り組み	町民ライター記事掲載数	A
	④ 若者が主体的に参加運営する事業への支援	イベント等相談対応件数（年）	C
	⑤ 感染症対策を踏まえた若者への都市部からのUIターンの促進	【再掲】若者世帯のUIターン世帯数（年）	B

政策 6 - ( 4 ) 若い世代の結婚を 応援		主な成果指標等	進捗状況
	① 若年層が気軽に相談できる体制づくりと交流機会の提供	婚姻数（年）	B
	② ライフデザイン意識の醸成	ライフデザイン特集記事掲載回数（年）	C
	③ 県外から地方へ嫁ぎたい人々を呼び込む取り組み	【再掲】婚姻数（年）	B
	④ 若年層の住まいに関する支援の拡充	結婚新生活支援事業補助金利用件数（年）	B
	⑤ 定例的な結婚相談の実施	結婚相談による成婚数（年）	B

政策 6 - ( 5 ) 住民参加で盛り上 げるコミュニティ 機能の充実		主な成果指標等	進捗状況
	① 協働による共に支え合うまちづくりの推進	協働のまちづくり推進事業補助金利用件数（年）	B
	② 住民が参加しやすいまちづくりの仕組みづくり	【再掲】協働のまちづくり推進事業補助金利用件数（年）	B
	③ 住民みんなで進めるきれいでやすらぎのある環境づくり	定性的な成果	B
	④ 人が集い活気のある「賑わいの場」づくり	定性的な成果	C
	⑤ 利便性の高いまちなかの「生活の場」づくり	定性的な成果	B
	⑥ 感染症に対応するための新しい生活様式に沿ったコミュニティの研究	定性的な成果	B

政策 6 - ( 6 ) 将来を見据えた自 治組織への支援		主な成果指標等	進捗状況
	① 将来を見据えた自治組織（区・地域づくり委員会・自治会）のあり方検討	定性的な成果	B
	② 行政施策による自治組織の負担軽減	定性的な成果	B
	③ 自治組織への加入促進	自治会加入率	B

飯島ルネサンス 「環境循環ライフ 構想」プロジェク ト		主な成果指標等	進捗状況
	—	いいじま体験プログラムの参加者数（ワーケーション）（延数）	B

# 基本目標7 「子どもの元気」と「学びの力」でいきいき豊かな暮らし

## ＜教育＞

### 《基本的方向》

将来にわたり活力のある暮らしやすいまちのため、家庭・学校・地域・企業が一体となって子育てを支援する、安心して子どもを産み育てられるまちを目指します。次世代を担う子どもたち1人ひとりが確かな学力と豊かな人間性、柔軟な創造性を身につけ、「生きる力」を育む学校教育を推進するとともに、誰もが生きいきと充実した人生を送ることのできる生涯学習の環境を整えます。

政策7-(1) 子どもの健やかな 体と豊かな心を育 てる		主な成果指標等	進捗状況
	① 待機児童ゼロ維持のため、保育環境の整備	保育園待機児童数（年）	B
	② 専門スタッフによる教室により、その子に合った早期の支援・保育の提供	定性的な成果	A
	③ 園における運動あそびや、絵本との触れ合いの充実	定性的な成果	B
	④ 子どもに関する様々な悩みに寄り添える相談体制の充実	定性的な成果	B
	⑤ 保育園、学校、家庭、地域、関係機関、行政等の連携強化	要保護児童数（年）	B
政策7-(2) 学校教育の充実		主な成果指標等	進捗状況
	② ICTを活用した教育環境の充実と教育の推進	教材提示装置整備率（飯島小学校、七久保小学校、飯島中学校）	B
	③ 安全で安心な学校給食の推進と地域に開かれた多目的給食センターの実現	給食事故件数（年）	B
	④ 郷土愛プロジェクト等を通じ地域を知り「ふるさと飯島」への愛を育む	定性的な成果	B
	⑤ 感染症に対応する情報技術を活用した教育環境の整備の推進	学校内での新型コロナクラスター発生件数（年）	A
	⑥ 心に寄り添い輝く笑顔あふれる教育活動の推進	学校満足度調査（生活）の割合	A
政策7-(3) 子どものための家 庭環境づくりの支 援		主な成果指標等	進捗状況
	① 関連組織間の連携による子育てと仕事の両立支援	定性的な成果	B
	② 子育て世代が安心して子育てできるような、家庭の在り方を自ら学べる講座の開催	子育て支援センター利用者延べ人数	C
	③ 切れ目のない子育て支援の実現に向けた体制の一元化	定性的な成果	B

政策7-(4) 学ぼう「知ること・為すこと・共に生きること」		主な成果指標等	進捗状況
	① 全町的な生涯学習活動の推進	講座参加人数（年）	B
	② 生涯学習センターと関係機関との連携強化	定性的な成果	B
	③ 各公民館事業の支援	定性的な成果	B
	④ 図書館・歴史民俗資料館・文化館・スポーツ施設等の連携強化	定性的な成果	B
	⑤ 生涯学習事業情報の一元化と情報発信	定性的な成果	B
	⑥ 指導者やボランティアの情報整備と活用	定性的な成果	C
	⑦ 現代課題や地域課題を踏まえた講座の開催	定性的な成果	C

政策7-(5) スポーツライフ「いつでも・どこでも・いつまでも」		主な成果指標等	進捗状況
	① スポーツ関連団体と連携した生涯スポーツの推進	定性的な成果	B
	② 少年スポーツの活動支援	定性的な成果	A
	③ スポーツクラブ・サークルの活動支援	定性的な成果	B
	④ 「飯島町総合型スポーツクラブ」と連携した生涯スポーツの推進	定性的な成果	B
	⑤ 誰もが気軽に楽しめるニュースポーツの普及促進	定性的な成果	B
	⑥ 住民が利用しやすいスポーツ環境の整備・充実	スポーツ実施率（週1回以上運動をする人）	A

政策7-(6) 芸術・文化を守りつなぐ		主な成果指標等	進捗状況
	① 住民が利用しやすい文化施設の運営	文化館利用人数（年）	A
	② 心を豊かにし、感性を高める文化事業の開催	定性的な成果	B
	③ 町内の楽器製造企業との連携による音楽環境の醸成	定性的な成果	A
	④ 学校との連携による歴史民俗資料館を活用した学習支援	定性的な成果	B
	⑤ 感染症に対応する安全な施設運営方法の研究	定性的な成果	B

# 基本目標 8 将来を実現する 創像力にあふれた行政基盤づくり

<企画政策・会計・議会事務>

## 「基本的方向」

いかなる状況においても安定した暮らしやすいまちであるために、社会の変化に対応できる、将来にわたって持続可能な行政基盤の構築を目指します。人口減少や少子高齢化、地方分権の進展、住民ニーズの多様化・高度化に、創造力と実行力で応えられる簡素で効率的な行政組織を構築していきます。

政策 8 - (1) 将来像を目指す仕 組みづくり		主な成果指標等	進捗状況
	① 評価・見直しによる総合計画の進捗管理	定性的な成果	B
	② プロジェクトチームの編成による施策の推進	プロジェクトチームによる問題解決件数（延数）	B
	③ 「政策アイデアコンテスト」の開催	政策アイデアコンテンツによる施策実現（延数）	B
政策 8 - (2) 住民ニーズに応え る行政改革		主な成果指標等	進捗状況
	① 住民ニーズや情勢の変化に対応した組織改革	定性的な成果	B
	② 簡素で効率的な行政組織のための事務事業改革	定性的な成果	B
	③ 形骸化した事業・事務等の統廃合の推進	定性的な成果	B
政策 8 - (3) 効果的・効率的な 財政運営		主な成果指標等	進捗状況
	① 中長期的な財政状況の把握と効率的な財政運営の推進	定性的な成果	B
	② 新たな財源確保の研究	定性的な成果	B
	③ 起債残高の縮減と実質公債費比率の抑制	実質公債費比率の抑制	B
	④ 計画的な各基金の積み立ての推進	標準財政規模に対する財政調整基金積立額の割合	A
	⑤ 選択と集中による事業の最適化推進	定性的な成果	B
	⑥ 公共施設の大規模修繕や災害発生時を想定した財政運営の推進	【再掲】標準財政規模に対する財政調整基金積立額の割合	A
政策 8 - (4) 公共施設の適正管 理・有効活用		主な成果指標等	進捗状況
	① 施設の有効活用や維持管理コストの効率化	公共建築物の削減延床面積（延数）	B
	② 施設の総量を段階的に減らす取り組み	公共建築物延床面積の抑制（延数）	B

政策 8 - ( 5 ) 適正な会計事務		主な成果指標等	進捗状況
	① 会計事務を標準化するための資料作成	定性的な成果	B
	② 会計処理に関する職員説明会の実施	定性的な成果	A
	③ 物品の集中購買による経費節減	定性的な成果	A
	④ 事務用消耗品の共有化、再利用化推進	共有化する事務用消耗品数（延数）	C
政策 8 - ( 6 ) 議会・監査の支援		主な成果指標等	進捗状況
	① 議会運営に必要な資料や情報の提供	定性的な成果	B
	② 監査業務の支援	定性的な成果	B

## 「環境循環ライフ構想」プロジェクト

### 「基本的方向」

豊かな森林や水資源を安定活用する強靱化を進め、木質バイオマス発電や水力発電により資源の地産地消や自主財源を図る「飯島ルネサンス」に取り組みます。木質バイオマス発電にあたっては、森林整備や環境保全、森林資源の活用、排熱利用などを一体的にとらえ、森林エネルギーの地産地消と産業振興に繋げるとともに、「アグリイノベーション2030」による新しい農業の取り組みや、災害に強いまちづくり、「飯島流ワーケーション」による地域交流などを推進します。

主な分野横断的な取り組み	第1階層 (基本目標)	第2階層 (基本計画)	第3階層 (施策)		主な成果指標等	進捗状況	
	4	10	5	間伐材等を利用した自然エネルギー活用の推進			定性的な成果
	—	—	—	—		いいじま体験プログラムの参加者数 (ワーケーション) (延数)	B

## 人口増プロジェクト

### 「基本的方向」

人口増プロジェクトでは、人口増に関連する、妊娠・出産・子育て支援や、子育て世代が働きやすい職場づくりの支援、魅力的な保育・教育環境づくり、若い世代のUターンや都市部からの転入の促進、住環境の整備、魅力的な情報発信などを連携して検討を進めることで、相乗効果のある各施策の推進に繋げていきます。

主な分野横断的な取り組み	第1階層 (基本目標)	第2階層 (基本計画)	第3階層 (施策)		主な成果指標等	進捗状況	
	1	5	2	様々なツールを活用した町の魅力発信			研修へ参加をした正規職員の割合
	3	1	1	母子の心身の健康増進を目的とした新生児訪問、乳幼児健診等の実施		新生児訪問の実施率	A
	5	1	2	町道の整備		町道の改良延長 (幅員5.5m~)	B
	5	4	3	特定空家等候補の抑制と空き家の適正管理及び利活用の促進		特定空家等候補数	C
	6	3	1	郷土愛の醸成によるU I ターンの促進		若者世帯のUIターン世帯数 (年)	B
	6	3	3	女性の「子育て」と「就労」を支援する取り組み		町民ライター記事掲載数	A
	7	1	1	待機児童ゼロ維持のため、保育環境の整備		保育園待機児童数 (年)	B
	7	2	4	郷土愛プロジェクト等を通じ地域を知り「ふるさと飯島」への愛を育む		定性的な成果	B
	8	1	2	プロジェクトチームの編成による施策の推進		定性的な成果	B

# V 事務事業・実施計画（施策）評価総括表

## ■ 「事務事業（評価シート）」評価項目

### (1) 計画（Plan）

事業の内容や当該年度の取組内容を簡潔に記載します。

### (2) 実施（Do）

上記取組内容に対する達成度を確認します。

<b>1</b>	目標を大きく上回って達成
<b>2</b>	目標を上回って達成
<b>3</b>	ほぼ目標どおり
<b>4</b>	目標を下回った
<b>5</b>	目標を大きく下回った

### (3) 評価（Check）

必要性	【町民ニーズ】事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a.薄れていない b.薄れている
	【町が実施する必要性】他都市等で、民間等でサービス提供している事例はないか	a.事例はない b.事例がある
有効性	【成果】取組内容の実績に対し、事業の成果（成果指標等）は順調に上がっているのか	a.上がっている b.徐々にあがっている c.上がっていない
効率性	【民間の活用】委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか	a.余地はない b.余地はある c.既に実施済み
	【事業手法等の見直し】事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a.可能性はない b.可能性はある
	【質の向上】事業を適正な（過小でも、過大でもない）規模の人員体制・費用で行いながら、町民サービスや役場内部（職員・組織）の質の向上を図ることができる余地があるか	a.余地はない b.余地はある c.既に実施済み

### (4) 改善（Action）

<b>I</b>	現状のまま維持
<b>II</b>	改善しながら継続
<b>III</b>	事業規模拡大
<b>IV</b>	事業規模縮小
<b>V</b>	事業廃止
<b>VI</b>	事業終了

## ■ 「実施計画（施策）評価シート」評価項目

### (1) 成果指標状況と成果の分析

- ① 成果指標は、総合計画・実施計画等に位置づけした指標について、その実績を記載します。
- ② 定性的な成果は、取組を進めたことで発現した数値では測れない効果などについて記載します。

### (2) 施策の進捗状況

指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価します。

<b>A</b>	順調に推移している（目標達成している）
<b>B</b>	一定の進捗がある（目標達成に向けて進捗している）
<b>C</b>	進捗は遅れている（目標達成が遅れている可能性がある）
<b>D</b>	進捗は大幅に遅れている（目標達成が難しい可能性がある）

### (3) 今後の方向性

事業構成の手段は妥当かを判断します。

<b>I</b>	効果的な事業構成である（現状のまま継続する）
<b>II</b>	概ね効果的な構成である（一部見直し等の余地がある）
<b>III</b>	あまり効果的な事業構成でない（見直し等の余地が大きい）
<b>IV</b>	事業構成に問題がある（抜本的な見直し等が必要である）

＜総務課＞

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総 合計画政 策体系上 げの位置 づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性					
達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性			効率性	今後の方向性	1層		2層	3層	プロジェクト		目標値	実績値							
				町民ニーズ	民間での事例				民間活用				手法見直し			質の向上						
1110	一般管理事務費	307,431	307,284	①定員管理計画に沿った職員採用の実施②年休取得日数の増加に向け、連休の間の出勤日に年休取得を呼び掛け	2	①定員管理計画どおり1名の職員採用を行いました。②年休取得日数が増加しました。(平均取得日数 7.0日⇒7.7日、5日以上取得した職員数 64名⇒71名)	b	a	a	a	b	a	I	1	7	6	—	①定員管理計画に基づき新規採用職員1名を確保することができました。	—	—	A	II
1111	一般管理費	17,031	15,280	①行財政改革に併せた職員提案の実施②健康診断結果が要精密検査であった職員へ、精密検査受診の周知	2	①職員提案制度の実施により、職員の企画立案や業務改善を考える力の向上につながりました。②精密検査受診率について、令和2年度の55.8%から令和3年度70.3%へ向上することができました。	a	a	b	a	a	a	I	1	7	1	—	長野県市町村職員研修センターの実施する接遇力向上研修への参加職員(年)	2人	0人	C	II
														1	7	2	—	国、県への研修派遣職員数(延数)	1人	2人	A	I
														1	7	3	—	長野県市町村職員研修センターの実施する政策形成力向上研修への参加職員(年)	2人	0人	C	II
1152	役場庁舎管理費	57,600	56,687	①適正な施設修繕の実施②省エネ対策である、本庁舎内の照明をLED化への方向づけ。	3	①防災拠点施設等のトイレ改修工事設計監理を実施しました。(1,331,000円)②防災拠点施設等のトイレ改修工事を実施しました。(24,200,000円)	a	a	b	b	b	b	I	1	7	7	—	①令和3年度に取り組んでいる情報機器更新事業と連携したことにより、新型コロナウイルスに対応した分散勤務に対応した空間を整備することができました。②また、情報収集、研究を行い、LED化更新へ方向性を決定することができました。	—	—	B	II

基本情報				事務事業評価						実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総 合計画政 策体系上 の位置づ け			成果指標・定 性的な成果		当該年度		今後の方向性			
事業 コード	事業 名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取 組内容	達成 度	主な取 組内容の 実績	必要性		有効性		効率性		今後の 方向性	1 層	2 層	3 層	プロ ジェク ト	目 標 値	実 績 値	施 策 の 進 捗 状 況	今 後 の 方 向 性
							町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例	有 効 性	有 効 性	有 効 性	有 効 性									
1153	車両管理費	7,041	5,606	①適正な車両更新の実施②健全な車両管理の実施	3	①総務課選挙候補車（エブリ）の更新を行いました。（966,071円）②公用車5台ヘッドライプレコーダーを設置しました。（319,000円）	a	a	b	b	b	b	I	—	—	—	—	—	—	—	—
1156	西庁舎管理費	1,833	1,801	①適正な修繕の実施②省エネ対策である、西庁舎内の照明をLED化への方向づけ。	3	①西庁舎の出入口自動ドア及び鍵交換修理を実施しました。②西庁舎青年相談室照明器具取替を実施しました。③農産物加工室ガス配管修繕を実施しました。	a	a	b	b	b	b	I	—	—	—	—	—	—	—	—
1193	循環バス運行事業	16,519	16,052	①2地区に分割していた地域線を1つにまとめて発注することによるスケールメリットと、運行方法を実績に応じた支払へ変更することによる運行費用圧縮の検討②庁内関係部署による生活交通確保研究委員会を年3回開催し、運行方法の変更について検討	3	①運行方法の改善について検討を進め、自宅から乗車可能とする方向性を出すことができました。	a	a	b	a	b	b	II	1	6	1	—	地域循環バス年間利用者数（年）	4,000人	3,126人	B II



基本情報				事務事業評価						実施計画（施策）評価							
				計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合計画 策体系上の位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		今後の進捗状況	今後の方向性
達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性			効率性	今後の方向性	1層		2層	3層	プロジェクト		目標値	実績値		
				民間での事例	民間活用				質の向上								
1831	防犯対策費	14,403	14,309	①特殊詐欺に対する注意喚起を臨機応変に実施（令和3年中、町内での特殊詐欺被害認知件数はゼロ）②3年に1度実施している「安全安心なまち町民大会」を改め、メディアミックスと全戸へのノベルティ配布による「安全安心なまち啓発事業」の実施③飯島警察官駐在所及び七久保警察官駐在所の移転新築に係る、農業委員会や法務局の各種手続き、用地取得、造成工事等の計画的な実施	2	①目標を上回る達成でした。②令和3年中の町内における特殊詐欺の被害認知件数がゼロで、被害を抑えることができました。③「安心安全なまち啓発事業」を展開し、従前の大会参加者の枠を超えて、広く啓発活動・意識づけをすることができました。④上部団体である伊南防犯連合会への防犯指導員のかかわりを年番制に改め、従前の5名から2名と住民負担を減らすことができました。⑤飯島町警察官駐在所事業を計画的に進め、令和4年度の建築事業につなげることができました。特に造成事業では公共事業の発生土を活用し、工事費を抑制することができました。（およそ10万円）	a	a	b	a	a	a	I	—	—	—	—

基本情報				事務事業評価						実施計画（施策）評価															
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合計画 政策体系づけ の位置づけ			成果指標・ 定性的な成果	当該年度		今後の方向性 施策の進捗状況								
主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性		有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層		3層	プロジェクト	目標値		実績値										
				町民ニーズ						民間での事例				民間活用		手法見直し	質の向上								
1861	防災対策費	25,292	24,172	①新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、指定緊急避難場所等で使用する空気清浄機の整備②飯島町総合ハザードマップを改定（令和3年8月）、全戸配布・事業所配布及びホームページ掲載③新型コロナウイルス感染症の影響で、令和3年9月5日の町地震総合防災訓練は各家庭での訓練に変更となったが、11月の防災全体説明会において防災資材の設置組み立て体験等の実施	3	①ほぼ目標どおり達成できました。②指定避難所等にTPAフィルター式の空気清浄機を66台配備し、平時にも活用することで感染症対策につながりました。また、既に空気清浄機が充足されている10の自主防災会については、代替事業として予算の範囲内で防災用品や衛生用品を自主防災会の希望に沿って配備し、有事に備えることができました。③総合ハザードマップを改定し、最新の土砂災害警戒区域・同特別警戒区域、浸水想定区域を町民の皆さんに周知し、有事に備えることができました。	a	a	b	b	a	a	II	1	1	1	—	CEK音声告知端末の加入件数（延数） <small>（防災無線と連動するCEK音声告知端末の加入件数）</small>	2,250 件	2,248 件	B	II			
																	—	いいちゃんメール登録者数（延数）	700 人	822 人					
																	1	1	2	—	【再掲】CEK音声告知端末の加入件数	2,250 件	2,248 件	B	II
																		—	【再掲】いいちゃんメール登録者数（延数）	700 人	822 人				
																	1	1	3	—	災害用飲料水の備蓄数（1箱12リットル） <small>（「飯島町地域防災計画」に基づき想定される災害用飲料水の備蓄数）</small>	250 箱	192 箱	A	I
																		—	災害用非常食の備蓄数 <small>（「飯島町地域防災計画」に基づき想定される災害用非常食の備蓄数）</small>	3,000 食	3,150 食				
																	1	1	4	—	①防災行政無線を安定的に使用できるよう、委託業者と連携を取り保守点検業務を行うとともに、バッテリー等の搭載部品についても導入年等を踏まえて、更新を行いました。これにより、大きな問題もなく安定的な防災行政無線の運用（使用）ができています。	—	—	A	II

基本情報				事務事業評価					実施計画（施策）評価									
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)		改善 (Action)	第6次総 計画体系上 の位置づけ			成果指標・ 定性的な成果		当該年度		施策の 進捗状況	今後の 方向性
事業 コード	事業 名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	達成度	主な取組 内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の 方向性						1 層	2 層		
										1	1	6	—	指定緊急避難場所・指定避難所への非常用電源設置率（屋内） <small>（指定緊急避難場所・指定避難所（63箇所）／非常用電源設置設置済（53箇所））</small>	84.1 %	84.1 %	B	II
										1	2	1	—	自主防災会での防災講座の開催回数（延数）	10 回	6 回	C	III
													—	自主防災組織施設整備事業補助金の申請件数	4 件	0 件		
										1	2	2	—	防災士資格取得支援補助金の申請及び資格取得者数	令和4年度 1人 人	— 人	B	I
													—	長野県自主防災リーダー研修会参加者数	5 人	36 人		
										1	2	3	—	住民支え合いマップ等を作成した自主防災会の数（延数）	20 件	14 件	B	II
													—	自主防災会独自計画策定等支援件数	令和4年度 5件 件	— 件		

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総 合計画政 策体系上 の位置づ け			成果指 標・定 性的な 成果	当該年度		今後の 方向性	今 後の 方向 性					
達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性			効率性	今後の方向性	1層		2層	3層	プロジェクト		目標値	実績値			C	II			
				町民ニーズ	民間での事例				民間活用				手法見直し			質の向上						
4921	非常備 消防費	28,663	27,537	①装備品の拡充・更新（新基準活動服、ヘルメット、背負い式消火水）②消防団事業の見直し③機能別消防団員について検討、関係要綱案の作成④消防団年報酬の改定等の処遇改善の検討	2	①目標を上回る達成でした。②消防団員の装備品拡充では、新基準活動服の一括更新（250着、一般団員の法被廃止）を図ることができました。そのほか、ヘルメットの一括更新（260個）と老朽化した背負い式消火水のう（13台）の一部更新を図ることができました。③今後の団員確保に向け、有事の際に自動する機能別消防団員制度について幹部会を中心に検討を重ね、関係要綱案を作成し継続検討中です。また、勧誘用チラシや広域でのポスター・新聞掲載を実施しました。④消防団の処遇改善を図るため、年報酬や出勤手当と訓練日当の見直しを図りました。（令和4年度から適用）⑤消防団事業の見直しは、結果的に新型コロナウイルスの影響でポンプ操法大会や各種訓練が中止となりました。	a	a	b	a	b	b	II	1	3	1	—	消防団と自主防災会との防災訓練等の回数（年）	1回	0回	C	II
														1	3	2	—	大規模林野火災防衛訓練または救急救助訓練の実施回数（年）	1回	1回	B	II
																		出水期に備えた水防訓練の実施回数（年）	令和4年度 1回	—回		
														1	3	3	—	①消防団幹部会において、各分団の実情等を踏まえ、対象となる分団の班や部の再編について検討し、消防委員会に諮ることで現状改善を進めました。具体的に、第1分団：班の再編、第4分団：部と班の統廃合を行いました。②令和5年度の消防団員募集に向けて消防団幹部会において、今後の団活動を維持するため、機能別消防団員の在り方について検討（要綱案の作成とその内容）を進めました。	—	—	B	II
														1	3	5	—	消防団員数（定数対実人数） （「飯島町消防団規則」に基づく団員数（基準日：令和4年4月1日現在））	250人	245人	B	II

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価										
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合計画 策体系上の位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		今後の進捗状況	今後の方向性			
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層		プロジェクト	目標値			実績値	既出	既出
														町民ニーズ			民間での事例	民間活用			
4931	消防施設費	6,132	5,807	①中町地籍において、民地の既設消火栓の移設②自治会からの申請に基づき、消火栓に設置されている消防ホース等の更新	3	①ほぼ目標通りで達成できました。②消防設備の老朽化が進む中で、自治会等からの申請により、補正予算を組んで11の自治会（区）でホース等を更新することができました。	a	a	b	a	a	a	I	1	3	1	—	既出	既出	既出	既出
4941	水防費	241	39	①出水期を前に、河川合同巡視の参加②消防団には幹部会を通じて危険個所の点検と対応の依頼③町広報やハザードマップ等を通じて、災害時に発令する新たな避難情報の発令や危険個所の周知（逃げ遅れの防止など）	3	①ほぼ目標通り達成できました。②水防訓練は中止となったものの、出水期を前に河川合同巡視に参加し、危険個所等を把握し消防団と共有することで有事に備えました。③総合ハザードマップの改定では、土砂災害警戒区域・特別警戒区域のほか天竜川における浸水想定区域の見直しやため池決壊の浸水想定の変更を反映したものを町のホームページに掲載し広く周知したほか、自治会未加入者や地元企業を含め全町的に配布し注意を促しました。	a	a	b	a	a	a	I	1	3	2	—	既出	既出	既出	既出

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価									
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総 合計画政 策体系上 の位置づ け			成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の方向性	
事業 コード	事業 名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組 内容	達成度	主な取組 内容の 実績	必要性		有効性	効率性		今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト	目標値	実績値	今後の方向性	
							町民 ニーズ	民間 での 事例		民間 活用	手法 見直し									質の 向上
4951	災害対策費	1	0	①有事に備えた警戒態勢等、関係部署との連携②先着職員初動マニュアルについて、宿直者と内容の共有	3	①ほぼ目標どおり達成できました。②警戒災害時における関係部署との情報共有にはLINEグループを活用し、災害箇所の状況写真や位置を共有するとともに、対策本部では電子黒板で表示し共有を図ることができました。 (令和3年5月20日～21日の大雨、令和3年8月12日～15日の大雨)	a	a	b	a	a	a	I	—	—	—	—	—	—	
1121	文書費	9,729	9,346	①例規の制定及び改正②電子文書の保管数増加を見据えた文書分類表の見直し。	3	①デジタル化の障害となる押印を廃止するため、例規の制定及び改正を24件行いました。	a	a	b	a	a	b	I	1	5	3	—	国又は県が使用・提供する情報システムの導入件数（延数） <small>令和5年度 1件</small>	— 件	B I

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総政 画策体系上 の位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		今後の進捗状況	今後の方向性				
主な取組内容	達成度	必要性	有効性				効率性	今後の方向性	1層		2層	3層	プロジェクト		目標値	実績値						
				町民ニーズ	民間での事例	民間活用				手法見直し				質の向上								
1122	広報広聴費	2,176	1,907	①町メール配信サービス「いいちゃんメール」の運用・検討②SNSや動画配信サイト等の活用方法に係る調査・研究行政番組運用についての検討③情報発信スキル向上のための研修会の開催④情報発信計画シートを活用した情報発信の実施	4	①防災無線の補完ツールとしての運用検討を他係と行い実施しました。②情報発信・魅力向上グループで研究・検討を行いました。③情報発信スキルアップ研修会は全体研修として実施できなかったため、広報編集会議内で見やすい資料作りについて研修を行いました。研修会へ正規職員が参加した割合は7.3%にとどまりました。④情報発信計画シートについて検討し、案を作成しました。	a	a	b	a	b	b	II	1	5	2	○	研修へ参加をした正規職員の割合	20 %	7.3 %	C	II

基本情報				事務事業評価						実施計画（施策）評価													
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)		改善 (Action)	第6次総合計画 策体系上の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性				
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	改善 後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト	目 標 値	実 績 値							
																	民間 での事例	民間 活用	質の 向上	民間 活用	民間 活用	民間 活用	民間 活用
1167	情報機器管理費	100,326	98,116	①庁内情報システム等活用の研究②ながの電子申請サービスの活用・研究③長野県先端技術活用推進協議会の行政手続のオンライン化、情報システムの標準化等検討会への参加④情報政策支援業務に取り組み⑤町情報化推進委員会の開催⑥町ホームページのアクセス解析⑦庁内情報システムの再構築	1	①行政文書のペーパーレス化の推進のため、庁内情報システム等活用により複合機の印刷枚数の削減目標値1,800千枚として取り組んだが、新型コロナ対策に係る啓発・経済対策の事業実施等により町民向け通知文書等の印刷が大量に必要となったため、実績値1,846千枚となりました。②電子申請により受付をした様式は、新型コロナ対策に係る申請手続き（アンケート、くらし復興券申込、抗原検査キット配布申込等）の必要性により合計18手続きとなりました。③長野県先端技術活用推進協議会主催各種WEB会議に出席し情報収集に努めました。④委託契約に基づき情報セキュリティ研修ほか支援業務を受けました。⑤情報推進委員会を2回開催しました。⑥町公式ホームページに新型コロナ対策のための注意喚起やワクチン接種のお知らせを掲載したため、アクセス件数が219,063件と増加しました。⑦業務委託により再構築を行いました（令和4年2月28日完了）。	a	a	b	a	a	b	III	1	4	1	—	複合機の印刷枚数	1,800 千面	1,846 千面	C	I	
															1	4	2	—	電子申請・届出システムに対応した様式数（延数）	5 件	18 件	A	III
															1	4	3	—	新規システム導入及び既存システム更新件数（延数）	1 件	1 件	A	I
															1	5	1	—	飯島町公式ホームページへのアクセス件数（年）	105,000 件	219,063 件	A	II

基本情報				事務事業評価						実施計画（施策）評価										
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総 合計画政 策体系上 の位置づ け			成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の方向性	今後の方向性	
達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性		効率性	今後の方向性	1層	2層	3層							プロジェクト	目標値			実績値
				町民ニーズ						民間での事例	民間活用	手法見直し	質の向上							
1161	企画費	9,625	9,549	①飯島町第6次総合計画の進行管理・評価方法について再構築②飯島町基本構想審議会（2回/年）及び飯島町基本構想審議会幹事会の開催③飯島町行政評価制度検討委員会の開催④実施計画説明会の開催⑤人口増プロジェクト会議の開催、戦略（施策）の立案（全職員説明会の開催）⑥押印・署名の見直しの実施⑦飯島町行政財改推進本部会及び飯島町行政財改推進本部幹事会の開催	3	①飯島町第6次総合計画の進行管理・評価方法について「実施計画（施策評価）シート」、「事務事業評価シート」を作成し、施策の進むべき方向や目標が共有できるように成果指標を設定しました。②「人口増プロジェクト」について、町における影響・課題を分析し、それに対処する戦略（施策）を立案し、令和4年度の事業として取り組みます。③押印・署名の見直しについて、令和4年4月1日以降、押印等の義務付けを廃止しました。（行政手続について約823種類の書類のうち、約746種類の書類の押印・署名について90.6%廃止することとします。）④令和4年4月より、総務課文書情報係を廃止し、新しい係「秘書広報係」を創設しました。	a	a	b	a	a	a	I	8	1	1	—	—	B	I



基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価									
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総 政 計 画 体 系 上 の 位 置 づ け			成果指 標・定 性的な 成果		当該年度		今後の 方向性 施 策 の 進 捗 状 況	
事業 コー ド	事業 名称	予算 額 (千 円)	決算 額 (千 円)	主 な 取 組 内 容	達 成 度	主 な 取 組 内 容 の 実 績	必 要 性	有 効 性	効 率 性	今 後 の 方 向 性	1 層									
												町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例	民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上				
1155	登記事務費	51	31	①国土調査及び道水路等に係る嘱託登記の処理②未登記解消事業として、未登記を解消に取り組む。	3	①国土調査及び道水路等に係る嘱託登記を42件（筆）処理しました。（前年度実績29件）②未登記解消を4件（筆）処理しました。（前年度実績1件）	a	a	b	a	b	b	II							
5981	開発公社費	23,000	23,000	①会社の経営状況により、一般会計からの補助金の補正対応の検討	3	①令和2年度は陣馬工場団地売却により、債務超過となった相当額について、土地開発公社と協議のうえ、一般会計から補助金交付（2,300万円）を実施しました。	b	a	b	a	a	a	I							
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	プロジェクトチームによる問題解決件数（延数） 施策の事業化（新規・拡充等）件数 補助金等の創設（1）飯島町に光をそそぐマイホーム取得補助金（2）飯島町に光をそそぐマイホーム取得奨励金（3）飯島町民間宅地開発補助金（4）保育園給食費（副食費）完全無償化（5）子育て世帯0-3歳上下水道関連応援事業補助金	1件	5件	B	II		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	政策アイデアコンテンツによる施策実現（延数）	令和5年度1件	1件	—件	B	II	

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価								
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総政上 合計画体系 の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の方向性 施策の進捗状況
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト	目標値	実績値	B	I	
											町民ニーズ	民間での事例	民間活用						手法見直し
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	2	1	—	①行財政改革プランに基づき、推進本部会議、推進本部幹事会を通じ、効率的な行政運営を実現するための組織機構改革を行いました。具体的には、令和4年4月より、総務課文書情報係を廃止し、新しい係「秘書広報係」を創設します。業務は秘書業務をはじめ、「情報発信の強化」「情報化・DXの推進」を図っていきます。	—	—		

基本情報				事務事業評価						実施計画（施策）評価									
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総政上 計画体系 の位置 づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の方向性 施策の進捗状況	
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト	目標値	実績値	B		II
																		町民ニーズ	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	2	2	—	①職員が事務事業に関する提案を行う制度「職員提案」と「政策アイデア」を一本化し、事務事業改善に取り組みました。提案の着想・着眼点をひとつの切り口として、提出された提案の全てを便宜的に類型化するとともに、提案の概要を整理することができました。②立ち作業用デスクを導入し、作業の効率性を図ります。③行政手続きの簡素化を図るため押印・署名等の見直し（令和4年4月1日以降、押印等の義務付けを廃止します。（行政手続について約823種類の書類のうち、約746種類の書類の押印・署名について90.6%廃止））	—	—	—	—

基本情報				事務事業評価								実施計画（施策）評価															
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総 合計画政 策体系上 げの位置 づけ			成果指 標・定 性的な 成果		当該年度		施 策 の 進 捗 状 況	今 後 の 方 向 性							
事業 コー ド	事業 名称	予算 額（千 円）	決算 額（千 円）	主 な 取 組 内 容	達 成 度	主 な 取 組 内 容 の 実 績	必 要 性	有 効 性	効 率 性	今 後 の 方 向 性	民 間 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例	民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	1 層	2 層	3 層	プ ロ ジ エ ク ト	目 標 値	実 績 値	B	II				
																8	2	3						8	2	3	8
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	2	3	—	事務事業等の統廃合（延数） ①職員提案実施要等に基づく「職員提案」と、企画政策課所管の「政策アイデア」を1本化、事務事業を統合しました。	1 件	1 件	B	II		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	3	2	—	①例月出納検査や9月、12月補正の時点で、事業の執行状況を各課等へ確認依頼を行い、不用額の減額や補助金等の活用による財源組替えを行ったことにより財源の確保を図ることができました。	—	—	B	II		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	3	3	—	実質公債費比率の抑制 （一般会計が負担する、元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率）	10.0 以下	%	9.8	%	B	I
1901	財政調整基金費	84,297	151,297	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	3	4	—	標準財政規模に対する財政調整基金積立額の割合 （令和3年度末残高見込1,186,152千円÷令和3年度標準財政規模3,645,881千円＝32.5%）	31	%	33	%	A	I

基本情報				事務事業評価								実施計画（施策）評価									
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総 画政上 の位置 づけ			成果指 標・定 性的な 成果		当該年度		施 策の 進捗 状況	今 後の 方向 性	
事業 コード	事業 名称	予算 額（千 円）	決算 額（千 円）	主 な取 組内 容	達 成度	主 な取 組内 容の 実績	必 要性	有 効性	効 率性	改 善 の 方 向 性	プロジェクト			目 標 値	実 績 値	B	I				
											1 層	2 層	3 層					町 民ニ ー ズ	民 間 で の 事 例	民 間 活 用	手 法 見 直 し
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	3	5	—	—	—	B	I		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	3	6	—	31 %	33 %	A	I		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	4	1	—	令和4年度 706㎡	—	㎡	B	I	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	4	2	—	76,064	㎡	76,064	㎡	B	I

①令和3年度事業分から実施する第6次総合計画の施策評価を活用し、予算編成時において既存の事務事業やサービスの見直しを行ったことにより令和4年度予算編成に反映することができました。

【再掲】標準財政規模に対する財政調整基金積立額の割合  
(令和3年度末残高見込1,186,152千円÷令和3年度標準財政規模3,645,881千円=32.5%)

公共建築物の削減延床面積（延数）  
（「飯島町公共施設等個別施設計画」に基づく削減延床面積）

公共建築物延床面積の抑制（延数）  
（公共建築物延床面積を削減した後の面積）



基本情報				事務事業評価						実施計画（施策）評価													
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)		改善 (Action)		第6次総政上 策体系上の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性			
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト	目標値	実績値							
																			町民ニーズ	民間での事例	民間活用	手法見直し	質の向上
2871	環境衛生費	11,560	10,816	①環境衛生自治会の役員を中心に、ごみ処理施設見学会の設定②環境衛生自治会の負担金の廃止③自治会役員の負担軽減を図るため、町からの交付金の整理④転入者へごみの出し方ガイドブック及び収集計画表の配付・説明⑤ごみ減量化の推進⑥自治会未加入者や高齢者の1人世帯のごみ出し課題に対する、関係各課との連携・協議の機会創出	3	①ごみ処理施設の見学会は新型コロナの影響により実施できなかった。②環境衛生自治会の負担金について、アンケートにより各自治会の意向を確認し、年度末役員会にて廃止を決定しました。③ごみ集積所管理に係る自治会への交付金について、令和4年度より地域づくり推進費に整理統合しました。④転入者へのごみ出しに係る説明については、随時実施しました。⑤ごみ減量化のため、生ごみ処理機購入補助（26件）、コンポスト購入補助（20件）を行いました。⑥町不法投棄監視員による不法投棄パトロールを週1回行いました。	a	a	a	c	b	c	II	2	2	2	—	ごみ処理施設の見学会（年）	1回	0回	B	II	
															2	2	3	—	町民1人1日あたりの家庭ごみ排出量（日） <small>（上伊那広域連合ごみ処理基本計画に基づく目標）</small>	392g	395g	B	II

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価															
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総 合計画政 策体系上 の位置づ け			成果指 標・定 性的な 成果	当該年度		施 策 の 進 捗 状 況	今 後 の 方 向 性								
主 な 取 組 内 容	達 成 度	主 な 取 組 内 容 の 実 績	必 要 性		有 効 性	効 率 性	今 後 の 方 向 性	1 層	2 層		3 層	プ ロ ジ エ ク ト	目 標 値		実 績 値											
				民 間 ニ ー ズ						民 間 で の 事 例				民 間 活 用		手 法 見 直 し	質 の 向 上									
2872	新エネルギー普及対策事業	5,466	5,083	①地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定に向けた検討②新エネルギーの導入	3	①地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定に向けて、策定委員会を設置しました。②地球温暖化対策実行計画策定委員会と一般参加者による地球温暖化対策の勉強会を開催しました。（令和3年11月30開催）③地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定に向け、町内の温室効果ガス排出状況や将来推移などを把握するため、基礎調査を実施しました。④新築住宅における太陽光発電設備導入に補助しました。（5件）	a	a	b	b	b	b	Ⅲ	2	1	1	太陽光発電システム設置補助事業件数（延数） <small>（家庭用発電量10kw以下の設置延数）</small>	332 件	327 件	B	Ⅱ					
														2	1	2						温室効果ガス排出量の削減（年） <small>（地球温暖化対策設備設置補助金の活用による温室効果ガス排出量の削減貢献量）</small>	22 t	9.5 t	B	Ⅱ
														2	1	3						地球温暖化対策に関する環境教育の実施回数（年） <small>（勉強会、研修会、講演会等の開催）</small>	1 回	1 回	A	Ⅰ
2921	塵芥処理費	46,719	46,176	①一般廃棄物収集計画に基づく一般廃棄物の収集・運搬②適切な分別と資源化の啓発	3	①一般廃棄物処理実施計画に基づく塵芥収集運搬業務を行いました。②ごみ資源化への意識の向上に向けた地域や学校等への説明会が新型コロナウイルスの影響により開催できませんでした。	a	a	b	c	b	b	Ⅱ	2	2	1	ごみの分別に係る問合せ件数（年）	200 件	240 件	B	Ⅱ					

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価										
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総政上 総合策体系上 の位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		今後の方向性				
達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性				効率性	今後の方向性	1層		2層	3層	プロジェクト		目標値	実績値					
				民間 ニーズ	民間 での事例	民間 活用				手法 見直し				質の 向上							
2931	し尿処理費	16,340	16,340	①伊南衛生センターにてし尿処理の実施	3	①令和3年度し尿・浄化槽汚泥・家庭雑排水処理量(2,746kℓ)	a	a	a	c	a	c	I	—	—	—	—				
4132	消費者行政活性化事業	10	10	①消費生活啓発広報の実施②消費生活センター広域化の検討	3	①高齢者世帯に対して、特殊詐欺被害防止の啓発文を年賀はがきとして送付しました。(158件)②消費生活相談の広域的対応への移行を検討し、令和4年より広域的対応として専門相談員による対応が可能となりました。	a	a	b	c	b	c	II	2	3	1	消費生活相談件数(年) <small>(南信消費生活センターへの相談件数)</small>	30件	23件	A	II
1211	税務総務費	682	615	①小学生への租税教室の開催②税に関する作品の募集	3	①租税教室については、計画通り、飯島・七久保小学校の2校に実施できました。②税に関する書道の応募については、61件と多数の応募をいただくことができました。③上記の事業により、児童生徒の税への知識を深めていただけたと推測します。	a	b	b	a	a	a	II	2	4	1	飯島・七久保小学校での租税教室の開催(年)	2校	2校	B	I
																	小中学生の税に関する作品応募点数(年)	60点	61点		

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価										
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合計画策体系上の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の進捗状況	今後の方向性		
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト		目標値	実績値				
											町民ニーズ	民間での事例	民間活用							手法見直し	質の向上
1212	税務基礎資料整備事業	15,632	15,576	①定期的に現地調査を行い、その成果を適切に委託業者へ指示・反映②地籍調査成果を反映させる、【現況図接合業務】を発注し、接合調整・指示を委託業者へ行い、成果の作成	3	①定期的に30日間2名体制にて、現地調査を実施、その成果を適切に委託業者へ指示・反映させました。②昨年は地籍調査1区（田切）との接合であり、圃場整備成果地区との接合に難儀したが、再三調査計画係・法務支局と調整を実施し、適切な図面への編集が行えました。	a	a	b	a	b	b	II	2	4	1	—	既出	既出	既出	既出
											2	4	2	—	①定期的に現地調査を行ったことにより、確実な賦課へ繋げることができました。②課税台帳の整備により、課税内容の正しい判断や、課税対象者の問い合わせに対し、適切な説明を実施することができました。	—	—	B	I		

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総 合計画政 策体系上 の位置づ け			成果指標・定性的な成果	当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性				
主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性		有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層		3層	プロジェクト	目標値		実績値							
				町民ニーズ						民間での事例				民間活用		手法見直し	質の向上					
1221	賦課徴収費	14,369	14,293	①最新の土地状況とマッチングさせるため、地籍調査成果を反映させる、【現況図接合業務】を発注し、接合成果の作成 ②家屋課税のため、例年継続して家屋現地確認を直営で行い、更新③新規の滞納者に対し督促状発送後1～2週間納付の無い者へ電話催告または訪問④予告通知の早めの発送⑤他の料金担当者との連携を図り徴収事務の実施⑥収納対策会議を（夏・年末）に開催し、強化期間の設定や未納者への対策の検討⑦コロナ禍での状況ではあるが支援制度も確認し、収納率の低下とならな事務の実施	3	①現地確認による、直近状況での賦課を令和4年度より実施することが可能となりました。②他の料金担当と連携を図ることで各部署で収納率を維持・向上することができました。③早めの連絡・対応をしたことにより、軽自動車税（種別割）においては収納率99.99%（滞納者1名）（3月末時点）とすることができました。④コロナ禍でしたが、支援制度等の案内もおこないつつ収納率の低下をすることなく事務を行うことができました。	a	b	a	c	b	b	II	2	4	1	—	既出	既出	既出	既出	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	4	3	—	e-tax（電子申告）確定申告者数（年）	540人	595人	B	I
																	未申告者の解消者数（年）	10人	8人			

＜健康福祉課＞

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価										
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総 合計画政 策体系上 の位置づ け			成果指 標・定 性的な成 果	当該年度		施 策の 進捗 状況	今 後の 方向 性		
事業 コード	事業 名称	予算 額（千 円）	決算 額（千 円）	主 な取 組内 容	達 成度	主 な取 組内 容の 実績	必 要性	有 効性	効 率性	今 後 の 方 向 性	1 層					2 層	3 層			プ ロ ジ エ ク ト	目 標 値
											2101	社会福 祉総務 費	13,275	12,633	①助け合いという福祉の考えを広く啓発すべく、福祉活動の重要な役割を果たす民生委員・児童委員の活動のサポート②委員自身がそれぞれの担当地区内で積極的な活動を可能とするための支援を個々の委員に合わせて実施③飯島町健康長寿のまちづくり推進会議（書面会議）の実施	2	①民生委員・児童委員の事務局として、委員活動が円滑に進むよう、支援に努めました。②飯島町健康長寿のまちづくり推進会議を実施し、健康福祉関係の各種計画の進捗状況の把握と点検・評価を実施しました。③新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなかで、生活弱者である低所得者への生活・暮らしの支援のため、住民税非課税世帯の世帯員に1人10,000円の飯島町くらし復興券無料交付事業を実施しました。④原油価格高騰に対する生活支援のため、住民税非課税世帯に対し1世帯10,000円の給付事業を実施しました。	a	a		

基本情報				事務事業評価						実施計画（施策）評価												
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)		改善 (Action)		第6次総政上 計画体系の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の進捗状況	今後の方向性		
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト			目標値	実績値			B	II
																			町民ニーズ	民間での事例		
2103	地域福祉総合事業	14,628	14,335	①飯島町社会福祉協議会と町福祉部署との合同会議の開催②飯島町社会福祉協議会事業である戦傷病没者追悼式・心配ごと相談事業・福祉バス運行業務・地域支え合いマップ整備事業への補助③救急医療情報キットの普及と、町社会福祉協議会への委託による配布および記載支援	3	①救急医療情報キットの設置促進のため、85歳以上の未設置者へ個別案内を実施しました。また、新たに75歳になった方へは、後期高齢者受給者証交付説明会において制度説明と申請促進を実施しました。②救急医療情報キットの記載支援業務を町社会福祉協議会へ委託し、実施したことで、地域福祉の状況が把握され地域福祉活動に生かすことができました。③町社会福祉協議会との合同会議を8回実施し、実施事業の確認と強化課題の共有を図りました。	a	b	b	c	b	b	II	3	4	5	—	支え合いマップの定期更新率 (自治会ごとに作成している支え合いマップの定期(3年に1回以上)更新)	85 %	74 %	B	II

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総政 策体系上 の位置づ け			成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の進捗状況	今後の方向性		
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト	目標値	実績値						
																			民間での事例	民間活用	手法見直し	質の向上
2104	生活困窮者自立相談支援事業	2,589	2,464	①本事業の周知、相談に結びつく活動、支援人材の育成を目的とした事業の実施②飯島町社会福祉協議会(地域福祉係)に事業の一部委託を行い、ひきこもり支援員を置き、相談日・居場所の設定、個別相談、支援のコーディネート(特に子ども・つなぐ会)の事業の実施③長野県精神保健福祉センターの技術支援を受け、町・社協で協議しながらの事業の実施④長野県ひきこもり支援に関する検討会に取組市町村として委員として出席	3	①本事業の周知、相談に結びつく活動、支援人材の育成(1)ひきこもりサポーター養成(2)相談窓口の周知(3)関係機関とのネットワークづくり(庁内・町内・専門機関等)(4)安心して参加できる居場所づくり(5)家族が参加する講習会(家族会開催)(6)サポーター派遣事業の推進(7)飯島町社会福祉協議会に事業の一部委託を行い、飯島町社会福祉協議会主体の定例相談、居場所づくりを実施しました。(8)長野県ひきこもり支援に関する検討会等②未達成部分(1)ネットワーク会議の設置(プラットフォーム設置)③より達成できた部分(1)つなぐ会活動(2)地域の横連携づくり	a	b	b	b	b	b	II	3	4	3	各種サポーター養成(講座受講者)数(ひきこもりサポーター)(延数)	17人	25人			
															3	4	3	各種サポーター養成(講座受講者)数(ゲートキーパー)(延数)	1,019人	939人	B	II
																		各種サポーター養成(講座受講者)数(認知症サポーター)(延数)	1,503人	1,513人		
																		自主的な居場所づくりへの人的支援(延数) <small>(自主的に居場所をつくりたい団体等への人的支援の箇所数)</small>	1箇所	2箇所	B	II

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)		第6次総 計画政 策体系 の位置 づけ			成果指 標・定 性的な 成果		当該年度		今後の 方向性 施策の 進捗状 況		
事業 コー ド	事業 名称	予算 額 (千 円)	決算 額 (千 円)	主 な 取 組 内 容	達 成 度	主 な 取 組 内 容 の 実 績	必 要 性		有 効 性	効 率 性		今 後 の 方 向 性										1 層
							町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例		民 間 活 用	手 法 見 直 し		質 の 向 上									
2201	地域福祉センター管理費	2,233	2,189	①飯島町社会福祉協議会へ地域福祉センター石楠花苑の行政財産使用許可②地域福祉センター石楠花苑の定期的な点検等の実施と小規模修繕の委託	3	①大規模な修繕箇所はなく、定期点検と小規模な修繕を実施し適正管理を行いました。	a	a	c	b	b	b	I	3	4	5	—	既出	既出	既出	既出	
2251	障がい者福祉総務費	470	358	①障がいのある方の成年後見の町長申し立ての実施②成年後見制度の利用希望家族との個別相談の実施	3	①町長申し立てを1件行い、後見人が選定されました。②制度利用について検討している家族に対し、相談に応じ、制度説明と上伊那成年後見センターの法人後見受任審査会への適切な審査依頼を実施しました。	a	a	b	a	a	b	I	3	5	1	—	障害福祉施設から一般就労に移行した人数 (就労移行支援事業、就労継続支援A型・B型等から一般就労への移行者数)	1人	1人	B	II

基本情報				事務事業評価						実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)		改善 (Action)		第6次総 合計画 体系上 の位置 づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の 方向性		
事業 コード	事業 名称	予算 額（千 円）	決算 額（千 円）	主な 取組 内容	達成 度	主な 取組 内容 の実 績	必 要 性	有 効 性	効 率 性	今 後 の 方 向 性	1 層	2 層	3 層	プ ロ ジ ェ ク ト	目 標 値	実 績 値	施 策 の 進 捗 状 況				
																		町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例	民 間 活 用	手 法 見 直 し
2252	在宅障がい者福祉事業	14,442	14,084	①在宅で生活する障がい者に対する支援制度や補助制度の検討、実施②地域活動支援センターの利用者の声を聴いたなかでの創造的活動や生産活動の場の提供③次年度以降の地域活動支援センターの指定管理協定に向けての取組	2	①地域活動支援センター利用者アンケートを実施しました。②障がい者相談を、地域活動支援センターにおいて定期的に実施することで、利用者やその家族、また利用者以外と幅広く相談できる体制を図ることができました。③次年度からの指定管理者選定業務について、利用者からの声を反映させた運営が行われるよう仕様書を整備し、選定を適切に行うことができたことで、指定管理協定期間を5年間で結ぶことができ安定したサービス提供体制が実現できました。④在宅で生活する障がい者に対して支援制度や補助制度を適切に実施しました。	a	b	b	c	b	b	I	3	5	2	—	—	—	B	II
											3	5	3	—	193 人	199 人		B	II		

地域活動支援センター  
一月間利用者数  
(在宅で生活する障がい者の社会参加・就労支援・居場所であるセンターの利用者数)

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価														
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合計画 策体系上 の位置づけ				成果指標・定性的な成果	当該年度		今後の方向性 施策の進捗状況							
主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性		有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層		3層	プロジェクト	目標値	実績値											
				町民ニーズ						民間での事例					民間活用	手法見直し	質の向上								
2255	障がい者自立支援事業	256,078	255,949	①障害者自立支援法に基づく各種自立支援給付、地域生活支援事業の提供。提供に関する相談受付、支援会議への参加②上伊那圏域障がい者総合支援センターきりあへの障害者相談支援業務の委託③上伊那圏域自立支援協議会への出席、協議会を中心とした地域の体制整備	3	①本人や家族を含めた支援会議を実施することにより、本人の意向に沿ったサービスの実施や社会参加を促しました。②相談支援事業所や上伊那圏域障がい者総合支援センターと連携しケースごとの支援を行い、地域で安心して暮らせる支援体制が図られました。③上伊那圏域自立支援協議会などさまざまな研修会を受講し、質の向上に努めました。④上伊那圏域緊急ショートステイの促進を図るため、上伊那圏域自立支援協議会において実施要領を整備しました。	a	a	a	a	a	b	I	3	5	1	—	既出	既出	既出	既出				
														3	5	2	—					既出	既出	既出	既出
														3	5	3	—								
2308	介護予防拠点施設管理費	505	503	①飯島町障がい者地域活動支援センターと一体とした、指定管理委託による管理	3	①新型コロナウイルス感染症の拡大防止により貸館を停止する期間があったため利用回数が減少したが、そのなかでも感染対策の徹底等が適切に図られました。②ボランティア事業を行う団体の施設利用が再開されたことで利用団体が増えました。	b	b	b	c	a	c	II	3	4	4	—	既出	既出	既出	既出				
														3	4	4	—					既出	既出	既出	既出
														3	4	4	—								



基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価												
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合計画 体系上の位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性				
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト		目標値	実績値						
															民間 ニーズ			民間 での事例	民間 活用	手法 見直し	質の 向上		
2701	災害救助費	8	2	①令和元年台風19号の災害義援金の事務 ②避難行動要支援者名簿の作成・更新・平常時同意者名簿の支援団体への配布	3	①令和元年台風19号の災害義援金を1件の該当者に対し適切で迅速な義援金給付ができませんでした。②避難行動要支援者名簿の平常時同意者を増やすよう、個別に通知発送や民生児童委員定例会での周知を行いました。	a	a	b	a	a	a		I	—	—	—	—	—	—			
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	4	1	—	①介護、障がい、子ども・子育て、生活困窮分野の担当による会議を実施し、複合・複雑化した支援が多く、連携体制の必要性を確認しました。	—	—	B	I
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	4	2	—	①介護、障がい、子ども・子育て、生活困窮分野の担当による会議を実施し、複合・複雑化した支援が多く、連携体制の必要性を確認しました。	—	—	B	I

基本情報				事務事業評価						実施計画（施策）評価										
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)		改善 (Action)		第6次総政上 計画体系の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の方向性 施策の進捗状況	
事業コード	事業名称	予算額（千円）	決算額（千円）	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト	目標値	実績値				
																		町民ニーズ	民間での事例	民間活用
2303	在宅老人福祉事業	16,685	16,108	①各種事業の周知方法や、特殊車両による外出支援事業の券の記載金額変更等の見直しの実施②福祉タクシー券交付事業は、公共交通施策等と合わせて、生活の交通確保についての検討③地域おこし協力隊による「高齢者等買物支援対策事業」、宅配利用者拡大の推進	3	①特殊車両による外出支援事業は、券の記載金額変更により利用しやすくなりました。②各種事業の周知方法の見直しにより、より多くの高齢者に事業周知ができ必要な方の支援に繋がりました。③生活交通確保については、課題等が共有され、福祉施策のみでない検討が進みました。④買物支援対策は、地域おこし協力隊の活動により、1か月あたり約31人、111件の利用がありました。今後、ニーズの把握と支援の形の研究が必要です。	a	a	b	b	b	b	II	3	6	1	健康寿命（平均自立期間）男性 <small>（日常生活動作が自立している期間の平均）</small>	80.7 歳	80.1 歳	B II
																	健康寿命（平均自立期間）女性 <small>（日常生活動作が自立している期間の平均）</small>	85.2 歳	85.4 歳	
																	要介護認定率 <small>（第1号被保険者に占める要支援・要介護者の割合）※令和4年2月末時点暫定値</small>	15.5 % 以下	14.9 %	
																	介護予防に資する通いの場への参加率 <small>（月1回以上開催している通いの場へ参加している人数/65歳以上人口）</small>	4.0 %	5.6 %	
7701	（介護保険特別会計）一般管理費	4,023	3,850	①介護事業所台帳管理システムを導入し、システム使用により町指定事業所管理の実行	3	①介護事業所台帳管理システムの導入により、事業所情報が見える化しました。また、事務作業の効率化が図られました。②事業変更による新規事業所の指定には、事業所と複数回の懇談を重ね、令和4年4月の開所に繋がりました。③運営指導について、オンラインによる研修会や県の同行研修に参加し準備を進めたましたが、実際の指導は実施できませんでした。	a	b	b	b	b	b	II	—	—	—	—	—	—	—

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価							
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総政上 次画体系づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性
達成度	必要性	有効性	効率性				今後の方向性	1層	2層						3層	プロジェクト		
				町民ニーズ	民間での事例	民間活用				手法見直し	質の向上							
7711	(介護保険特別会計) 賦課徴収費	311	297	①収納対策室と連携し、賦課徴収・滞納対策業務の実施②不納欠損処理の実施	3	①収納率は、99.28%（前年比 0.09%増）と微増となったが、滞納者の人数も増加しました。（11名⇒13名） ②死亡者や生活保護者に対する不納欠損処理を実施しました。（3名、527,830円）	a	a	b	b	b	b	II	—	—	—	—	—
7716	(介護保険特別会計) 認定調査費	4,335	3,971	①調査基準の平準化を図るため、各種研修の受講	3	①各種研修を受講しました。（令和3年12月2日認定調査員現任研修、令和3年12月13日認定調査員研修会）研修会には、他市町村認定調査員や上伊那広域連合の審査会事務局との情報交換会もあり、認定調査の平準化に繋がりました。	a	a	b	b	b	b	I	—	—	—	—	—
7763	(介護保険特別会計) 地域包括支援センター運営事業	20,695	19,504	①介護認定者については、日頃から居宅介護支援事業所の介護支援専門員と連携を図り、問題が複雑化・深刻化する前に対策を講じるよう働きかけをし、支援内容・方法について助言②委託先の介護支援専門員と連携し、効果的な介護予防ケアマネジメントが行えているかの確認の実施	3	①居宅介護支援事業所の介護支援専門員と日頃から情報共有、課題解決に心がけ、高齢者の自立支援、重度化予防の意識付けができました。	a	a	b	b	b	c	II	—	—	—	—	—

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価										
				計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総政上 計画体系上 の位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		今後の進捗状況	今後の方向性				
達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性			効率性	今後の方向性	1層		2層	3層	プロジェクト		目標値	実績値						
				町民ニーズ	民間での事例				民間活用				手法見直し			質の向上					
7764	(介護保険特別会計) 社会保障充実事業	6,770	6,570	①在宅医療・介護連携推進事業（在宅医療・介護関係者の研修等）②生活支援体制整備事業（飯島町社会福祉協議会に事業委託し、生活支援コーディネーターを配置、協働による事業実施等）③認知症総合支援事業（認知症サポーター養成講座の開催等）	3	①在宅医療・介護連携推進事業では、コロナ禍で集合研修の実施が難しい状況ではあったが、オンラインも組み合わせながら実施しました。②生活支援体制整備事業では、飯島町社会福祉協議会と町の連携会議を定期的に行い、協議しながら事業を実施しました。③認知症総合支援事業では、認知症サポーターが認知症カフェに参加する取組みを行い、認知症カフェの活性化に繋がりました。	a	b	b	c	b	b	II	3	6	2	医療・介護連携の評価 <small>（連携ができていると思う医療・介護職者）（医療・介護連携に関するアンケート調査にて「他の事業所との連携ができている」と回答する割合）</small>	令和6年度 70%予定 %	— %	B	II
																	認知症カフェ利用者数（延数） <small>（町内にある認知症カフェを利用した延べ人数）</small>	130 人	125 人		
																	生活支援サポーター養成研修会新規参加者数（年） <small>（生活支援体制整備事業で行う生活支援サポーター養成研修会の新規参加人数）</small>	5 人	5 人		
																	①事例検討会や研修会により、在宅医療・介護関係者の「顔の見える関係」ができました。	—	—		

基本情報				事務事業評価						実施計画（施策）評価												
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総 合計画政 策体系上 げ			成果指 標・定 性的な 成果		当該年度		施 策の 進 捗 状 況	今 後 の 方 向 性			
事業 コー ド	事業 名称	予算 額（千 円）	決算 額（千 円）	主な 取組 内容	達 成 度	主 な 取 組 内 容 の 実 績	必 要 性		有 効 性	効 率 性	改 善 の 方 向 性	1 層	2 層	3 層	プ ロ ジ エ ク ト	目 標 値	実 績 値	B	I			
							町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例												民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上
7765	（介護 保険特 別会 計）任 意事業 費	2,887	2,482	①家族介護支援事業（家族介護教室を飯島町社会福祉協議会に事業委託し年4回計画）②介護給付等費用適正化事業（調査基準の平準化を図るため、各種研修の受講等）	3	①家族介護支援事業では、家族介護教室を、飯島町社会福祉協議会に事業委託し年4回計画していましたが、感染症の影響により2回の開催となりました。②介護給付等費用適正化事業では、受講した研修会には、他市町村認定調査員や上伊那広域連合の審査会事務局との情報交換会もあり、認定調査の平準化に繋がりました。	a	a	b	c	b	c	II	3	6	3	—	①介護給付費適正化システムによる給付の現状分析、適正チェックを行うことにより、介護給付の適正を図ることができました。（分析、チェック：毎月、全件（100%）実施）②令和4年度からの小規模多機能型居宅介護から看護小規模多機能型居宅介護への事業変更に伴い、小規模多機能型居宅介護2事業所のケアプラン点検を実施し、適正利用に繋がりました。	—	—	B	I
7767	（介護 保険特 別会 計）一 般介護 予防事 業費	9,705	9,668	①一般介護予防事業として「生きがい活動教室」「フレイル予防教室」「健幸教室」の実施②感染症の流行状況に合わせた事業形態での実施（分散開催、時間短縮、個別対応など）③「生きがい活動教室」「フレイル予防教室」「フレイル予防教室」では、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取り組みとして、専門職による講座の実施	3	①感染症流行により影響を受けた部分もあったが、概ね計画通りに実施できました。②「フレイル予防教室」は当初の定員（各会場20名）を上回る参加申し込みとなりました。③介護予防の場で保健事業を実施することで効率的な関わりに繋がりました。	a	b	b	c	b	c	II	3	6	1	—	既出	既出	既出	既出	既出

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価										
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総政上 計画体系上の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の進捗状況	今後の方向性	
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層										2層
												町民ニーズ	民間での事例	民間活用	手法見直し	質の向上					
2401	福祉医療費給付事業	57,008	56,509	①給付費支給業務②資格申請受付、資格更新業務③制度周知④事業区分変更	3	①県の事業見直しに伴う令和3年8月から精神障害健康手帳2級受給者の通院補助を全診療科に拡大及び乳幼児医療区分の柔道整復施術療養費について現物給付方式の導入に関する事務を実施しました。②受給者の資格確認、資格申請や資格証の更新について関係者と連携した確かな事務を実施しました。③毎月の給付に関するデータ処理、保険制度との調整を的確に実施しました。	a	a	b	a	a	c	I	3	3	6	福祉医療費給付費の維持（年） <small>（適正受診の周知徹底による給付費の維持）</small>	54,000 千円	52,788 千円	B	I
2811	保健衛生総務費	90,716	90,183	①開業医支援事業サポート業務②上伊那広域連合負担金③伊南行政組合負担金④骨髄バンクドナー助成事業	2	①新規開業医の開拓に向けた、近隣市町村範囲の医療充足状況などの分析を開業医支援事業サポート業務委託者と協議し実施、分析結果を、開業相談相談者へ情報提供することができました。②骨髄移植やドナー登録に関する町独自の情報発信ができませんでした。	a	a	b	a	a	a	I	3	3	1	町内医療機関数（歯科含む） <small>（現在の医院数を減らさないため、開業医支援の取り組み）</small>	8 施設	8 施設	B	II
														3	3	3	①上伊那地域包括医療協議会、大規模災害対策委員会等において検討した結果、連携の強化が図れました。	—	—	B	I

基本情報				事務事業評価						実施計画（施策）評価												
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)		改善 (Action)		第6次総政 画体系上 げの位置 づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の方向性 施策の進捗状況			
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト		目標値	実績値					
																				民間 での事例	民間 活用	質の 向上
2821	感染症 予防事 業	26,017	24,857	①結核レントゲン検査②定期・任意予防接種業務③風しんに関する追加的対策事業④感染症対策事業	3	①乳幼児の予防接種は接種控えもなく適時接種を受けている。未接種者への接種干渉も適時に実施しました。②風しんの追加的対策は、3年目であり意識が薄れているためと感染症の影響が病院での抗体検査に抵抗があるため受診者は増えませんでした。なお、受診率は全対象者の約40%、そのうち抗体がなく接種必要者は20%程度（接種率約90%）でした。③感染症対策について、新型コロナウイルス感染症に関する対策のみ実施しました。	a	a	a	c	a	a	I	3	2	6	—	感染症予防に関する健康教育の実施（年） <small>（感染症予防に関する健康教育の実施年2回以上（CEK、広報告））</small>	2回	4回	B	I
2823	新型コ ロナウ イルス ワクチ ン接種 事業	55,852	53,524	①新型コロナウイルスワクチン接種業務の実施	1	①町内医療機関、近隣市町村と連携し、集団接種・個別接種を計画的に行うことができました。②1回目、2回目接種率（2回目接種済み12歳以上93.3%（年度途中で対象年齢引き下げあり））③5歳以上（88.1%）④3回目接種率（12歳以上67.8%）	a	b	a	c	b	c	II	—	—	—	—	—	—	—	—	—

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)	達成度	実施 (Do)	評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総画策体系上の位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		今後の進捗状況	今後の方向性				
必要性	有効性	効率性	1層				2層	3層	プロジェクト		目標値	実績値										
事業コード	事業名称	予算額（千円）	決算額（千円）	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性 町民ニーズ	有効性 民間での事例	効率性 手法見直し	改善 質の向上	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト	成果指標・定性的な成果	目標値	実績値	今後の進捗状況	今後の方向性		
2841	母子保健事業	13,382	12,396	①妊娠期から子育て期の相談体制を充実させ、母子の心と体の健康を守り、保護者が安心して育児ができる様、切れ目のない支援の実施②飯島町母子保健計画（第4次）に基づく事業の実施（1）母子保健事業（妊娠届受理、妊産婦支援（各種補助金含む）、不妊治療費助成、新生児訪問、乳幼児健診・育児相談等（2）子育て支援事業（子育て支援アプリ運用、ハッピーパスフラワー事業、離乳食教室等）（3）発達支援事業（専門職相談、かるがもひろば、あそびのひろば等）	2	①子育て支援アプリダウンロード数159人（3歳児までの導入率76.8%）②妊娠期からの支援が充実しました。（プレママの会参加率向上の取組、令和2年度（13.7%）令和3年度（32%））③子育て支援センターとの連携強化しました。④新規事業として多胎世帯へファミリーサポートセンター利用料補助を実施しました。	a	a	a	c	a	c	I	3	1	1	○	新生児訪問の実施率 <small>（出生数に対し、新生児訪問を実施した割合）</small>	100 %	100 %	A	I
																むし歯のない3歳児の割合 <small>（3歳児健診受診児でむし歯のない割合）</small>	91 %	87.3 %				
																3歳児健診受診率 <small>（3歳児健診を受診した対象児の割合）</small>	100 %	100 %				
																①共通事業の実施を通して（教育委員会こども室との連携会議の実施）連携強化が図れました。②乳幼児健診から保育園、小中学校へと健康に関する情報の共有が図れ、効果的に支援できました。	—	—	A	I		
																①教育委員会こども室との連携会議を実施したこにより、療育が必要な児に対しては、専門職相談、受診勧奨、療育施設へのつなぎ等丁寧な対応をすることができました。また、発達支援教室参加者や入園後サポートが必要な児に対して保育園と情報共有ができ、児への効果的な支援に繋がっています。	—	—	B	I		

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価																		
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総 合計画 策体系 の位置 づけ			成果指 標・定 性的な 成果	当該年度		施 策の 進捗 状況	今 後の 方向 性											
事業 コー ド	事業 名称	予算 額（千 円）	決算 額（千 円）	主な取 組内 容	達成 度	主 な取 組内 容の 実績	必 要性	有 効性	効 率性	改 善 の 方 向 性	今 後 の 方 向 性	1 層			プ ロ ジ エ ク ト	目 標 値	実 績 値	A	I										
												町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例	民 間 活 用						手 法 見 直 し	質 の 向 上	1 層	2 層	3 層					
2852	健康づくり運動事業	2,385	1,668	①小児健康づくり教室の実施②飯島町食育推進計画（第3次）策定③町の食育推進計画に基づいた食育推進事業の展開④健康増進運動指導⑤健康ポイント事業⑥健康推進員活動	2	①こりすの会・つばさの会は計画通り実施。中でも個別相談会は、前年度より希望者数が増えています。②飯島町食育推進計画（第3次）を策定しました。③食育活動については、コロナ禍での制限もあり中止した事業もありました。④健康ポイント事業について、提出者は増加しています。（提出人数：令和元年度114名、令和2年度255名、令和3年度実施中（6月末まで））⑤健康推進員活動は、コロナ禍で対面での健康教室の実施が難しい状況が続いています。その中でも去年に比べ、対面での健康教室を実施できる自治会が増えました。また、健康推進員へのアンケートで、健康推進員になる前と後で健康に関する意識が向上したと答えた者は70.5%で目標にしていた50%を超えることができました。	a	b	a	c	a	c	II	3	2	1	保育園年長児の体格が肥満・やせの割合（年） <small>（保育園児の身体測定値による母子保健計画目標）</small>	5.0 %	5.5 %	A	I								
																						3	2	3	地区・自治会健康教室参加数（年） <small>（健康推進員主催の健康教室参加者数）</small>	1,500 人	243 人	B	II
														3	2	5						健康づくり運動教室開催（年） <small>（運動教室の開催回数）</small>	12 回	22 回					

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総政 画策体系上 の位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		今後の進捗状況	今後の方向性				
達成度	必要性	有効性	効率性				今後の方向性	1層	2層		3層	プロジェクト	目標値		実績値							
				町民ニーズ	民間での事例	民間活用				手法見直し				質の向上								
2853	健康増進事業	21,205	20,440	①生涯にわたり健康で充実した生活が送れるよう、生活習慣病の予防やこころの健康づくりに積極的に取り組み、誰もが生活の中で健康づくりに取り組むことが出来る住民参画の活動を推進 (1) 飯島町健康づくり計画及び飯島町国民健康保険特定健診等実施計画、保健事業実施計画に基づく事業の実施(2) 各種健診・検診事業の実施(3) 自殺対策事業実施	3	①各種検診・健診を予定通り実施しました。 ②自対策事業について、コロナ禍で中止となった事業もあったが、ほぼ予定通り実施しました。	a	a	a	c	a	c	II	1層	2層	3層	がん検診受診率 (胃・大腸・子宮・乳・肺がんの受診率平均)	40 %	32.2 %	A	I	
														3	2	2		精密検査受診率 (健診後の精密検査受診率)	80.0 %			70.2 %
														3	2	4			国保特定健診受診率 (第3期特定健診等実施計画目標値) ※令和4年7月頃実績値確定予定			61.0 %
														3	2	4	自殺死亡率 (人口10万対自殺死亡率(飯島町のち支える自殺対策推進計画))	0 人		令和4年 10月確定 予定 人	B	II
														3	2	5		既出	既出	既出		
2891	診療所費	6,735	6,650	①町内3師会の開催(年1回)により町内3師会との連携を図る。 ②七久保診療所の管理は、必要最小限の経費で実施しました。 ③飯島中央クリニックに関する医療機器のリースが契約期間を迎えるため次期以降のリース等について、医師と協議の上進めることができました。	3	①町内3師会は新型コロナウイルス感染症のため書面での実施となりました。(医師、薬剤師との連携は、ワクチン接種で図れました。)	a	a	a	a	a	c	I	3	3	4	①町内3師会を開催したことにより、地域医療の情報交換ができ、連携強化を図ることができました。	—	—	A	I	

基本情報				事務事業評価								実施計画（施策）評価										
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合計画政上 の位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		今後の方向性	今後の方向性				
主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性		有効性		効率性	改善 後の方向性	1層		2層	3層	プロジェクト		目標値	実績値			A	I		
				民間での事例	民間活用	手法見直し				質の向上												
6050	(国民健康保険特別会計) 保健衛生普及事業	7,178	6,906	①適正な保険資格での受診についても含め周知徹底 ②ジェネリック薬品の内容も含めた利用についての周知を実施	3	①資格取得時の説明、広報周知により適正な保険資格の周知しました。②年金情報との連携により個別通知による資格適正化を実施しました。③利用差額通知（先行薬品を使用した場合との差額）での周知を実施しました。（年2回）④保険証更新通知へのパンフレット及びジェネリック薬品利用シール同封による周知を実施しました。（年1回）	a	a	a	a	b	c	II	3	3	5	—	①保険料等の県統一に向けた検討会（ワーキンググループ）への参加をしたことにより、連携強化を図ることができました。	—	—	A	I
6051	(国民健康保険特別会計) 疾病予防事業	8,751	8,205	①人間ドック、がん検診費用補助②疾病予防啓発事業③疾病予防対策ツールを用いた健診後保健指導	2	①人間ドック、がん検診費用補助を行いました。②疾病予防啓発事業については、広報、各種健康教室、健康ポイント・健診案内パンフレットでの疾病予防啓発を実施しました。③疾病予防対策ツールKDBシステムと連動することにより、個人の経年表や今の体の状態がわかる構造図を作成することができ、それを用いて保健師・管理栄養士による個人への保健指導を実施しました。	a	b	a	c	a	c	I	3	2	2	—	既出	既出	既出	既出	既出



基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総政上 策体系の位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		今後の進捗状況	今後の方向性					
主な取組内容	達成度	必要性	有効性			効率性	今後の方向性	1層		2層	3層	プロジェクト		目標値	実績値							
				町民ニーズ	民間での事例				民間活用				手法見直し			質の向上						
3111	農業委員会費	9,637	9,304	①各地区の農地利用調整会議に参加、地域の担い手への農地の面的集積②遊休農地解消のための農地パトロールの実施	3	①担い手への新規集積実績（令和2年度末（78.8ha）令和3年度末（17.0ha））②遊休農地の解消をしました。（令和2年度末（9.1ha）令和3年度末（7.2ha））	a	a	a	a	a	b	I	4	1	2	—	遊休農地の面積（減少） <small>（農地等の利用の最適化に関する指針）再生可能（A分類）とした遊休農地面積</small>	0.5 ha	1.9 ha	B	II
							4	5	6	担い手への農地利用集積面積（増加） <small>（農地等の利用の最適化に関する指針）認定農業者等の担い手への集積面積</small>	5.0 ha	8.0 ha										
														4	5	6	—	新規参入の農業経営体数（増加） <small>（農地等の利用の最適化に関する指針）30a以上経営する新規参入の農業経営体数</small>	令和5年度 5人	—人		
														4	5	6	—	【再掲】遊休農地の面積	0.5 ha	1.9 ha	B	II
3211	経営所得安定対策事業	2,709	2,697	①町、町農業再生協議会、営農組合などと協力し、生産調整を実施②生産調整の中で、町農業再生協議会での転作作物の検討を実施	3	①営農組合との調整により町内の主食用米の生産調整数量目安値の達成率が99.9%となりました。②転作作物の検討を行ったが、周知・支援等が次年度に必要です。	a	b	b	b	b	b	II	4	3	2	—	【再掲】スマート農業取り組み事例	1件	3件	A	II

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合計画上の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の進捗状況			
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	改善後の方向性	1層										2層	3層
												民間での事例	民間活用	手法見直し	質の向上							
3212	機構集積協力金交付事業	2,669	2,470	①経営転換協力金、地域集積協力金の（申請事務及び補助金事務）適正な事務処理②JA農地利用集積円滑化事業から農地中間管理事業への移行事務	3	①JA農地利用集積円滑化事業から農地中間管理事業への移行（目標45ha⇒実績43.7ha）②中間管理機構新規受付（目標2.0ha ⇒ 実績3.1ha）③経営転換協力金（3件、11筆、18,338㎡、273,000円）④地域集積協力金（2地区、1,528ha、1,528,000円）	a	a	a	a	b	b	I	4	1	1	—	【再掲】担い手への農地利用集積面積（増加）	5.0 ha	8.0 ha	B	II
														4	1	2	—	既出	既出	既出	既出	
														4	1	3	—	【再掲】担い手への農地利用集積面積（増加）	5.0 ha	8.0 ha	B	II
														4	4	4	—	【再掲】担い手への農地利用集積面積（増加）	5.0 ha	8.0 ha	B	II
3213	新規就農・経営継承総合支援事業	18,130	18,130	①新規就農者について圃場確認の実施②就農希望者の相談・支援	3	①新規就農者のJA・県支援センターを含めた圃場確認を増加（夏のみを春にも実施、冬場の面談を現地にて実施）②移住者の就農希望者の相談対応を実施しました。③認定新規就農者は4人でした。	a	b	b	b	b	b	II	4	4	1	—	新規就農者数（延数）	8 人	4 人	B	II
														4	4	2	—	【再掲】新規就農者数	8 人	4 人	B	II
														4	4	3	—	【再掲】新規就農者数	8 人	4 人	B	II
														4	5	3	—	【再掲】新規就農者数	8 人	4 人	B	II
														4	5	4	—	【再掲】新規就農者数	8 人	4 人	B	II
														4	5	5	—	【再掲】新規就農者数	8 人	4 人	B	II
3221	環境保全型農業直接支援対策事業	1,280	1,223	①国際水準GAPに取り組むための研修会の実施	3	①国際水準GAPに取り組むための研修会を令和3年9月29日に実施し、町内農業者13名に参加いただきました。	a	a	b	a	a	a	III	4	5	1	—	畦畔管理指針の作成（延数） <small>（環境に配慮した農業を展開するための畦畔管理指針（基準等）を作成）</small>	1 件	1 件	B	II
														4	5	2	—	【再掲】新規就農者数	8 人	4 人	B	II
3225	集落営農支援事業	5,063	4,427	①地区営農組合の自立支援と担い手法人の連携強化を図るため、4地区との懇談する機会の調整	3	①地区営農組合の自立支援と担い手法人の連携強化を図るため、4地区と懇談する機会を新たに設けました。	a	b	b	a	b	b	I	4	2	1	—	農地流動化率 <small>（経営耕地面積に対する借入農地面積の割合）</small>	71.0 %	68.9 %	B	I

基本情報				事務事業評価						実施計画（施策）評価													
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合計画体系上の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性				
事業コード	事業名称	予算額（千円）	決算額（千円）	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	改善後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト		目標値	実績値						
																				町民ニーズ	民間での事例	民間活用	手法見直し
3232	都市・農村交流事業	82	0	①都市との交流による農産物の流通、地域の活性化推進②グリーンツーリズムへの住民意識の高揚	4	①想定以上に新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により事業の実施ができなかった。②参加するイベントの中止等が相次ぎ実施できなかった。③町民への推進事業が実施できなかった。	a	b	c	c	a	b	II										
3290	農作物災害等対策事業	2,119	1,951	①国庫補助事業を活用した狩猟器具の購入による鳥獣被害防止の実施	3	①国庫補助事業を活用した狩猟器具の購入により鳥獣被害防止を図りました。	a	a	b	a	a	b	II	4	2	2	—	【再掲】農地流動化率	71.0 %	68.9 %	A	I	
3300	農業振興総合対策事業	28,766	28,540	①スマート農業推進するため、飯島町農業再生協議会によるRTK-GNSS基地局の運用を開始	3	①スマート農業推進のため、令和3年5月に飯島町農業再生協議会によるRTK-GNSS基地局の運用を開始しました。②ライセンス3件が運用され、田植え機の自動運転や、ドローンによる薬剤散布が行われました。	a	b	b	b	b	b	II	4	1	2	—	既出	既出	既出	既出		
														4	1	2	—	既出	既出	既出	既出	既出	既出
														4	2	3	—	【再掲】畦畔管理指針の作成	1 件	1 件	B	II	
														4	3	1	—	スマート農業取り組み事例	1 件	3 件	B	II	
														4	3	2	—	既出	既出	既出	既出	既出	
														4	3	3	—	【再掲】スマート農業取り組み事例	1 件	3 件	A	II	
														4	5	1	—	既出	既出	既出	既出	既出	
														4	5	7	—	【再掲】畦畔管理指針の作成	1 件	1 件	B	II	
4	5	8	—	【再掲】畦畔管理指針の作成	1 件	1 件	B	II															
4	5	9	—	【再掲】畦畔管理指針の作成	1 件	1 件	B	II															

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価										
				計画 (Plan)	達成度	実施 (Do)	評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合計画 策体系上の位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		今後の進捗状況	今後の方向性			
必要性	有効性	効率性	1層				2層	3層	プロジェクト		目標値	実績値									
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容		民間 ニーズ	民間 での事例	民間 活用	手法 見直し	質の 向上	今後の 方向性										
3301	中山間地域等直接支払事業	29,703	29,558	①中山間直接支払制度を活用した保全活動とともに農業生産活動の拡大②日曾利地区、田切地区の加算措置の実施	3	a	a	b	a	b	b	Ⅱ	4	2	2	—	既出	既出	既出	既出	
3741	道の駅本郷建物管理費	171	161	①道の駅本郷の適正管理による情報発信 ②地域づくりの推進・農業振興（農産物直売、農産加工品直売）	3	a	b	b	c	b	b	Ⅱ	—	—	—	—	—	—	—	—	
3742	道の駅花の里いいじま管理費	9,002	8,157	①道の駅花の里いいじまによる情報発信・地域づくりの推進 ②空調設備更新	3	a	b	b	c	b	b	Ⅱ	4	5	10	—	道の駅年間来場者数 (年) <small>(道の駅花の里いいじま、道の駅田切の里への来場者数)</small>	290,000 人	307,182 人	B	Ⅱ

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価												
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総 合計画政 策体系上 の位置づ け				成果指 標・定 性的な成 果	当該年度		施 策の 進 捗 状 況	今 後 の 方 向 性				
主 な 取 組 内 容	達 成 度	主 な 取 組 内 容 の 実 績	必 要 性		有 効 性	効 率 性	今 後 の 方 向 性	1 層	2 層		3 層	プ ロ ジ エ ク ト	目 標 値	実 績 値									
				町 民 ニ ー ズ						民 間 で の 事 例					民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上						
3743	道の駅 田切の 里管理 費	9,900	8,609	①道の駅田切の里の 適正管理による情報 発信・地域づくりの 推進	3	①新型コロナウイルス 感染症拡大防止の影響 はありつつも、適正な 管理運営が実施されま した。②ECサイトへの 生産物の掲載と利用が 増加しました。	a	b	b	c	b	b	Ⅱ	4	5	10	—	既出	既出	既出	既出		
4111	商工総 務費	214	189	①産業振興審議会の 開催による産業全般 の審議②飯島町勤労 者互助会の運営によ る中小企業振興	3	①飯島町勤労者互助会 の運営により、中小企 業者の福利厚生事業の 一助となりました。	b	a	c	a	b	a	Ⅱ	—	—	—	—	—	—	—	—		
4121	商工業 振興費	267,756	257,717	①飯島町商工業振興 事業補助金の交付② 新型コロナウイルス 感染症拡大防止の影響 を受けている町内 事業者への支援③町 制度資金のあっせ ん、利子補給事業	3	①新型コロナウイルス 感染症拡大防止の影響 を受けている町内事業 者の事業継続のための 支援を数多く実施しま した。②新型コロナウ イルス感染症拡大防止 の影響により、発酵食 品のまちづくりのPR活 動ができませんでした。	a	a	a	a	a	a	Ⅱ	4	7	1	—	新規企業誘致数（延 数） <small>（町や土地開発公社が所有する土地や町内 の空き工場等への企業誘致）</small>	1社	1社	C	Ⅲ	
														4	7	2	—	【再掲】新規企業誘 致数	1社	1社	B	Ⅱ	
														4	7	4	—	【再掲】新規企業誘 致数	1社	1社	A	Ⅰ	
																		地元滞留率 <small>（町内で買物をする世帯の割合）</small>	令和6年度 6%	%	—%		
														4	7	6	—	工業展参加事業者数 <small>（国内外で開催される工業展等に参加する 事業者数）</small>	10社	4社	B	Ⅱ	
																		製造品出荷額 <small>（工業統計調査（経済産業省）の数値） ※令和4年度中実績値確定予定</small>	5,241,494 万円	令和4年度 中確定	万円		
														4	8	1	—	【再掲】地元滞留率	令和6年度 6%	%	—%	B	Ⅱ
														4	8	2	—	【再掲】地元滞留率	令和6年度 6%	%	—%	B	Ⅱ
														4	8	3	—	【再掲】地元滞留率	令和6年度 6%	%	—%	B	Ⅱ
														4	9	3	—	起業数（年） <small>（町内で起業した件数）</small>	2件	6件	B	Ⅱ	
														4	9	4	—	町内の事業所数（延 数） <small>（町内の事業所数維持（経済センサス））</small>	432 事業所	432 事業所	B	Ⅱ	

基本情報				事務事業評価								実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総 合計画政 策体系上 の位置づ け			成果指 標・定 性的な 成果	当該年度		施 策の 進 捗 状 況	今 後 の 方 向 性				
事業 コー ド	事業 名称	予算 額 (千 円)	決算 額 (千 円)	主 な 取 組 内 容	達 成 度	主 な 取 組 内 容 の 実 績	必 要 性	有 効 性	効 率 性	改 善 の 方 向 性	1 層	2 層	3 層	プ ロ ジ エ ク ト		目 標 値	実 績 値						
															民 間 ニ ー ズ			民 間 で の 事 例	民 間 活 用			手 法 見 直 し	質 の 向 上
4123	伝統技術等承継支援事業	4,450	3,557	①他自治体地域おこし協力隊とのコラボ商品づくり②わら細工ワークショップ講師③わら細工講座受講によるスキルアップ④農業実践（米、わらづくり）	1	①報道機関（新聞、テレビ等）を活用して、わら細工（蓑、阿島傘、しめ飾り）のPR活動をすることができました。	b	b	a	a	a	a	a	I	4	7	3	—	メディア掲載回数 (年) <small>(協力隊の活動が新聞等で取り上げられた回数)</small>	5回	6回	A	I
															4	7	5	—	【再掲】メディア掲載回数	5回	6回	A	I
4124	くらし復興券1億円事業	127,702	126,916	①第3弾飯島町くらし復興券の発行②使用期間：令和3年4月29日～令和3年9月30日③発行総額：120,000千円（うち、住民税非課税世帯、医療・福祉関係事業所へ無料交付（1,602冊））④取扱店舗：225事業所	3	①新型コロナ第5波の影響がもっとも強い期間にわたり使用できたことから、町民の生活支援に効果がありました。②用意した12,000冊の「くらし復興券」はすべて発行することができ、使用された復興券の額面は119,538千円と町内経済に効果がありました。	a	a	a	a	b	b	II	4	8	4	—	【再掲】地元滞留率	令和6年度 6% %	— %	A	II	
4125	第三者承継マッチング事業	0	0	①飯島町内において後継候補者のいない複数の事業者の元で、後継候補者として事業承継を行い、技術やノウハウの習得	4	①地域おこし協力隊の募集を2回行ったものの、応募がなかったため事業を実施できませんでした。②長野県事業承継・引継ぎ支援センター等、事業承継支援機関との打ち合わせを行い、取り組み内容を再設計しました。	a	b	c	b	b	a	II	4	9	3	—	既出	既出	既出	既出	既出	

基本情報				事務事業評価								実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)	実施 (Do)			評価 (Check)			改善 (Action)		第6次総 合計画政 策体系上 の位置づ け			成果指 標・定 性的な 成果		当該年度		施 策の 進 捗 状 況	今 後 の 方 向 性		
事業 コー ド	事業 名称	予算 額 (千 円)	決算 額 (千 円)	主 な 取 組 内 容	達 成 度	主 な 取 組 内 容 の 実 績	必 要 性	有 効 性	効 率 性	今 後 の 方 向 性	1 層	2 層										3 層	プ ロ ジ エ ク ト
													町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例	民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	4 層	5 層	6 層	7 層		
4162	企業誘致費	23,052	22,732	①石曽根工場用地の売却②飯島町土地開発公社と連携した企業誘致	3	①新日本薬業㈱が12月陣馬工業団地に竣工し、操業を開始したことで成果目標は達成しました。②石曽根工場用地に信州西部陸送㈱の誘致が決定しました。(操業開始は令和4年度予定)③赤坂地籍の工業地域に㈱クギンの誘致が決定しました。(操業開始は令和4年度予定)	a	a	a	b	a	b	II	4	7	1	—	既出	既出	既出	既出		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	9	1	—	観光客数(年) (与田切公園、千人塚公園、道の駅花の里いじま、道の駅田切の里の利用者数)	250,000 人	279,900 人	B	II
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	9	2	—	観光客数(年) (与田切公園及び千人塚公園の利用者数)	30,000 人	45,700 人	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	9	2	—	①ハローワーク情報の提供により、特に移住者、Uターン者の就職支援に寄与しています。②「まいさぼ伊那」の事業効果により、町内企業の「就職活動応援金付職場体験事業」への事業者登録を進めることができました。	—	—	B	III

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価												
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総 合計画政 策体系上 の位置づ け			成果指 標・定 性的な 成果		当該年度		施 策の 進 捗 状 況		今 後 の 方 向 性		
事業 コー ド	事業 名称	予算 額 (千 円)	決算 額 (千 円)	主 な 取 組 内 容	達 成 度	主 な 取 組 内 容 の 実 績	必 要 性	有 効 性	効 率 性	今 後 の 方 向 性	民 間 ニ ー ズ												民 間 で の 事 例
												3404	農地整備事業	25,192	22,723	①小規模な農業用排水路の改良②ため池監視システムの導入・運用	3	①ほぼ目標どおり達成できました。②地元要望のあった箇所に現物支給を行いました。③県施工によるため池監視システムを導入し、管理する区及び水利組合でも確認できるように操作説明会を実施しました。（設置ため池：千人塚、針ヶ平、本郷、滝ヶ原、町谷 計5箇所）	a	a	b	a	
3413	多面的機能支払	74,022	73,257	①多面的機能支払交付金制度の取り組み	3	①ほぼ目標どおり達成できました。②交付対象面積に対する交付金を交付したが、近年は長寿命化の配分が要望額に対して少ないため交付額の範囲内で地元施工をしている状況です。	a	a	a	a	a	a	I	4	6	2	—	既出		既出	既出	既出	既出

基本情報				事務事業評価								実施計画（施策）評価										
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)		第6次総 合計画政 策体系上 の位置づ け			成果指標・定性的な成果		当該年度		施策の 進捗状況	今後の 方向性		
事業 コード	事業 名称	予算 額（千 円）	決算 額（千 円）	主な 取組 内容	達 成 度	主 な 取 組 内 容 の 実 績	必 要 性	有 効 性	効 率 性	改 善 の 方 向 性	1 層										2 層	3 層
												町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例	民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上	4 層	5 層	6 層	7 層		
3415	農村地域防災事業	19,300	19,225	①千人塚ため池耐震工事が事業最終年度に当たることから、適正な事務処理の実施②飯島地区原井用水トンネル工事が着手できるよう地元調整	3	①ほぼ目標どおり達成できました。②県営千人塚地区では、B&G艇庫付近に空洞が確認され対策工事を実施し、計画どおり事業完了となりました。③県営飯島地区原井用水では、トンネル工事が発注されたものの不調により工法見直しとなったが、別工法での施工で進めていくよう地元調整し工事を着手することができました。	a	a	b	a	a	a	I	4	6	2	—	既出	既出	既出	既出	
3423	農業基盤整備促進事業	400	397	①日曾利地区概要書作成	3	①ほぼ目標どおり達成できました。②中山間地や急傾斜の地形により事業費が膨大となり費用対効果が得られず内容等の精査が必要となりました。	a	b	b	a	a	a	II	4	6	1	—	①日曾利地区概要書の作成を業務委託、公図と現況に乖離があることから、航空写真を活用した境界確認を実施しました。	—	—	B	II
														4	6	2	—	既出	既出	既出	既出	
3424	農地耕作条件改善事業	0	0	①南割用水頭首工工事	4	①目標を下回りました。②工事発注に向けて県との河川協議に時間を要したことにより、濁水期中での完了は困難なことから翌年度繰越で発注することとなりました。	a	b	b	a	a	a	II	4	6	2	—	既出	既出	既出	既出	

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価										
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合計画 策体系上の位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性			
主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性		民間での事例	有効性	民間活用	効率性	手法見直し		質の向上	今後の方向性	1層		2層	3層			プロジェクト	目標値	実績値
				3801						林業総務費				5,941			5,669	①上伊那郡市育樹祭の会場整備及び育樹祭の開催			
3851	緑化推進事業	618	423	①植栽ボランティア ②森の学校、緑の少年団	3	①ほぼ目標どおり達成できました。②春作業でのサクラの植栽、夏作業での草刈等コロナ禍での開催も心配されましたが計画どおり実施できました。③新型コロナウイルス感染拡大防止のため、森の学校及び緑の少年団交流集会は中止となったが、各学校での緑化活動は実施したため緑の募金還元金を財源とした補助金を交付しました。	a	a	b	a	a	a	I	4	10	3	町有林の造林面積（年） <small>（町有林にて造林（間伐・更新伐等）を行った面積）</small>	5 ha	6 ha	B	II
																	間伐実施面積（年） <small>（町内で実施された間伐実施面積）</small>	75 ha	80.2 ha		

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総 合計画政 策体系上 の位置づ け			成果指 標・定 性的な 成果		当該年度		施 策 の 進 捗 状 況	今 後 の 方 向 性		
事業 コード	事業 名称	予算 額（千 円）	決算 額（千 円）	主な 取組 内容	達成 度	主な 取組 内容 の 実 績	必 要 性	有 効 性	効 率 性	改 善 の 方 向 性	プロジェクト			目 標 値	実 績 値	既 出	既 出	既 出	既 出			
											1 層	2 層	3 層							町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例	民 間 活 用
3855	林業振 興事業	200	0	①ペレットストーブ 導入補助	4	①目標を下回りました。②広報掲載等の普及活動を行い、1件申請があったが申請者の都合により取り下げとなりました。	b	a	b	a	a	a	I	4	10	3	—	既出	既出	既出	既出	
														4	10	4	—			A	I	
3856	松くい 虫防除 事業	2,860	2,832	①防除対策の実施 (枯損木処理、地上 薬剤散布)	3	①ほぼ目標どおり達成 できました。②被害拡 大防止のため枯れたア カマツの処理を実施す るとともに、公園の守 るべき松林に対して薬 剤散布を実施しまし た。③枯損木破砕処理 (21m <sup>3</sup> )④地上薬剤散 布(2ha)	b	a	b	b	a	a	I	4	12	3	—	—	—	A	I	
														4	12	4	—	松枯損木伐倒処理量 (年) (松くい虫被害により枯死した木を伐倒処 理した材積量)	10 m <sup>3</sup>	21 m <sup>3</sup>	A	I

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合計画 策体系上の位置づけ				成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の進捗状況	今後の方向性	
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	改善後の方向性	1層											2層
												町民ニーズ	民間での事例	民間活用	手法見直し	質の向上						
3859	信州の森林づくり事業	800	759	①県等が実施する補助事業に町独自で補助金を交付し、補助の嵩上げをすることで町の林業振興を図る。	3	①森林整備実施面積により、林業事業者2者に嵩上げ補助を行いました。②補助額759千円	a	a	a	a	a	a	a	II	4	10	3	—	既出	既出	既出	既出
3863	町有林整備事業	5,323	5,323	①町有林の間伐	2	①ほぼ目標どおり達成できました。②森林経営計画に基づいた箇所の間伐を実施し、予定した販売額を上回りました。	a	a	b	a	a	a	a	II	4	10	3	—	既出	既出	既出	既出
3865	森林環境譲与税活用事業	3,475	3,129	①意向調査の実施②ノベルティ作製・配布（ひのき鉛筆、ものさし）③河岸段丘林等間伐	3	①意向調査を実施しました。（10.79ha）②令和4年度に小学校へ入学する全児童へ飯島町産ひのき鉛筆、ひのきものさしを配布し、保護者へ森林環境税に関する資料を配布しました。（70セット）③与田切川沿いの通学路にある竹林の伐採を行った。当該地は熊の目撃情報もあり、獣が身を隠しやすい場所となっていたため、伐採することにより通学する児童・生徒の安全を確保しました。（伐採面積310㎡）	a	b	a	b	a	a	II	4	10	2	—	森林の管理に関する意向調査した面積（年） （飯島町森林計画図（林班図）に基づく（30林班、49林班、50林班）エリアの意向調査した面積）	10.0 ha	10.79 ha	B	I

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総 合計画政 策体系上 の位置づ け			成果指標・ 定性的な成 果		当該年度		施 策 の 進 捗 状 況				
事業 コード	事業 名称	予算 額 (千円)	決算 額 (千円)	主 な 取 組 内 容	達 成 度	主 な 取 組 内 容 の 実 績	必 要 性		有 効 性			今 後 の 方 向 性	1 層	2 層	3 層	プ ロ ジ ェ ク ト			目 標 値	実 績 値		
							町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例	民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上											
3903	林道整備事業	51,747	50,984	①企業局交付金を活用し、林道横根山線の改修②令和2年度からの繰越事業による、林道辰巳ヶ沢入線の舗装工事の実施	2	①企業局交付金により、林道横根山線の改修を行いました。（吹付工A=76.7㎡、舗装工A=319.2㎡）②林道辰巳ヶ沢入線の全線約2kmの全線舗装が完了しました。（令和2年度繰越事業、舗装延長L=565m）③地元要望による林道寺社平線の一部舗装を行いました。	a	a	b	a	a	a	I	4	10	4	—	既出	既出	既出	既出	
5811	農業施設災害復旧事業（補助）	54	36	①パトロールを実施し、枝葉の除去等を行い未然防止を図る。②豪雨により被害のあった農業施設の復旧工事を実施	3	①令和3年5月豪雨で被害のあった農地の復旧を行い、一部、令和4年度に繰越しました。（日曾利、岩間、横沢）	a	a	b	a	a	a	I	—	—	—	—	—	—	—	—	
5812	農業施設災害復旧事業（単独）	3,391	3,376	①パトロールを実施し、枝葉の除去等を行い未然防止を図る。②豪雨により被害のあった農業施設の復旧工事を実施	3	①令和3年5月豪雨、令和3年8月豪雨で被害のあった農地を復旧しました。（日曾利、新井用水、北村、針ヶ平ほか）	a	a	b	a	a	a	I	—	—	—	—	—	—	—	—	
5821	林業施設災害復旧事業（補助）	17,106	16,750	①パトロールを実施し、枝葉の除去等を行い未然防止を図る。②豪雨により被害のあった林道の復旧工事の実施③令和2年度繰越事業 梅雨前線豪雨災害による林道復旧工事の実施（林道陣馬形線）	3	①パトロールの実施、枝葉の除去等を行い未然防止を図りました。②令和2年度繰越事業（林道陣馬形線）について計画通り復旧工事がしゅん工しました。	a	a	b	a	a	a	I	—	—	—	—	—	—	—	—	

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価									
				計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策上の位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性			
達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性			効率性	今後の方向性	1層		2層	3層	プロジェクト		目標値	実績値					
				町民ニーズ	民間での事例				民間活用				手法見直し			質の向上				
事業コード	事業名称	予算額（千円）	決算額（千円）	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト	成果指標・定性的な成果	目標値	実績値	施策の進捗状況	今後の方向性	
5822	林業施設災害復旧事業（単独）	3,154	3,150	①パトロールを実施し、枝葉の除去等を行い未然防止を図る。②令和2年度繰越事業（林道陣馬形線）について計画通り復旧工事がしゅん工しました。	3	①令和3年5月豪雨、令和3年8月豪雨で被害のあった路線を復旧し、原状どおり通行可能としました。②林道5本（寺社平線、駒ヶ岳線、大森沢線、猿ヶ城線、細沢線）、作業道1本（大森沢線）、倒木2箇所	a	a	b	a	a	a					—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	6	3	—	①中央道跨道水路橋の統廃合について、関係所管課（建設水道課）と現地調査等を行ったことにより統廃合の素案を作成しました。なお、今後、地元協議していくなかで、通行の利便性や農作物への影響が予想されることから理解を得るには様々な課題を解決する必要があります。	—	—	B	I	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	10	1	—	①ゼロカーボンへの取り組み等の資料収集を行ったことにより、全国の先進的な事例など参考になりました。また、実用化には時間を要することがわかりました。	—	—	B	II	

基本情報				事務事業評価								実施計画（施策）評価								
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策 系上の位置 づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の方向性	今後の方向性
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト			目標値	実績値		
																			民間 活用	質の 向上
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	10	5	○	①環境循環ライフ構 想プロジェクト会議 を通じて、「マンダ ラ図」を作成したこ とにより、森林資源 を活用した林業振興 や資源循環など、飯 島町が目指す方向性 を確認することがで きました。②環境循 環ライフ構想プロ ジェクト会議（4 回）、ワーキンググ ループ会議（2回）	—	—	B	I	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	11	1	—	①治山事業について 長野県へ要望活動を行 った結果、令和4 年度「日曾利山の田 復旧治山工事」を県 営事業として採択 されました。	—	—	B	I	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	12	1	—	有害鳥獣捕獲頭数 (年) <small>(個体数調整目的で捕獲した有害鳥獣（ニ ホンジカ、イノシシ、ニホンザル）の頭 数)</small>	50 頭	64 頭	B	I	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	12	2	—	樹種転換実施面積 (年) <small>(町内山林において、保全松林緊急保護整 備事業を活用し樹種転換を実施した面積)</small>	1 ha	1 ha	B	I	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	12	5	—	有害鳥獣被害対策の 啓発(年) <small>(町広報への記事掲載)</small>	1 回	1 回	B	I	

<建設水道課>

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価												
				計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策上の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の方向性	今後の方向性					
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト	目標値	実績値			B	I			
																	町民ニーズ	民間での事例			民間活用	手法見直し	質の向上
4201	土木総務費	2,794	2,703	①現場調査（道路パトロール）②道路台帳の整備③各種期成同盟会への参加	3	①ほぼ目標どおり達成できました。②道路の現地状況の把握を実施しました。③道路事業を反映した道路台帳の整備を実施しました。④関係機関への協議、要望を実施しました。⑤河川整備、砂防事業を促進するため、各種期成同盟会へ参加しました。	a	a	a	a	a	a	a	I	5	1	2	○	町道の改良延長（幅員5.5m～） <small>（センターラインのある規格道路（5.5m以上）の整備済延長）</small>	44.7 km	44.7 km	B	I
															5	1	7	—	①道路等の用途廃止や代替策について関係課と連携を図ることにより、道路周辺管理計画の方針を策定することができました。	—	—	B	I
															5	2	1	—	与田切川、中田切川の整備率 <small>（最上流部から下流部まで整備が完了している割合）</small>	80.6 %	80.6 %	B	I
															5	2	2	—	①長野県への事業要望により「日向沢川、矢の沢川」の河川整備を実施することができました。②長野県への事業要望により「矢の沢川、高遠入沢川」の砂防事業を実施することができました。	—	—	B	I

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策上の位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性				
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性					1層	2層			3層	プロジェクト	目標値	実績値
											4221	道路維持費	90,406	89,836			①道路維持補修②現物支給事業③道路除草④道路除雪・融雪剤散布	3				
4231	町道整備事業	8,993	8,549	①町道火の見線道路改良（測量設計）②町道丸山線道路改良（測量設計）	3	①ほぼ目標どおり達成できました。②町道火の見線道路改良計画について、山久自治会と協議、調整し、測量設計を実施しました。③町道丸山線道路改良計画について、七久保区及び地権者と協議、調整し、測量設計を実施しました。	a	a	b	c	b	c	I	5	1	2	○	既出	既出	既出	既出	既出

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価										
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Act ion)	第6次総合政策上の位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性			
主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性		有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層		3層	プロジェクト	目標値		実績値						
				町民ニーズ						民間での事例				民間活用		手法見直し	質の向上				
4235	社会資本整備総合交付事業	103,782	102,791	①南田切線道路改良事業（工事L=37m） ②本郷飯島線道路改良事業（用地測量、用地買収） ③高尾本線道路改良事業（詳細設計）	3	①ほぼ目標どおり達成できました。 ②補助金事業を活用し、南田切線道路改良事業（工事）を実施しました。 ③補助金事業を活用し、本郷飯島線道路改良事業（用地測量、用地買収）を実施しました。 ④補助金事業を活用し、高尾本線道路改良事業（詳細設計）を実施しました。	a	a	b	c	b	c	I	5	1	2	○	既出	既出	既出	既出
4238	県営農道整備事業	25,050	25,045	①歩道設置・七久保側（L=540m） ②歩道設置検討・飯島側（山久線交差点から北側）	3	①七久保側（柏木信号機～与田切橋）の舗装工事（L=540m）が完成しました。 ②山久交差点から北側について、長野県の農地整備課と歩道設置の検討を実施しました。	a	a	a	a	a	a	I	5	1	2	○	既出	既出	既出	既出
4252	道路メンテナンス事業	47,572	47,207	①橋梁の法廷点検（町内一円） ②橋梁の法廷点検（中央道跨道橋） ③橋梁の長寿命化修繕（中田切ふれあい橋）	3	①ほぼ目標どおり達成できました。 ②補助金事業を活用し、橋梁の点検（町道橋・久根平2号橋ほか37橋）を実施しました。 ③補助金事業を活用し、橋梁の点検（中央道跨道橋2橋・尾越橋、鳴尾北橋）を実施しました。 ④補助金事業を活用し、橋梁の長寿命化修繕（中田切ふれあい橋）を実施しました。	a	a	b	b	b	c	II	5	1	3	町管理橋梁の点検数（延数） <small>（町内127橋ある橋梁を計画的に点検）</small>	50 橋	50 橋	B	II
														5	1	4	①道路橋及び水路橋の統廃合について関係課と協議をしたことにより、統廃合計画の方針を策定することができました。	—	—	B	II

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価												
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策 上の位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性				
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト		目標値	実績値						
															町民ニーズ			民間での事例	民間活用			手法見直し	質の向上
4263	道の駅本郷管理費	1,098	911	①駐車場・トイレの維持管理②合併浄化槽の維持管理	3	①ほぼ目標どおり達成できました。②駐車場・トイレの管理を、(株)ふるさと味のいいまに委託し実施しました。③合併処理浄化槽の管理を、(有)七久保衛生社に委託し実施しました。	a	a	c	c	b	b		II	—	—	—	—	—	—			
4311	河川総務費	20	20	①準用河川の清掃（土砂撤去・草刈り）	3	①ほぼ目標どおり達成できました。②高遠入沢川について、高遠原自治会作業で河川清掃ができました。	a	a	c	c	a	c		I	5	2	3	—	①小規模な損傷箇所を補修したことにより災害に対する対策を図ることができました。	—	—	B	I
4322	河川整備事業	2,370	2,131	①河川維持（土砂撤去）②河川補修（小破修繕）	3	①ほぼ目標どおり達成できました。②河川に堆積した土砂を撤去しました。（唐沢川）③大雨により損傷した河川の補修を実施しました。（中原川、古川、藤巻川、火打垣外沢川）	a	a	b	c	a	a		I	5	2	3	—	既出	既出	既出	既出	既出
5831	公共土木施設災害復旧事業（補助）	5	0	①定期的なパトロールの実施	3	①定期的なパトロールの実施	a	a	a	a	a	a		I	—	—	—	—	—	—	—	—	

基本情報				事務事業評価								実施計画（施策）評価										
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策 上の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の 進捗状況	今後の 方向性		
事業 コード	事業 名称	予算 額（千円）	決算 額（千円）	主 な 取 組 内 容	達 成 度	主 な 取 組 内 容 の 実 績	必 要 性	有 効 性	効 率 性	今 後 の 方 向 性	1 層										2 層	3 層
												町 民 ニ ー ズ	民 間 で の 事 例	民 間 活 用	手 法 見 直 し	質 の 向 上						
5832	公共土木施設 災害復旧事業 (単独)	5	0	①定期的なパトロールの実施	3	①定期的なパトロールの実施	a	a	a	a	a	a	a	I	—	—	—	—	—			
4207	社会資本整備 円滑化地籍調 査事業	21,427	20,638	①過年度（平成30年度以前）調査地（成果の認証（県・国）、法務局送付） ②令和元年度調査地区（七久保8区）（成果の認証（県・国）、法務局送付） ③令和2年度調査地区（田切5区）（地積測量、地籍図及び地籍簿の作成） ④令和3年度調査地区（飯島11区）（地籍調査事業計画及び地元説明会の実施、一筆地調査及び一筆地測量の実施）	3	①認証未達により停滞していた過年度の調査地区について、成果の認証、法務局送付を完了しました。②令和元年度以降の調査地区について、目標どおり（3年スパン）の業務を実施しました。	a	b	a	c	b	b	II	5	5	1	—	国土調査実施済進捗率 (全体計画予定地に対する割合)	74.9 %	68.6 %	B	II
4261	国県関連事業	223	109	①県道千人塚公園線の改良について、引き続き県業務と連携 ②県道北林飯島線の改良について、県による路線測量・地元説明会 ③県道伊那生田飯田線の早期着手に向けた要望活動	3	①県道千人塚公園線の改良工事が完了し、安全対策が図られました。②県道北林飯島線の改良に向けた路線測量が実施され、地元役員への説明会が実施されました。	a	a	b	a	a	c	II	5	1	1	○	①地元要望等を関係課と共有し県・国へ要望したことにより、「県道北林飯島線道路改良事業」の着手することができました。また、「伊那生田飯田線道路改良事業」の実施に向けた協議を進めることができました。	—	—	B	I

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価													
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策上の位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		今後の進捗状況	今後の方向性						
事業コード	事業名称	予算額（千円）	決算額（千円）	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層		プロジェクト	目標値			実績値					
														町民ニーズ			民間での事例	民間活用		手法見直し	質の向上			
4262	国道153号伊南バイパス建設促進費	10	10	①国道153号伊南バイパスの4車線化整備促進のため、国県に対し要望活動の実施	3	①国道153号伊南バイパス建設促進期成同盟会を開催しました。	a	a	b	a	a	a	II	—	—	—	—	—	—					
4264	国道153号伊那バレー・リニア北バイパス改良促進費	123	49	①国県に対して事業促進要望、関係機関及び期成同盟会員相互の連絡調整②自動運転交通システムについての研究と勉強会の実施	3	①同盟会において早期事業化の要望活動を実施しました。	a	a	b	a	a	b	II	5	1	6	—	①国道153号伊那バレー・リニア北バイパス改良促進期成同盟会において、三遠南信自動車道路（飯橋道路・青崩峠）の視察を実施など、早期事業化への推進を図ることができました。	—	—	B	II		
4411	都市計画総務費	311	190	①都市計画マスタープランの改定方法や近隣市町村の公表内容の研究、業務委託先へのヒアリング実施	3	①都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の策定について、検討・研究を実施しました。	a	a	b	b	b	b	II	5	3	1	—	現都市計画の見直し案の作成及び計画決定	令和5年度 1件	—	件	B	II	
														5	3	2	—	【再掲】現都市計画の見直し案の作成及び計画決定	令和5年度 1件	—	件	B	II	
														5	3	3	—	景観計画に定められた景観形成基準への適合率 <small>（景観形成基準の累計適合件数／届出の総数）</small>	100	%	100	%	B	II
														広告物条例に基づく許可基準の適合率 <small>（3年ごと点検）（適用基準の累計適合件数／点検広告物の総数）</small>		令和4年度 80%	%	—	%					

基本情報				事務事業評価								実施計画（施策）評価										
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策上の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性		
事業コード	事業名称	予算額（千円）	決算額（千円）	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	改善後の方向性	1層						2層	3層			プロジェクト	目標値
												町民ニーズ	民間での事例	民間活用	手法見直し	質の向上						
4511	町営住宅管理費	2,698	2,597	①適切な入居者募集を行い入居率を向上②長寿化計画に基づき、住宅の除却計画を具体化	3	①年6回の入居者募集を実施しました。②老朽化により除却が計画されている豊岡住宅と舟久保住宅の入居者へ説明会を実施し、令和6年度の移転について理解いただきました。	a	b	c	b	b	c	II	5	4	1	○	長寿化計画に基づく住宅ストック数 <small>（町営住宅（GH・GR除く）の総戸数）</small>	129 戸	129 戸	B	I
																	公営住宅数（公営の住宅数）	7 箇所	7 箇所			
																		町営住宅の入居率 <small>（入居停止住宅を除く）（町営住宅入居戸数／町営住宅総戸数）</small>	75 %	71 %	B	I
4512	町営住宅整備事業	34,355	34,355	①長野県住宅供給公社への償還	3	①償還計画に基づき、県住宅供給公社への償還を実施しました。	a	a	c	b	a	a	III	5	4	1	○	既出	既出	既出	既出	既出
																		既出	既出	既出	既出	
4531	住宅耐震対策促進事業	9,447	9,025	①広報紙や有線テレビによる住宅の耐震化の呼びかけ②アクションプログラムの検証と更新をホームページで公表③耐震化に関する補助事業の実施	3	①広報紙への補助事業について掲載、有線テレビの番組で耐震化の重要性を呼び掛けをしました。②アクションプログラムの検証と更新を実施し、ホームページで公表しました。③耐震診断と耐震補強工事の補助事業を計画通りに実施しました。	a	a	b	a	a	a	II	5	4	2	—	一般住宅の耐震化率 <small>（耐震性を満たす住宅数／住宅総数）</small>	76 %	76 %	B	II
																		木造住宅等耐震診断事業の実施数	5 件	5 件	B	II
																		住宅耐震補強事業補助金の交付件数	1 件	1 件		
																		耐震シェルター等設置事業補助金の交付件数	1 件	0 件		
4532	空き家対策事業	96	27	①空家所有者への管理依頼②空家に対する早期取り組み	3	①管理されていない空家の所有者へ環境部局と連携して指導を実施しました。②空家になる住宅について住民係と連携し、死亡や転出の届出の折に聞き取りと指導を実施しました。	a	b	b	a	a	b	II	5	4	3	○	特定空家等候補数 <small>（老朽化C判定の空家総数）</small>	35 戸	35 戸	C	I
																		空家のうち利活用された年間の件数 <small>（売買や賃貸がなされた空家数）</small>	25 件	19 件		

基本情報				事務事業評価								実施計画（施策）評価										
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)		第6次総合政策 上位位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性		
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト	成果指標・定性的な成果	目標値	実績値	施策の進捗状況	今後の方向性			
2861	上水道整備事業	500	500	①計画的な遠距離給水管工事の実施（1件/年）	3	①遠距離給水件数1件（町費施工対象延長：39m）	a	a	b	a	a	a	II	—	—	—	—	—	—	—		
2941	合併処理浄化槽設置整備事業	4,610	3,850	①個別処理区への補助制度の周知を継続した水洗化の推進	3	①合併処理浄化槽設置基数（10基、うち5人槽4基、7人槽4基、10人槽2基）②合併処理浄化槽設置補助金（3,848千円、うち5人槽1,378千円、7人槽1,706千円、10人槽764千円）③長野県浄化槽推進協議会会費負担金（2千円）	a	a	a	a	a	a	I	5	7	1	—	下水道・合併浄化槽へのつなぎ込み率 <small>（公共下水道と農業排及び合併処理浄化槽の管接続の率）</small>	83.9%	84.6%	A	I
2942	合併処理浄化槽管理費	6,957	6,670	①口頭、電話などで適切な維持管理の啓発②水環境の維持	3	①合併処理浄化槽維持管理補助金件数 飯島地区（190件：1,900,000円） 田切地区（161件：1,610,000円） 本郷地区（136件：1,360,000円） 七久保地区（154件：1,540,000円）	a	a	a	a	a	a	I	5	7	1	—	既出	既出	既出	既出	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	B	II	

基本情報				事務事業評価								実施計画（施策）評価							
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策 上位位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性
事業コード	事業名称	予算額（千円）	決算額（千円）	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト		目標値	実績値		
															町民ニーズ			民間での事例	民間活用
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	6	2	—	水道管の管路耐震化率	77.9 %	79 %	B	II
															水道事業の有収率 <small>（総水量に対して漏水等を除く料金回収できた水量の割合）</small>	82.3 %	81.1 %		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	6	3	—	①用水供給事業につきまして、中川村と用水供給単価決定協議、用水供給事業に係る条例等の整備、許認可関係事務を進めたことにより広域連携に向けた取組みを実施しました。 （飯島町水利使用許可申請書作成、飯島町水道用水供給事業創設認可申請書作成、中川村との打ち合わせ（4回））	—	—	B	II
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	6	4	—	①料金改定について、検討会議を開催し一定の方向性を出すことができました。	—	—	B	II
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	7	2	—	①中川村と移動脱水の更新計画時期についての検討及び方針の確認をしました。（下水道事業団との打ち合わせ（1回）、中川村との打ち合わせ（2回））	—	—	B	II

基本情報				事務事業評価						実施計画（施策）評価							
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策位置 計画上のづけ			成果指標・定性的な成果		当該年度
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト	目標値	実績値	今後の方向性
1162	国際・友好都市交流費	96	23	①みなこいワールドフェスタ（飯島町会場）への支援②駒ヶ根協力隊を育てる会への参加③姉妹都市等との交流	3	①ほぼ目標どおり達成できました。②与田切公園野外ステージを使用して、ドライブシアターを実施し発展途上国への理解や国際社会に関心を持つ場を提供することができました。また、その際に、文化館調理室で作ったお菓子や飲み物を会場で配布するサービスを行いました。③駒ヶ根協力隊を育てる会の会議等に参加し、青年海外協力隊員の活動等を間接的にサポートすることができました。④コロナ禍で姉妹都市や交流都市のイベント等が中止となり交流を図ることができませんでした。	a	a	b	a	a	a	I	—	—	—	—

基本情報				事務事業評価						実施計画（施策）評価							
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)		改善 (Action)		第6次総合政策上の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト	目標値	実績値	
																	町民ニーズ
1166	活性化推進事業	28,782	28,033	①ふるさと納税額増加による財源確保②魅力ある返礼品の発掘③寄附リピーターの確保④キッチンカー等の積極的な貸し出しによる町内事業者支援	3	①ほぼ目標どおり達成できました。②寄付額増加となり、財源確保につなげることができました。（令和2年度寄付額：45,507千円、令和3年度寄付額：53,880千円）③期間限定の商品や近年地元で力を入れている商品を発信して人気を集めることができました。④寄附者（ウェア除く）へのPRを行うことで常連の寄附者となっていました。⑤コロナ禍であったが、キッチンカーを事業者に貸し出して地域の活性化を図ることができました。	a	b	b	a	a	b	II	—	—	—	—

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価									
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策 上位の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の進捗状況	今後の方向性
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	改善後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト	成果指標・定性的な成果	当該年度		今後の進捗状況	今後の方向性	
																町民ニーズ	民間での事例			民間活用
1170	地域おこし協力隊起業支援事業	5,970	5,950	①地域おこし協力隊起業支援補助金交付事業②協力隊ミーティング及び情報提供の実施	3	①ほぼ目標どおり達成できました。②以下のとおり地域おこし協力隊起業支援補助金を交付しました。主に (1)「簡易宿所・ブッシュクラフト体験型ワークショップ」事業 (2)「美容室」事業 (3)「アスパラガス農家として新規就農」事業 (4)「健康づくり拠点施設、地域貢献、居場所の提供、地域活性化イベント開催」事業に対し100万円を交付しました。③5月に全隊員参加のミーティングを開催しました。また、県や国からの協力隊起業に関する情報を随時情報提供を行いました。	a	a	a	a	a	a	I	—	—	—	—	—	—	—

基本情報				事務事業評価						実施計画（施策）評価								
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)		改善 (Action)		第6次総合政策 系上の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度	
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト	成果指標・定性的な成果	目標値	実績値	
																町民ニーズ	民間での事例	民間活用
1173	ふるさといいま応援基金費	53,887	53,887	①ふるさと納税額増加による財源確保②魅力ある返礼品の発掘③寄附リピーターの確保	2	①目標を上回って達成できました。②寄付額増加となり、財源確保につなげることができました。（令和2年度寄付額：45,507千円、令和3年度寄付額：53,880千円）③期間限定の商品や近年地元で力を入れている商品を発信して人気を集めることができました。④寄附者（ウェブ除く）へのPRを行うことで常連の寄附者となりました。	a	a	a	b	b	b	II	—	—	—	—	—





基本情報				事務事業評価						実施計画（施策）評価								
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策上の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の進捗状況
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	改善後の方向性	第6次総合政策上の位置づけ			成果指標・定性的な成果	目標値	実績値	今後の進捗状況	今後の方向性
											町民ニーズ	民間での事例	民間活用					
														自治会加入率 (自治会加入世帯数(〇〇世帯) / 総世帯(〇〇世帯) × 100% (令和2年度〇〇%) ※日本人世帯、賃貸住宅含む)	90 %	83.5 %	B	II
													自治会加入率(民間アパートを除く) (自治会加入世帯数(〇〇世帯) / 総世帯(〇〇世帯) × 100% (令和2年度〇〇%) ※日本人世帯の割合(民間アパート除く))	90 %	88.6 %			
1165	儲かる飯島町チャレンジ事業	14,207	12,986	①営業部活動 総会及び各部の取り組みを実施②インターネット販売は楽天市場を継続実施	4	①営業部については各部の役員と懇談を持ち、意見聴取までは行ったがまとめまで到達しませんでした。②インターネット販売は、売り上げでは前年比87% (販売額937万円、△150万円) となりました。	b	b	b	b	b	b	II	販売独立業者数(延数) (営業部楽天販売から独立した店舗数)	令和5年度 1店舗	店舗 —	C	II
													観光消費額 (与田切公園、千人塚公園、道の駅花の里いいじま、道の駅田切の里の売上合計額)	410,000 千円	376,422 千円			
													特産品、料理メニュー等の開発件数(延数) (ワークショップで検討した新規メニュー件数)	2 件	0 件	C	II	

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価										
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策 上の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性		
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層			プロジェクト	目標値	実績値	B	II			
											町民ニーズ	民間での事例	民間活用						手法見直し	質の向上	1層
4141	観光費	97,952	95,529	【繰越事業】①3密対策不可避な都市部の「生活・働く」に、地方での「生活・働く」の選択肢をプラスし、「観光・農業」による癒しの要素を加え、新たな地域移住の需要の受入れ体制の構築（飯島流ワーケーション事業）②ワーケーションを行うための基盤づくりとして、春日平地区ヘトトレーラーハウスの設置【当初事業】①特に拠点地域となる田切地区への説明会を実施②町、農業団体、商工団体、観光団体などの9団体により構成される推進協議会の立ち上げ③トレーラーハウスの清掃などに地元の方に積極的に関わってもらう体制の構築	3	①新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、ワーケーション事業の基盤として、春日平地区ヘトトレーラーハウスを5台設置しました。②町、農業団体、商工団体、観光団体などの9団体により構成される「地域協議会」を設立しました。	a	b	b	b	b	b	II	6	1	2	飯島流ワーケーション推進協議会参加事業者数（延数）	10 者	9 者	B	II
														6	1	3	いいじま体験プログラムの作成の数（延数） <small>（ワーケーション推進協議会の中で作成した飯島町の地域資源を活用した体験プログラム数）</small>	4 個	15 個	A	II

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策上の位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性				
達成度	主 な 取 組 内 容	必要性	有効性				効率性	今後の方向性	1層										2層	3層	プロジェクト	目標値
				町民ニーズ	民間での事例	民間活用				手法見直し	質の向上											
4143	観光施設管理費	90,309	89,359	【繰越事業】①千人塚公園センターハウス休憩所増築②千人塚公園遊歩道整備③センターハウス浄化槽改修工事【当初事業】①千人塚公園維持管理業務（指定管理）②四季彩プロジェクト（桜植え替え）	2	①センターハウスの休憩フロアについて、自然環境整備支援事業補助金を活用し拡張を行いました。②遊歩道の木橋の改修を行いました。③櫻山及びログキャビンについて、地方創生テレワーク推進交付金を活用し改修を行いました。	a	b	b	c	b	b	II	6	1	1	観光客数（与田切公園、千人塚公園、道の駅花の里いいじま、道の駅田切の里）（年間）	250,000 人	279,900 人	B	II	
																観光客数（与田切公園及び千人塚公園）（年間）	30,000 人	45,700 人				
4144	山岳観光費	510	496	①登山道管理②山岳団体への負担金	3	①山岳登山道等の管理委託の実施しました。②遭難対策協議会等の山岳関係団体への負担金を適正に支出しました。	a	a	c	a	b	a	I	6	1	5	広域観光ルート数 <small>（他市町村との連携を持つ観光ルートの数）</small>	令和5年度 1個	個	— 個	B	II
4441	与田切公園管理費	47,535	47,286	①与田切公園の維持管理②施設の小規模修繕	2	①オートキャンプ場においてトイレの洋式化及びシャワー室の改修を行いました。②炊事場や野外照明の一部についてLED化を行いました。③与田切川左岸においてサイクリングロードを開放しました。	a	b	c	c	b	b	II	6	1	1	既出	既出	既出	既出	既出	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	1	4	【再掲】いいじま体験プログラムの作成の数（延数） <small>（ワーケーション推進協議会の中で作成した飯島町の地域資源を活用した体験プログラム数）</small>	4 個	15 個	A	II	

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価										
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策上の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の方向性			
事業コード	事業名称	予算額（千円）	決算額（千円）	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト	目標値	実績値	C		III		
																		町民ニーズ		民間での事例	民間活用
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	1	6	—	①長野県が「新型コロナウイルス特別警報II」を発令したことに伴い、指定管理者へ委託していた公園について令和3年8月21日から令和3年9月2日の13日間、閉鎖対応を行ったことにより、受入体制の再点検を実施し、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐことができました。	—	—	C	III		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	2	2	—	①町の特産品開発を起点にした事業を展開するなかで、事業参加者の企業の運営するオンラインショップで農産品の取り扱いを行い、アジア向けに販売を行い、関係人口創出に繋がりました。	—	—	B	II		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	2	3	—	受入企業数 (社会貢献活動、福利厚生活動を実施する企業の受入件数)	令和4年度 1社	社	—	社	C	II

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策上の位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		実施の進捗状況	今後の方向性			
事業コード	事業名称	予算額（千円）	決算額（千円）	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト		目標値	実績値					
															町民ニーズ			民間での事例	民間活用			手法見直し
1171	定住促進事業	29,320	27,355	①新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した移住相談の実施②若者のUターンやIターンにより若者人口の増を目指すためUターン者や学生向け移住・就業イベントの開催③若者世帯等の定住を促進するための、住宅関連補助金の検討	3	①役場窓口による移住相談は変わらず実施しましたが、都市部へ行くような移住セミナーは新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施しませんでした。しかし、上伊那広域連合による合同のオンラインセミナーに参加し、新しい形の移住相談を実施しました。②新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、Uターン者や学生向け移住・就業イベントの開催は自粛しました。③人口増プロジェクト内の定住促進ワーキンググループにて若者世帯等の定住を促進するための住宅関連について、令和4年度からの新規補助金創設をすることができました。（若者世帯の住宅等取得に際し、上限200万円を補助する「飯島町に光をそそぐマイホーム取得補助金」、10年間の固定資産税相当額を補助する「飯島町に光をそそぐマイホーム取得奨励金」、3区画以上の宅地造成補助「飯島町民間宅地開発補助金」）また、	a	b	b	b	b	b	II	6	3	2	○	若者世帯のUIターン世帯数（年）	6 世帯	4 世帯	B	II
																	民間宅地開発支援事業補助金の利用件数（年）	令和4年度 10件 件	— 件			
																	住宅取得支援事業補助金の利用件数（年）	令和4年度 10件 件	— 件	B	II	
																	住宅取得奨励金の利用件数（年）	令和4年度 20件 件	— 件			
																	町民ライター記事掲載数	24 件	34 件	A	I	

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策上の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性			
事業コード	事業名称	予算額（千円）	決算額（千円）	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト	目標値	実績値						
																			町民ニーズ	民間での事例	民間活用	手法見直し
						令和3年度限りと考えていた住宅リフォーム補助金についても、その有益性を考え、適用期間を1年延長することができ、若者世帯の移住定住の支援策を構築しました。					6	3	5	○	【再掲】若者世帯のUIターン世帯数（年）	6 世帯	4 世帯	B	II			
1172	出会い・婚活推進事業	2,034	1,560	①出会いサポートデスクについて、今後の方針の検討②任期満了の結婚相談員の委嘱と結婚相談の実施③新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した婚活関係のイベントの開催④国の地域少子化対策重点推進交付金を活用した新婚生活に係る支援の実施	4	①出会いサポートデスクについては令和3年度は休止としましたが、その先について詳細を決められませんでした。②令和3年7月1日から1名結婚相談員を委嘱し、年間で24件の結婚相談がありました。成婚には至っていませんが、お見合い4件に繋ぐことができました。③婚活関係のイベントは対面、オンラインいずれも未実施でした。④国の地域少子化対策重点推進交付金を活用し、新婚世帯の住宅取得や住宅賃借費、引っ越し費用の支援をする結婚新生活支援事業は、当初見込み5件に対し、3件の申請がありました。	a	b	c	b	b	b	II	6	4	1	○	婚姻数（年）	36 組	34 組	B	II
											6	4	3	○	【再掲】婚姻数（年）	36 組	34 組	B	II			
											6	4	4	○	【再掲】婚姻数（年）	36 組	34 組	B	II			
															結婚新生活支援事業補助金利用件数（年）	5 件	3 件					
											6	4	5	○	【再掲】婚姻数（年）	36 組	34 組	B	II			
															結婚相談による成婚数（年）	1 件	0 件					



＜会計課＞

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策上の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性			
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層			プロジェクト	目標値	実績値						
											町民ニーズ	民間での事例	民間活用						手法見直し	質の向上	1層	2層
1141	会計管理費	1,994	1,839	①適正な会計事務処理の実施②会計事務手引きの内容更新実施	3	①支払事務や口座振替データ処理等、会計事務処理を適正に行うことができました。②適正な事務処理を行うため、会計事務の手引きの更新を行いました。③随時の対応を行い適正な事務に繋がるよう努めました。	a	a	b	a	a	a	II	8	5	1	—	①適正な会計の事務処理の向上を図ることができるよう財政係と協力し、会計事務の手引きの内容を更新し、令和3年11月に公表することができました。	—	—	B	I
														8	5	2						
1154	物品集中購買費	2,159	2,077	①事務用消耗品の共有と再利用の実施②単価契約品目の見直しの実施	3	①事務用消耗品の共有化や再利用を行って、経費節減に努めました。②物品の品質も考慮しながら、単価契約の品目を一部見直しました。	a	a	c	a	b	a	I	8	5	3	—	①単価契約の品目（ゼロテープ・インデックス）を見直し、品質も考慮しながら単価契約することができました。	—	—	A	I
														8	5	4						

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策上の位置づけ				成果指標・定性的な成果	当該年度		今後の進捗状況	今後の方向性			
達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性				効率性	今後の方向性	1層		2層	3層	プロジェクト	目標値		実績値						
				町民ニーズ	民間での事例	民間活用				手法見直し					質の向上							
1001	議会費	52,498	51,732	①タブレット端末の活用を推進②行政運営や議会運営の研修などへのサポート	3	①全員協議会資料についてPDF化しクラウド上に配置しました。②各議員はタブレットを用いてクラウド上の資料を活用することができました。③タブレットの操作やメールのやり取りが不得手な議員についてサポートを行いました。④議会活動や運営方法について問題が発生したり、議員から疑義があった場合に調査や県議長会への問合せを行いました。⑤新任議員に対し、行政運営や議会運営の研修、新任委員長に対し、委員会運営や本会議での報告に関するレクチャーを行いました。⑥議会関係例規改正の際の原案の作成を行いました。	a	a	b	a	a	a	I	8	6	1	—	①タブレット端末の活用により、会議資料の提供、オンライン会議の開催などスムーズに運営をすることができるよう調整を行うことができました。	—	—	B	II
1511	統計調査総務費	19	14	①児童・生徒に統計グラフコンクールに参加するように呼びかけ	2	①14名の児童に参加してもらうことができました。	a	a	c	a	a	a	I	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1521	指定統計調査費	750	707	①学校基本調査及び経済センス-活動調査への対応	3	①滞りなく、期限までに間に合うよう県へ報告できました。	a	b	a	a	a	a	I	—	—	—	—	—	—	—	—	—

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価													
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策上の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の方向性						
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性		有効性	効率性	改善の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト	目標値	実績値	B	II					
							町民ニーズ	民間での事例												民間活用	手法見直し	質の向上		
1601	監査委員費	864	688	①例月出納検査、決算審査、定期監査の際の監査委員への協力支援②決算審査、定期監査の報告書及び町広報原稿の原案作成	3	①例月出納検査、決算審査、定期監査の際の監査委員への協力をすることができました。 ②決算審査、定期監査の報告書及び町広報原稿の原案を作成しました。	a	a	a	a	a	a	a	a	I	8	6	2	—	①例月出納検査、定期監査、決算審査における関係各課等の資料収集や、連絡調整を適正に行ったことにより、スムーズに監査業務を実施することができるようになりました。	—	—	B	II

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策上の位置づけ				成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の進捗状況	今後の方向性		
主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性		有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層		3層	プロジェクト	目標値	実績値								
				町民ニーズ						民間での事例					民間活用	手法見直し	質の向上					
2611	児童福祉総務費	1,956	1,695	①新しい家庭相談員を迎え、相談業務を継続して実施②飯田児童相談所、学校、保育園、保健センター等関係機関との情報交換を密にした体制の強化	2	①家庭相談等の相談業務を実施しました。②関係機関との情報交換、体制の強化を図りました。③WISC検査や読み書き支援を行いました。④相談者件数が、延べ207件ありました。	a	a	b	a	a	b	I	7	1	5	—	要保護児童数（年） <small>（飯島町要保護児童地域対策協議会で登録している要保護児童の登録数）</small>	10人	12人	B	I
2641	認可保育園運営費	121,624	120,587	①巡回相談・たけのこくらぶ等園児の家庭支援が行えるよう関係者との会議の開催②保育士の確保のため、随時募集を実施③保育園職員の処遇改善④計画等に基づく修繕及び工事等施設整備	3	①巡回相談等を実施しました。（巡回相談12回、たけのこくらぶ9回）②保育士等を募集しました。（募集回数6回、年度始めに4名募集し1名採用、9月に2名募集し1名採用）③飯島保育園厨房室床暖房用ボイラー故障取替工事（429千円）④東部保育園プールの塗装工事（1,628千円）調理室冷蔵庫設置工事（2,090千円）階段修繕工事（1,815千円）等⑤七久保保育園給食室暖房修繕工事（829千円）等	a	b	b	a	a	a	I	7	1	1	○	保育園待機児童数（年） <small>（10月1日現在の保育園入園待機児童）</small>	0人	0人	B	II
														7	1	2	—	登園状況管理誤り件数 <small>（登園・欠席等の誤りや漏れの件数）</small>	0件	0件		
																	①臨床心理士や言語聴覚士等の専門スタッフがチームとなり、それぞれの専門的視点から園児等を見ることでその子にあった適切な支援が実施できました。	—	—			

基本情報				事務事業評価						実施計画（施策）評価									
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)		改善 (Action)		第6次総合政策 上位位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		施策の進捗状況
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト		目標値	実績値	B	
											7	3	1		①女性のための就労相談の実施や安心して預けられる保育園支援の提供により、出産後の社会復帰や子育てに関する様々な悩みに対応することができました。②仕事と育児の両立について支援をすることができたことにより、安心して出産・子育てができる環境づくりができてきています。（妊娠中及び産後の生活を支援する「飯島町ママサポート事業実施要綱」制定）	—	—	B	I

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策上の位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		今後の進捗状況	今後の方向性					
達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性			効率性	今後の方向性	1層		2層	3層	プロジェクト		目標値	実績値							
				民間 事業者 との事例	民間 活用				手法 見直し				質の 向上									
2661	放課後児童健全育成事業	12,118	11,724	①指導員との連携を密にし、安定した運営を図るため定期的な打ち合わせ会の開催②コロナ禍による新入学時説明動画の作成③指導員と学童支援システムの運用協議、機能確認の実施④新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応を進めながら適正な施設運営を実施・老朽化した機器や設備の更新	2	①令和4年3月から指導員との定期的な打ち合わせを開始しました。②学童保育登録説明動画を作成しました。③計画等に基づき備品を更新しました。（ランドセル収納棚×3、携帯更新×2、事務用パソコン×2）	a	b	b	a	b	b	II	—	—	—	—	—	—			
2671	子育て支援センター事業	9,040	8,668	①子育て支援講座の開催②地域に出向いた支援活動の実施③閉所期間中の応援企画実施（応援キットの配布、子育て相談）	4	①4つの子育て支援講座を実施しました。（162名参加）②応援キット（でんでんたいこ、おめんピョンピョンカエル、ぬり絵等）を配布しました。（配布数214名）③新型コロナウイルスによる閉所期間中に子育て相談を実施しました。（47名）	a	b	b	b	b	b	II	7	3	2	—	子育て支援センター利用者延べ人数	9,800 人	6,130 人	C	II



基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価													
				計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策上の位置づけ				成果指標・定性的な成果	当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性						
達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性			効率性	今後の方向性	1層		2層	3層	プロジェクト	目標値		実績値									
				町民ニーズ	民間での事例				民間活用					手法見直し		質の向上								
5123	子ども支援費	17,358	16,378	①保育園の3歳以上児の給食費無償化に向けた例規の改正②保育園へ通っていない3歳から5歳児も同様の対応ができるよう「飯島町すこやか子育て応援補助金交付要綱」を制定③妊娠中及び産後の生活を支援する「飯島町ママサポート事業実施要綱」を制定④病児病後児保育室の町内建設及び事業実施に向け、関係機関との打ち合わせに参加	3	①令和4年度新規事業施行に向けた例規の改正をしました。②病児病後児保育打ち合わせに参加しました。(10回)	a	b	b	c	a	a	I	7	1	2	—	既出	既出	既出	既出			
														7	1	5	—	既出	既出	既出	既出	既出	既出	
														7	3	1	—	既出	既出	既出	既出	既出	既出	既出
														7	3	2	—	既出	既出	既出	既出	既出	既出	既出
													7	3	3	—	①関係機関とそれぞれ児童等に関わる職員が持つ情報を共有することにより、多角的な支援を検討することもでき、適切な支援に繋ぐことができました。また、「子どもに関することはここに聞けばよい」「ここに言えば繋がる」と相談しやすくなりました。	—	—	B	I			
5124	子ども広場推進事業	1,265	779	①報償等の支援の実施②広報で、支援員を募集	3	①4地区実施事業に対し合計723,000円報酬を支払いました。②令和4年2月の広報にサポーター募集の特集記事を掲載しました。	a	b	c	a	a	b	I	—	—	—	—	—	—	—	—			
5126	学校支援費	3,224	3,178	①未来塾を開講し、生徒へ学習支援を実施②生徒に金銭的負担のない事業の実施③タブレットを活用した学習方法の拡大	4	①新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により33日実施予定のところ、22日となりました。②学習意欲向上のため特設講座「やさしい競技かるた体験教室」を1回実施しました。	a	b	c	a	a	b	I	—	—	—	—	—	—	—	—			

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価										
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策 上の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性	
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層										2層
												町民ニーズ	民間での事例	民間活用	手法見直し	質の向上					
5131	教員住宅管理費	605	580	①施設の管理運営を適正に実施②飯島町学校施設等長寿命化計画等に基づく計画的な修繕の実施	3	①各設備等について修繕を実施しました。 (インターフォン(1件)、凍結防止帯(1件)、雨水桝(1件))	b	b	c	b	b	c	VI	7	2	6	学校満足度調査(生活)の割合 <small>(小中学校の児童・生徒を対象にしたアンケート調査で「学校へ行くのが楽しい」と答えた人の割合)</small>	82.0 %	84.0 %	A	I
																	学校満足度調査(学習)の割合 <small>(小中学校の児童・生徒を対象にしたアンケート調査で「学習内容がわかりやすい」と答えた人の割合)</small>	79.0 人	87.0 人		
5211	飯島小学校管理費	40,880	40,271	①飯島町学校施設等長寿命化計画等に基づいた計画的な施設維持管理として、令和4年に向けて校舎屋根の塗装工事の設計を実施②各種支援員の配置③新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を適正に実施④老朽化した設備・備品等を整理し修繕工事や備品更新等を実施(空調設備設置工事の設計、新学校給食センター稼働開始に向けた整備)	2	①新型コロナウイルス感染症クラスター発生0件を達成しました。②屋根改修工事及び、空調設置工事、給食配膳室の設計が完了しました。③特別支援教育支援員2名配置、学習支援員1名配置、外国語支援員1名配置しました。	a	b	b	a	b	b	II	7	2	5	学校内での新型コロナクラスター発生件数(年)	0 件	0 件	A	II
																	既出	既出	既出	既出	既出

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価																
				計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策 体系上の位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性										
達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性			効率性	今後の方向性	1層		2層	3層	プロジェクト		目標値	実績値												
				町民ニーズ	民間での事例				民間活用				手法見直し			質の向上											
5221	飯島小学校教育振興費	15,843	15,553	①学習活動を学習指導要領に則り適正に実施②ICT教育・GIGAスクール構想に則した環境整備（ハード）を実施③ソフト（活用）面の充実・強化を実施④老朽化した教材等の更新を実施・経済的な理由で学習面で不利な児童生徒が出ないように、家庭の支援を実施（就学援助費）	3	①教材提示装置（電子黒板）を3台整備しICT教育を推進しました。②ドリル・共同学習教材ソフトを導入しました。③準要保護就学援助27名に支給しました。④浄水場、砂防堰堤、井水の取入れの見学を実施しました。	a	b	b	a	b	b	II	7	2	2	教材提示装置整備率（飯島小学校、七久保小学校、飯島中学校） <small>（普通教室、特別支援教室への整備率（電子黒板、書画カメラ、タブレットPCのセット））</small>	48.0 %	48.0 %	B	I						
														7	2	4						○	①郷土愛プロジェクトにおいて、小学校で与田切パーク郷土学習（1回）、中学校でキャリア教育「きらめき人シンポジウム」（1回）を実施したことにより、「ふるさと飯島への愛を育む」ことにつなげることができました。	—	—	B	II
														7	2	6						—					
5241	七久保小学校管理費	22,465	20,775	2	①新型コロナウイルス感染症クラスター発生0件を達成しました。②空調設置工事の設計が完了しました。③特別支援教育支援員2名配置しました。	a	b	b	a	b	b	II	7	2	5	既出	既出	既出	既出	既出	既出						
													7	2	6							—	既出	既出	既出	既出	

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価													
				計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策 上位の位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性							
達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性			効率性	今後の方向性	1層		2層	3層	プロジェクト		目標値	実績値									
				町民ニーズ	民間での事例				民間活用				手法見直し			質の向上								
5251	七久保小学校教育振興費	10,357	9,808	①学習活動を学習指導要領に則り適正に実施②ICT教育・GIGAスクール構想に則した環境整備（ハード）を実施③ソフト（活用）面の充実・強化を実施④老朽化した教材等の更新を実施・経済的な理由で学習面で不利な児童生徒が出ないように、家庭の支援を実施（就学援助費）	3	①教材提示装置（電子黒板）を1台整備しICT教育を推進しました。②ドリル・共同学習教材ソフトを導入しました。③準要保護就学援助6名に支給しました。④浄水場、砂防堰堤、井水の取入れの見学を実施しました。	a	b	b	a	b	b	II	7	2	2	—	既出	既出	既出	既出			
							7	2	4	○	既出	既出		既出	既出									
							7	2	6	—						既出	既出					既出	既出	
5311	中学校管理費	34,671	33,585	2	①新型コロナウイルス感染症クラスター発生0件を達成しました。②空調設置工事の設計が完了しました。③教科支援員2名配置、特別支援教育支援員2名配置、心の相談員を1名配置しました。	a	b	b	b	b			b					II	7	2	5			—
						7	2	6	—	既出	既出	既出	既出											

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)	実施 (Do)	評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策上の位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性					
達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性			効率性	今後の方向性	1層		2層	3層	プロジェクト		目標値	実績値							
				町民ニーズ	民間での事例				民間活用				手法見直し			質の向上						
5312	英語指導助手招致費	4,842	4,813	①ALTを設置し1年間の活動支援を実施②ビデオ会議を利用しての学習活動を実施③今後は小中で1名ずつになるようにする等、増員を検討	3	①一時的な派遣ではなく、専属のALTを雇用し、外国語指導助手として定期的な研修を受けることにより、質の高い外国語教育を実施しています。	a	b	b	a	a	b	II	—	—	—	—	—	—	—		
5321	中学校教育振興費	32,899	32,177	①学習活動を学習指導要領に則り適正に実施②ICT教育・GIGAスクール構想に則した環境整備（ハード）を実施③ソフト（活用）面の充実・強化を実施④老朽化した教材等の更新を実施・経済的な理由で学習面で不利な児童生徒が出ないように、家庭の支援を実施（就学援助費）	3	①教材提示装置（電子黒板）を3台整備しICT教育を推進しました。②ドリル・共同学習教材ソフトを導入しました。③準要保護就学援助21名支給しました。	a	b	b	a	b	b	II	7	2	2	—	既出	既出	既出	既出	既出
														7	2	4	○	既出	既出	既出	既出	既出
														7	2	6	—	既出	既出	既出	既出	既出





基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価											
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策上の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の方向性				
事業コード	事業名称	予算額（千円）	決算額（千円）	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	第6次総合政策上の位置づけ			成果指標・定性的な成果	目標値	実績値	今後の方向性					
											1層	2層	3層					プロジェクト	町民ニーズ	民間での事例	民間活用	手法見直し
5612	男女共同参画推進費	319	103	①男女共同参画社会推進懇話会の開催（2回／年）②男女共同参画アンケートの実施③いいちゃん文化祭へ男女共同参画コーナーの設置④11月の「女性に対する暴力をなくす運動」の「パープルライトアップ」への参加⑤男女共同参画社会推進講演会の開催	3	①男女共同参画社会推進懇話会2回開催しました。②成人者のみアンケートを実施しました。③いいちゃん文化祭へ男女共同参画コーナーの設置することができました。④11月の「女性に対する暴力をなくす運動」の「パープルライトアップ」へ参加することができました。⑤2月に開催予定の講演会が、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言により開催できませんでした。	a	a	b	a	b	b	II	7	4	7	—	既出	既出	既出	既出	
5623	公民館費	8,160	8,115	①4つの公民館それぞれ創意工夫して公民館活動を展開し、地域住民による利用を増やし活性化を図る	3	①館長主事会を6回開催しました。②施設修繕補助（2件）	a	a	a	a	b	a	II	7	4	3	—	①4つの公民館それぞれで創意工夫して公民館活動が展開され、地域住民による利用が増え、活性化が図られました。	—	—	B	II
														7	4	7	—	既出	既出	既出	既出	既出
							a	a	a	a	b	a	II	7	6	5	—	①国の文化芸術振興費補助金を活用し、無線LAN・有線LAN及びカメラ・スイッチャーなどの機材を導入し、文化館から配信できる環境を整備したことにより、コロナ禍の文化活動の可能性を広げました。	—	—	B	I

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価																
				計画 (Plan)	実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策 上位位置づけ			成果指標・定性的な成果	当該年度		今後の進捗状況	今後の方向性									
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層		プロジェクト	目標値			実績値	B	II						
														町民ニーズ			民間での事例	民間活用				手法見直し	質の向上				
5631	図書館費	35,253	34,498	①貸出業務②移動図書館車運行③講座等開催④ブックスタート事業	3	①個人利用者数7,589人（前年10,848人）、貸出冊数45,895冊（前年45,037冊）②移動図書館車利用者2,268人（前年3,978人）、貸出冊数13,305冊（前年16,025冊）③読み聞かせ講座を4回開催し26人が参加しました。（前年2回22人）④園児・児童向け企画はおはなし会など16回開催し243人が参加しました。（前年17回184人）⑤ブックスタート12回開催し49人に配布しました。（前年12回51人）⑥セカンドブック5回開催し62人に配布しました。（前年4回47人）⑦サードブックは飯島小学校と七久保小学校で各1回開催し80人に配布しました。（前年1回66人）	a	b	a	a	a	a	II	7	4	4	—	①各機関の充実した活動と相互の連携で住民の学びや楽しみに寄与することができました。	—	—	B	II					
														7	6	1	—						文化館利用人数 (年)	37,232 人	57,239 人	A	I
														7	6	5	—						既出	既出	既出	既出	既出

基本情報				事務事業評価						実施計画（施策）評価													
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)		改善 (Action)	第6次総合政策 上の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の進捗状況		今後の方向性			
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	改善後の方向性												1層	2層
											町民ニーズ	民間での事例	民間活用	手法見直し	質の向上								
5641	文化館費	57,841	56,589	①貸館の促進②いいじま文化サロン事業等文化に触れる機会の提供	3	①利用者数は57,239人（前年11,508人）②利用件数は613件（前年563件）③使用料収入は906,600円（前年794,100円）④ワクチン接種会場となったことにより利用者数は増加しました。（ワクチン接種以外の利用者数は14,989人）⑤文化サロン事業として、映画「ハヤタロー」、コンサート「よかるうもん」、人形劇「人魚姫」、講演会「島田秀平講演会」、映画「竜とそばかすの姫」を実施しました。⑥文化芸術振興費補助金を活用し「新たな日常」で必要とされる飯島町文化館の配信等環境整備を図りました。	a	b	a	b	a	b	II	7	4	4	—	既出	既出	既出	既出		
														7	6	1	—	既出	既出	既出	既出	既出	既出
														7	6	3	—	①例年のリコーダーに加え、中学校吹奏楽部へファゴットの寄贈があり、生徒の意欲が格段に高まりました。	—	—	A	I	
7	6	5	—	既出	既出	既出	既出	既出	既出	既出	既出	既出	既出	既出	既出	既出	既出	既出					
5651	文化財保護費	311	123	①陸軍登戸研究所について聞き取り調査を行い報告書の作成②文化財標柱等の更新を適切に実施	4	①コロナ禍で年配者への聞き取りを行うことができず調査が進みませんでした。②文化財標柱1基、伊那の中路案内板2基を更新しました。	a	a	b	a	a	a	II	7	4	4	—	既出	既出	既出	既出	既出	既出
														7	4	4	—	既出	既出	既出	既出	既出	既出

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価												
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)	第6次総合政策上の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の方向性	今後の方向性			
事業コード	事業名称	予算額（千円）	決算額（千円）	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト	目録値	実績値	既出	既出					
																			民間での事例	民間活用	質の向上		
5652	埋蔵文化財調査費	682	218	①埋蔵文化財包蔵地内での開発がある場合は、工事立ち合いのほか、必要により試掘等の調査	3	①広報いいじま（令和3年4月号）に遺跡地図を掲載したほか、ケーブルテレビを活用して認知度向上に努めました。②工事立ち合い16件（前年10件）③試掘調査4件（前年0件）	a	a	b	a	a	a	I	—	—	—	—	—	—				
5661	歴史民俗資料館費	2,046	1,755	①飯島町歴史民俗資料館のうち、飯島陣屋を常時開館して博物館活動を行い、陣嶺館は予約による対応を実施②講座等を生涯学習センターと共同で開講	3	①開館日数は88日（前年92日）、入館者数は375人（前年455人）②陣嶺館秋の特別開館を3日間開催し55人参加しました。③「小正月飾りづくり」のイベントには20人が参加しました。④生涯学習センターと共催した講座は、はじめての古文書講座9回開催し64人受講（前年10回49人）しました。⑤古文書クラブ8回開催し39人受講しました。（前年10回46人）⑥いいちゃん名所めぐり散歩5回開催し23人受講しました。（前年4回43人）	a	b	b	b	b	b	I	7	4	4	—	既出	既出	既出	既出	B	II

基本情報				事務事業評価						実施計画（施策）評価										
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)		改善 (Action)		第6次総合政策 上の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト	目標準値	実績値	既出	既出		
																			町民ニーズ	民間での事例
5711	保健体育総務費	4,517	3,581	①東京オリンピックのパブリックビューイングの開催②体育館開放日の啓発、運営③出前講座や囲碁ボール大会等ニューススポーツの普及活動④各種スポーツ大会の実施	2	①東京オリンピックパドミントン女子シングルス奥原希望選手のパブリックビューイング1回開催しました。(25人観覧)②体育館開放日を7回開催し242人参加しました。(前年10回336人)③スラックライン講座・ニューススポーツ出前講座を合わせて11回開催し164人参加しました。④囲碁ボール大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止しました。⑤各種スポーツ大会を28大会中14大会実施しました。⑥オンラインイベント「オクターバーラン&ウォーク」に参加、全国規模によるスマートフォンアプリを使用した健康増進のための運動でモチベーションのアップにつながりました。	a	a	b	b	b	I	7	4	4	—	既出	既出	既出	既出
													7	5	1	—	—	—	B	I
													7	5	2	—	—	—	A	I
												7	5	3	—	—	—	B	II	

基本情報				事務事業評価						実施計画（施策）評価									
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)		改善 (Action)		第6次総合政策上の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		今後の方向性
事業コード	事業名称	予算額（千円）	決算額（千円）	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト	目標値	実績値	B	II	
																			町民ニーズ
											7	5	4		①計画的に、サッカーを中心としたスポーツ活動に加え、B&Gクリーンフェスティバルなど実施したことにより、環境貢献活動や、青少年健全育成活動が進み、地域のスポーツ活動の活性化を図ることができました。	—	—	B	II
											7	5	5		①体育館開放日やニュースポーツ講座などを通じて誰もが楽しく取り組める運動を紹介したことにより、とくに囲碁ボールによる地域活性化が現れてきました。	—	—	B	II
											7	5	6		スポーツ実施率（週1回以上運動をする人）（「飯島町スポーツ推進計画」の見直しに合わせ、5年に1回アンケート調査を実施します。）	令和4年度 65.0% %	— %	A	I

基本情報				事務事業評価							実施計画（施策）評価												
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)			改善 (Action)		第6次総合政策上の位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性		
事業コード	事業名称	予算額（千円）	決算額（千円）	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト	既出	既出	目標値	実績値	既出			既出	
																	町民ニーズ	民間での事例		民間活用	手法見直し		質の向上
5721	体育館等管理費	158,332	157,390	①飯島体育館の改修工事②利用者による自主管理を徹底しながら、利用の促進	3	①スポーツ振興くじ助成金等を活用した飯島体育館大規模改修工事が完了しました。②飯島町地域防災計画等に基づき指定避難所屋外トイレを新設、防災機能強化を図りました。③新型コロナウイルス感染症拡大防止により利用を制限せざるを得ず、延べ利用者は21,443人とどまりました。（令和2年度22,360人、令和元年度35,852人）	a	b	b	b	b	b	I	7	5	6	—	既出	既出	既出	既出	既出	既出
5722	屋外運動場管理費	12,406	11,846	①本郷運動場トイレ整備工事②利用者による自主管理を徹底しながら、利用の促進	2	①防災機能等の強化を図る観点から本郷運動場にバイオマストイレを設置、SDGsや環境面から評価されました。②新型コロナウイルス感染症拡大防止により利用を制限せざるを得ず、延べ利用者は6,532人とどまりました。（令和2年度8,315人、令和元年度13,393人）	a	b	b	b	b	b	II	7	5	6	—	既出	既出	既出	既出	既出	既出

基本情報				事務事業評価						実施計画（施策）評価																	
				計画 (Plan)		実施 (Do)		評価 (Check)		改善 (Act ion)	第6次総合政策 上位位置づけ			成果指標・定性的な成果		当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性								
事業コード	事業名称	予算額 (千円)	決算額 (千円)	主な取組内容	達成度	主な取組内容の実績	必要性	有効性	効率性	今後の方向性	1層	2層	3層	プロジェクト	成果指標・定性的な成果	当該年度		施策の進捗状況	今後の方向性								
																町民ニーズ	民間での事例			民間活用	手法見直し	質の向上	目標値	実績値			
5731	海洋センター費	4,974	4,196	①艇庫を指定管理での運営とした初年度であり、成果を上げる②プールの維持管理、運営を適切に行い、利用促進を図る	3	①艇庫については、海洋性スポーツ体験会を例年同様海洋クラブ主催で開催し29人が参加しました。（令和2年度雨天中止、令和元年度32人）②指定管理者については、新型コロナウイルス感染症拡大防止によりB&G海洋センターの指導員養成研修が開かれなかったために資格が取得できず、カヌー等の指導ができませんでした。③プールは43日開館し利用者は3,046人（令和元年度57日2,601人）、中学校のプール授業が行われたため利用者数は増加したが、水質管理が難しく藻の発生により3日間休館としたほか、新型コロナウイルス感染症拡大防止により12日間休館することとなりました。④B&G海洋センター体育館や柏木運動場周辺の清掃活動を行いました。（70人参加）	a	a	a	c	a	a	II	7	4	4	—	既出	既出	既出	既出	既出					
														7	5	4	—						既出	既出	既出	既出	既出
														7	5	6	—										